

日本古代文字考

落合直澄著

上

811.3
0888n
V

077281-001-6

811.3-0888n

日本古代文字考

落合 直澄/著

上

M21.7

DAC-0477



日本古代文字考

緒言

一古來古字ノ説多シト雖モ日文傳ノ上ニ出ルモノナシ。今日文傳ヲ根據トシ金石字等ヲ証トシ字源字父母ヨリ字子組織ノ理ニ至ルマデ我考ノ及ブ限り心緒ヲ盡スト雖モ猶杜撰ノ罪ヲ免レザラムトス。庶幾ハ識者ノ訂正アラムヲ。

一鶴峰氏ノ鍔木文字考ハ唯アナイチ字一体ヲ擧ゲテ之ガ解ヲ加ヘタルノミナレド字源ノ端緒ヲ開カレタルハ此書ヲ以テ始メトス。

一田中翁ノ神字考ハ古字ノ傳來及ビ古今ノ諸説ヲ網羅シテ載ラレタリ。傳記諸説ヲ見ムトセバ此書ニ由ルベシ。

一 日文傳附録疑字篇ノ中ニ字源字母アリ。又他ニ徵証アリテ正体ト認ムルモノハ取り異様ニシテ其体不整ナルハ捨ツ。

一 字源ヨリ字父母成リ字父母ヨリ字子ノ生リテ五十音圖ノ成レル理ニ於テハ諸体同一ナリ。唯對馬字齊部字ノミ字源アリテ字父母ナシ。又豐國字ハ象形字ナレバ此類ニアラズ。

一 此書ニ載スル所其体十二種ナリ。之ヲ約レバト兆字象形字ノ二種ニ止マル。

一 古字ニ何神ノ所傳何々等ノ奥書アルモノハ好事家ノ所為ト思ハル、モノ鮮カラザレバ一二ヲ載セテ其他ハ惣テ略ス。カクノ如キ奥書ニ頼ラムヨリハ寧ロ字ノ組織ヨ

リト兆ノ根元ヲ探ラバ字ノ成立セシ時代モ大凡想像セラルベシ。

一 字ノ遺存地及ビ傳者人名ヲ以テ字体ノ名稱トセルハ意アルニアラズ。唯便利ニ從フナリ。

一 英雄人ヲ欺クノ語アレド奸曲者英雄ヲ欺フモ鮮シトセズ。傳附録所載上宮太子厩尺弘仁歷運記考ニ所載上野國宗永寺所藏銅鐸其物ハ有レモ古字体ナルモノヲ載セラレタルバ虚妄ナリ。是レ奸曲者平田翁ヲ欺キシモノナルベシ。豈恐レザルベケンヤ。

一 書中傳ト記セルハ日文傳ナリ。考ト記セルハ神字考ナリ。

明治二十一年五月一日

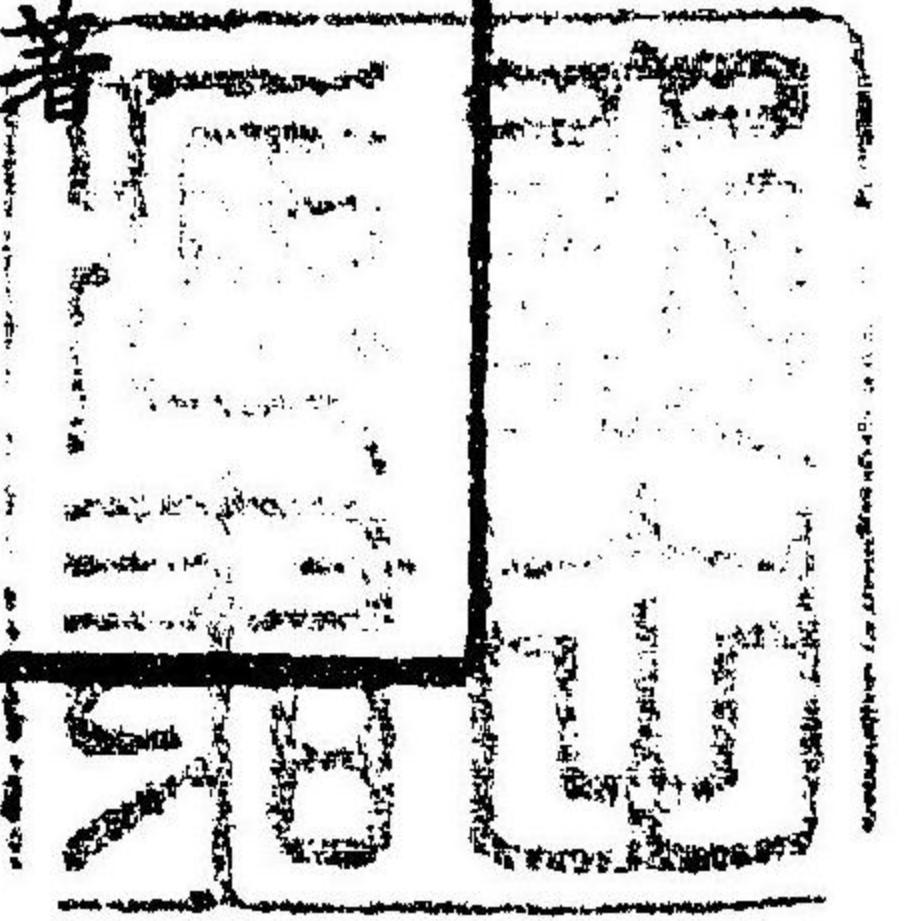
落合直澄識

日本古代文字考卷之上

●第一章傳記諸說

落合直澄著

凡ソ字ヲ作ル者天然ノ音韻ニ原カザルナキハ萬國同一
 轍ナルガ如シ。獨、漢土每事每物ニ字ヲ作り其數幾萬其体
 幾萬未タ悉ク網羅セル字書ナシト。我邦亞細亞ノ東ニア
 リ漢土トノ關係最モ大ニシテ益ヲ得ル最モ多シトス。然
 レ氏我邦固有ノ簡易ナル文字ヲ捨テ歴史其他悉ク煩雜
 ナル漢字ヲ以テ之ヲ記シ人智ヲ退縮セシメシ一亦僅少
 ナラズ。今其弊ヲ矯メントスルモ如何トモスル能ハザル
 ナリ。然シテ近來我邦人各國ノ學術ヲ研窮スル者頗ル多
 シト雖。我古字ノ如キニ至テハ措テ論ゼザル者ノ如シ。然



盲目曆之
浦漁人文
字
盲目帳

ルニ近時清國沈文榮ハ日本神字考ヲ著シ我邦ノ古字ヲ以テ悉ク漢土ノ古字ニ附會シ其解ヲ下セリ。英人チヤンパレン区モ亦我古字ヲ論ジテ終ニ上古文字ナシノ論ニ帰セリ。然レモ時々諸國ヨリ異体ノ文字ノ出ル有テ世ノ學者半信半疑ノ念ヲ免レザルナリ。直澄案ズルニ上古文字ナシトスル説甚不當ナリトス。如何トナレバ陸奥ニ南部曆ト稱スル者アリ。異体ノ數字物体畫ヲ挿入シテ無智ノ人民ニ月日ヲ知ラシム。世ニ之ヲ盲目曆ト云。芝浦漁人文字モ此類ノモノカ。安齋叢書ニ見エタリ。常陸久慈郡安寺持方村ハ深谷ノ間ニアリ。天明中僅ニ十戸ニシテ人民質朴世事ニ通ゼザル者ノ如シ。然レモ方圓或ハ縦横線ノ數字有テ公租等ヲ誤ルヲナシト。世ニ之ヲ盲目帳ト云。太

古字

古ニ在テハト者最智識アル者ナラム。然リ。我上古ノ文字ヲ考フルニト兆字ハ自ラ深遠ノ理ヲ備ヘタレド象形字ニ至テハ兒戲ノミ。漢土ノ文字モ亦然リ。馬鹿ヲ見テハ其形ヲ畫キ日月ヲ見テハ其形ヲ記スニ過ギズ。後世ニ至テ漸ク文字ヲ貴重シ之ガ筆法ヲ説キ之ガ書体ヲ論ズルガ如キハ作者ノ意想外ニ出タルモノナルベシ。文字ヲ作ルハカクノ如ク易シ。イカニ人民蒙昧ナリト雖。上天子アリ。下萬民アリ。治世千歳豈文字ナキノ理アラムヤ。日本紀欽注曰。帝王本紀多有古字不キナ。撰集人屢經遷易。後世人習讀以意刊改傳寫既多遂致舛雜。此文ニ古字ト稱スルハ天武紀ノ新字ニ對シテ我古字タルヲ知ルベシ。

新字四十
四卷

考古。古字トハ我古字ヲ云フ。字ヲナト古物有レバ名アル
ハ天地ノ理ニシテ字ヲナト古物ノ名ヲ記ス器ナレバ
ナリ。ミナハ真字ト云ガ如シ。欽明天皇ハ、今明治二十
年ヲ去ル、九一十三百年、
日本紀天武帝十日。命境部連石積等。更肇俾造新字一部四十
四卷。

字体似梵
字

私記曰。師說此書今在圖書寮。但其字跡頗似梵字。未詳其字義
所准據。

此新字ヲ松崎神等ノ如キ漢字体ノモノナラムト云説ア
レド然ラズ。私記ニ似梵字トアレバ日文体ノ字ナルヲ知
ルベシ。

古來神字ノ真体ヲ以テ史ヲ編纂セシト雖モ。字体混雜シ
易ク遂致外雜ト。欽明紀ニアルガ如クナレバ。此時真字ヲ

和ゲテ草体ヲ作玉ヒシナルベシ。是新字ナリ。

此新字ヲ以テ史ヲ記シタルガ一部四十四卷トハナレル
ナルベシ。此前年ニ川嶋子等十二人ニ詔シテ令記定帝紀
及上古諸事。大嶋子首執筆録焉。トアルハ漢文ヲ以テ史ヲ
編纂セシメラレタルガ。帝ノ御心ニ叶ハザルガ故ニ又新
字ヲ作りテ我古言ノマ、ニ記サレタルナルベシ。

此新字史四十四卷未ダ成功ナラザル所ナドモアリ。文章
ヲモ猶能調ヘムトシテ稗田阿礼ニ口傳シ玉フ程ニ。帝崩
御トナリシカバ元明帝ノ世ニ至テ、太安麻呂之ヲ主四十
四卷ノ新字ハ。空ク圖書寮ノ寶物トナリテ多年ヲ經過シ。
弘仁承平ノ頃ハ其世ノ學者モ讀ミ得ルモノモナキニ至
リキ。

如此我古字ハ既ク廢レタレ。神社仙閣ニハ僅々存スルヲ得タリ。

日本紀弘仁初度私記云。飛鳥岡本宮朝皇極。皇太子大好漢風而訖。難波長柄宮朝孝德。後岡本宮朝齊明。近江大津宮朝天智。

四代之間。文人學士各競而帝紀。國記。及諸家記。氏々系譜等以

以漢字漫翻譯之

漢字漫翻譯之。加私意誣人。殆欲絕先代舊辭本意。於是淨見原天武。天皇。愁滅其正實。更敕語舊辭而欲傳于後葉矣。雖然譯文橫流史面全不能觸之。引ハハ、今明治二十年

考古。以漢字翻譯之。ト有ルニ目ヲ注グベシ。帝紀已下ノ記錄ノ神世ナガラノ國字ニ書セル物ヲ文學士等ガ漢字ニ翻譯シタルヲ云ナリ。

日本紀承平私記曰。問假名之起當在何世哉。答。神功皇后以前

肥人之字六七枚

肥人書證

和字

文書不傳。已無所見。至于應神天皇御宇遣使新羅招來文人。僅

習文字。然則自彼御時可有之。承平ハ、今明治二十年

又問假名字誰人所作哉。板本釋紀ニ此文ナシ、宮崎文庫本并ニ零本私記ニヨル、答。師說。

大藏省御書中有肥人之字六七枚許。先帝於御書所令寫給其字皆用假名。或其字未明。或乃ハ等字明見之。若以彼可為始歟。

傳云。乃ハ漢字ノ乃川ニアラズ。肥人書ニ乃ハ等ニ書ケ

ル字アリテ漢字ノ乃川ニ似タルナリ。本朝書籍目錄ニ肥

人書五卷薩人書トアリ。古字ヲ以テ五卷ニ書ケルモ

ノアリシナルベシ。和訓栞一ニ松下氏云。今西國人文字ノ

異体ヲ謂テ肥後字ヲ書クト云ヘレバ弘法ヨリ以前ニ假

字ノ字体ハアリシニヤ。

先師說云。漢字傳來我朝者應神天皇御宇也。於和字者其起可

在神代歟。龜ト之術者起自神代古々無文字者豈可成ト哉。古和字ハ龜トノ兆象ヨリ出タリ。故此語アリ。

三代實錄貞觀十三年四月ノ記ニ。忍見足尼命始自神代供龜ト事。トアレバ欽明天皇紀ニ易博士。曆博士ノ交代及ビト書曆本等ヲ送上セシムルヲ百濟ニ勅シタルハ。周易等ノ書ニシテ龜トノ書ニ非ルヤ明ラケシ。

和漢字

今案假字本世有二部。其一部者和漢之字相雜用之。其一部者專用假名倭言之類。古々

此處ニ假名本ト去ヘルハ假名日本紀ナリ。假字日本紀ニ二部アリテ。一部ハ和字ト漢字トヲ雜ヘテ書ケルモノニテ今世片假名交ト去フ如キ書体ノモノナルベシ。又一部ハ漢字假字ヲ書ケルモノニテ。即チ釋日本紀ニ引用セル

神代文字
象形也

假名日本紀ナルベシ。今世傳ハル所ノ平假名交リタル。假名日本紀ハ近世ノモノナリ。

神代卷口決。神代文字象形也。應神天皇御宇。異域書始來朝。至

推古天皇朝聖德太子以漢字附日本字。後百有餘歲而成此書

焉。神代卷口決ハ、貞治年中忌部正通ノ記ス所ナリ。

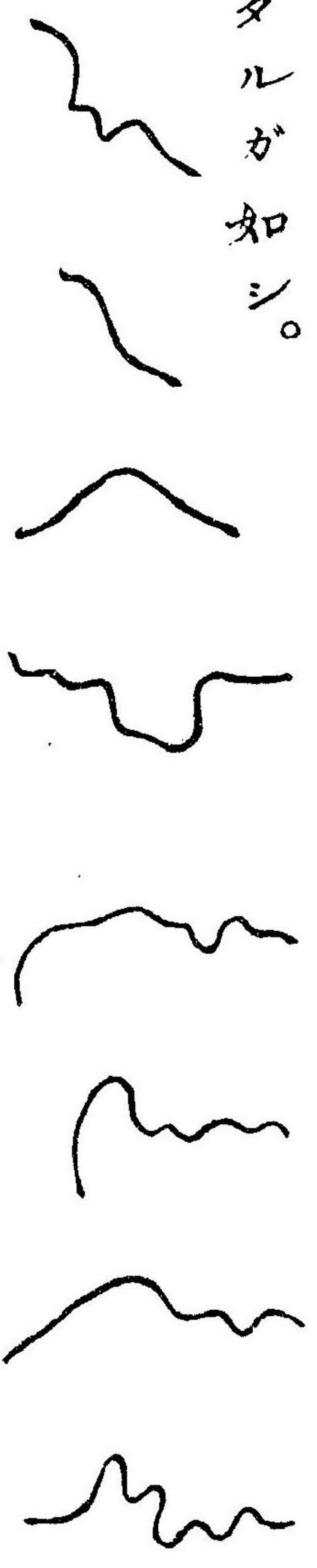
神代文字象形也。トハ歴史綱鑑補古。書制有六。一曰象形。註曰。象形謂日月之類。象日月形體而為之也。トアルカ如シ。我古字ニモト兆字。象形字アリ。

古字一万
五千餘

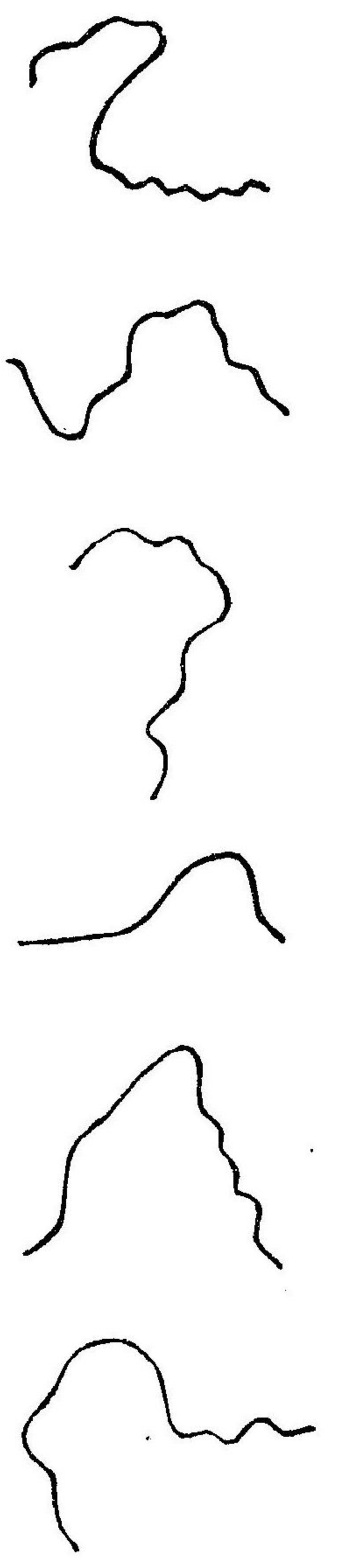
吉田兼俱云。アイウエオノ五十字ハ神代ヨリアリ。神代ノ字ハハカセノ根ナリ。家ノ秘書ニシテ出サズ。一万五千三百六十字アリ。一向ニ解シ難シ。ハカセト去ガ神代ノ字ナリ。去古龜ヲ焦ス時ニ五ニ割テ五行ニ配ス。變ニ依テ五万三千トナル。兼俱ハ文明年中ノ人ナリ。○龜ヲ焦ス時去古五万三千トナルト去ハ無俱ノ説ナレハ削除スベシ。

第八カセ

船橋環翠曰。神代ノ文字ハ一万五千三百七十九字アリト云。
 聲明ノハカセヲ附タル如クナル字ナリ。龜トヲスレバ其拆
 ヤウガ文字ノ体ナリト云。吉田ノ秘事ナリ。環翠ハ天文頃ノ
 出テ船橋家ヲ繼グ○按ニ異体字一万餘アリト云ニ非ズ、日
 文字ヲ以テ記セルガ惣計一万餘アリトノ意ナルベシ、
 吉田家ニハ古字ヲ以テ一万五千有餘記載セシ書ヲ藏セ
 シト見エタリ。前二條ハ神代卷抄ニ載スル所ナリ。
 傳云。ト部家ノ舊説ニ神代字ハ節ハカセヲ指タル様ナリ。
 ト云ヘルニヨク符ヘル書体アリ。樂家録ニ、節墨譜ト書テ
 神樂催馬樂ナドノ古本ニ指セル節ハカセノ狀左ニ擧ゲ
 タルが如シ。



大抵カクノ如クナレバ合セ見テト部家舊説ニ神世文字
 ハ節博士ヲ指シタル如シ。ト言ヘル意ヲ辨フベシ。
 考云。體源抄ノ聲明モ平田氏ノ圖ト似タリ。



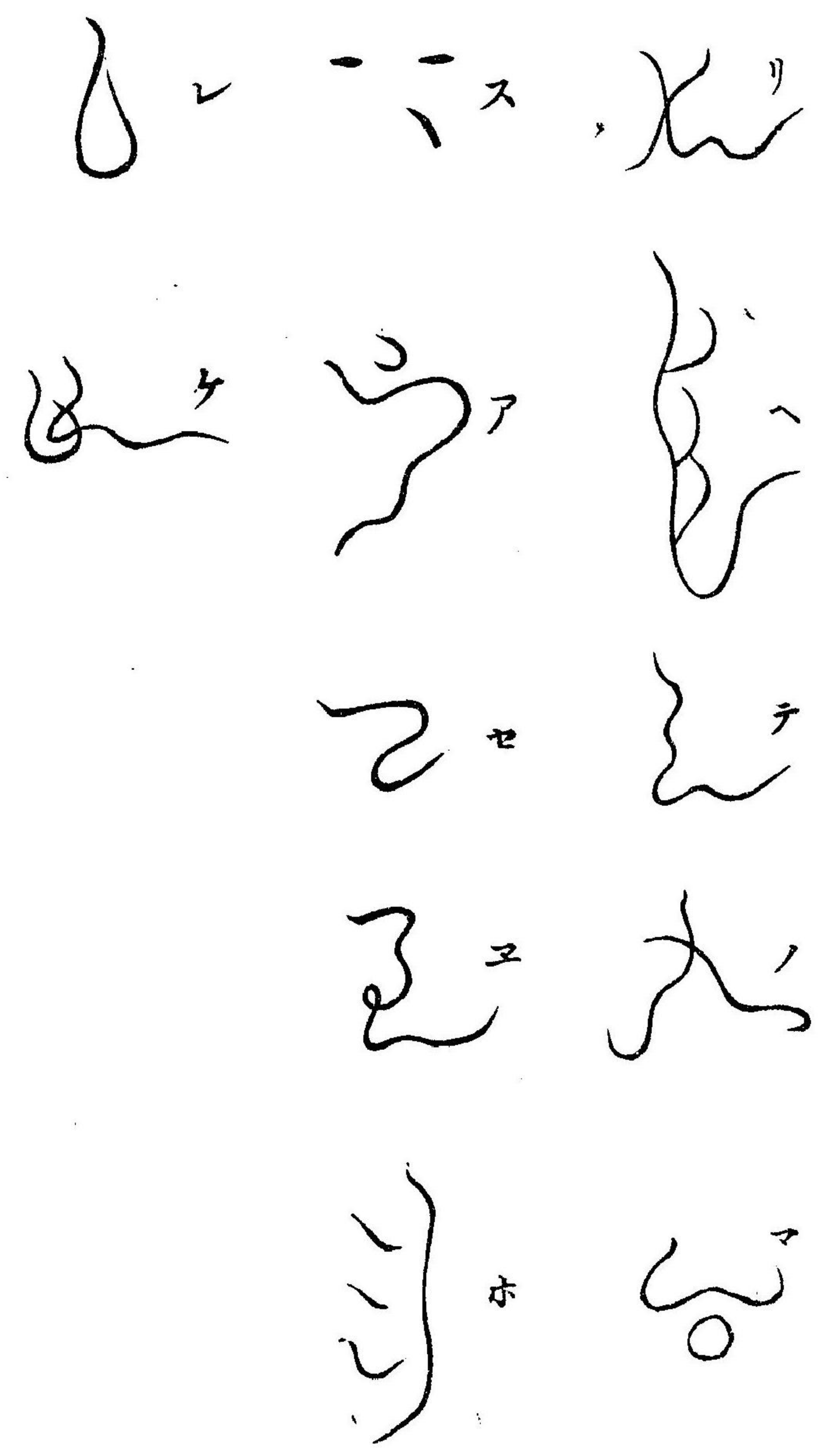
念 一
 彼 一
 觀 一
 音 一
 力 一
 應 時 得 隋 散

譜
字体似節

○節墨譜体古字此字ハ神國神字辨論忍ガ安永年中ニ上木セル
家ノ舊説ニ神代字ハ節ハカセヲ指ル所ナリ傳ニト部
タル様ナリト去ヘルハ此字ナリト

新井君美 說

新井君美云。本朝ノ文字一万計モ有ト云ハ龜トヨリ始レリ。先墨ヲ以テカク文字一ツ有テソレヨリ龜兆ノ拆タルヤウニテ文字トス。今モ吉田家ニハアリ。但盡クハ訓ナキ



カ。大方訓知レザルアリ。字体ハ古木ノ枝ノ如シ。是龜兆ノ開キ分レタル形ナレバナリ。肥人書薩人書尾張ノ字ナド是ハ國々ノ文字通用シ難シ。今吉田家ニアル文字ハ朝家ト全文ナリシカド。漢字ヲ用キシヨリ以來龜トナラデハ入ザルコト故ニ世人知ズ。文字ナクバ開闢ヨリ應神マデ幾千年ノ中何ヲ以テ事ヲ記サムヤ。新井君美白石ト号ス享保頃ノ人ナリ。舊事大成經ニ。小野妹子ヲ河内國平岡宮へ遣シ。秦河勝ヲ泡洲泡輪宮へ遣シ。神字ヲ取出シタル由ヲ記シタルド。神字ヲ日文讀法バ載セズシテ禁音味譽彙勢奈夜古堵茂知爐羅年紫紀流庚キ圍厨宍努蘇汗哆坡响馬嘉有於依爾掌利汨轉能摩敷亞世會ホ鋪列氣ノ文ヲ載セタリ。

潮音ハ天和年間ノ僧ニテ肥前ノ人ナリ。初メ美濃國黑龍

舊事大成
經偽造

山ニ住シ。後上野園館林廣濟寺ニ住ス。伊勢カタ田ノ神主
永野采女等ト謀テ。舊事大成經ヲ偽造シ出板ス。其偽作タ
ルヲ顯レテ采女ハ遠嶋セラレ。潮音モ遠嶋セラルベキノ
處。桂昌院ノ飯依僧タルヲ以テ隱居申付ラル。桂昌院ハ徳川三代將軍家光公ノ妾ニシテ、名ハ秋野、出版書肆豐嶋屋豐ハハ追放
四代將軍家綱公ノ母ナリ、セラレタリ。潮音ハ如此邪僧ナレト。博覽多識ナル者ニテ
廣ク古書ヲ探索シタル者ト見エタリ。小野妹子ヲ平岡宮
ヘ遣シ。秦河勝ヲ泡宮ヘ遣シテ神字ヲ取出タリト云ハ。己
ガ平岡神社阿波神社等ヨリ神字ヲ取出シタル事實ヲ。小
野妹子秦河勝ノ事跡ニ偽造シタルモノナルベシ。然レモ
漢字ヲ以テ日文ノ讀法ヲ傳ヘタル書ヲ採出シ、ハ。潮音
ヲ以テ率先者ト云ハザルヲ得ズ。和漢三才圖ニ。或書曰ト

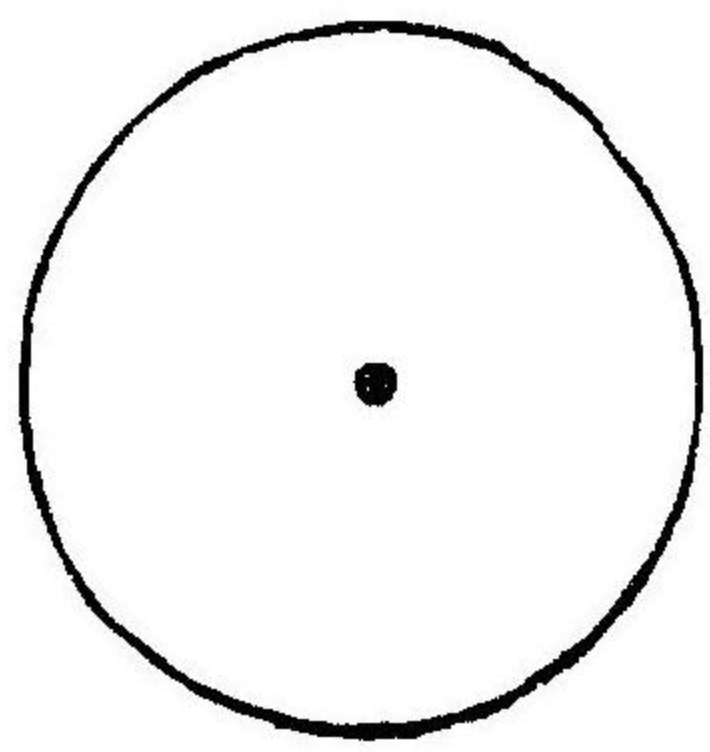
テ同文ヲ載セタリ。圖會上木ハ舊事大成經ニ後ル、コト
三十年バカリナリ。或書ト云ハ何レノ書ニヤ詳ナラネド。
大成經ヲサセルニハ非ルベシ。圖會作者寺嶋良安イカデ
大成經ノ偽書ナルヲ知ラザランヤ。且潮音哥セラレ大成
經滅板ノコトハ寺嶋氏壯年ノ時ナルヲヤ。

●第二章字源

我國ノ古字ハ象形文字ヲ除クノ外悉クト兆ノ圖ヨリ出タ
リ。ト兆ノ源ハ圓象中點ヨリ起レリ。今之ヲ圓象中點圖ト名
ク。

圓象中點

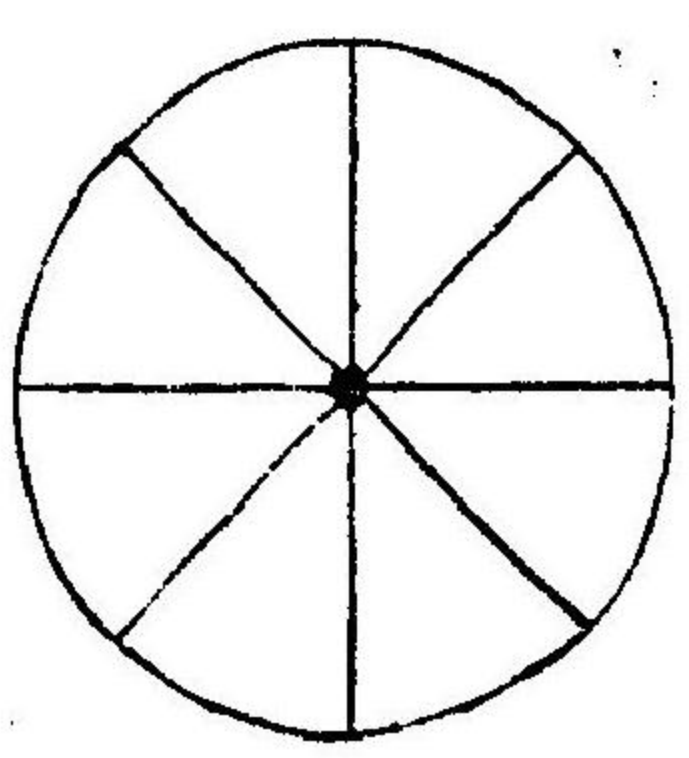
圓象中點



此圖ニ縦横斜ノ線ヲ加ヘテ今之ヲ圓象八線圖ト名ク。

圓象八線

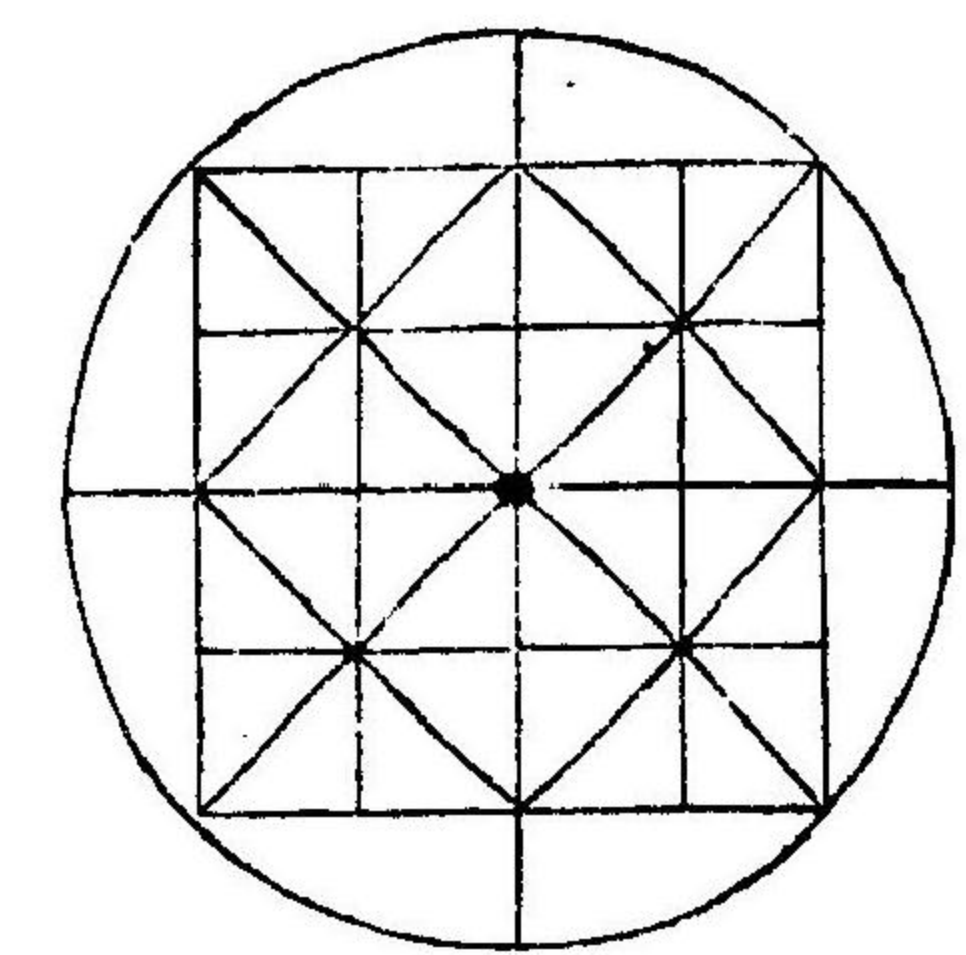
圓象八線



此圖ニ又方形縦横斜ノ線ヲ加ヘト兆圖トナス。今之ヲ真正兆圖ト名ク。

真正兆圖

真正兆圖



ト傳ニ。ト兆ノ圖ヲトニ作ルハ略圖ニシテ。ト者真正兆圖ヲ心ニ藏ルニ非レバトヲナス能ハザルベシ。

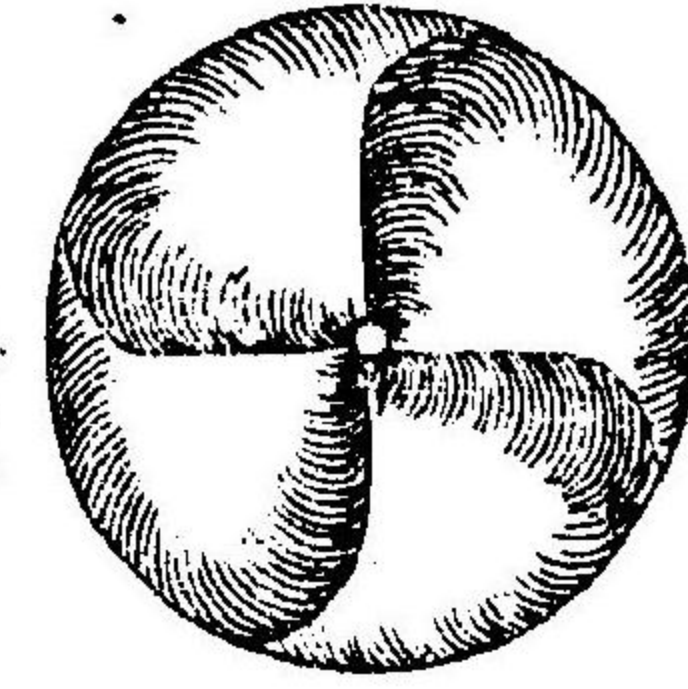
兆圖ヲサスカリト云。龜甲鹿骨ニ火ヲサスト云。語アルヨリ起レルナルベシ。和名抄ニ。天一神ナカカミ奈加トアリ。ナカハ中央ノ

サスカリノ名義

義ニシテ天真中主神ヨリ出タル訓ナルベシ。即ト兆ノ中點ニ象ル。和訓栞ニ。天一神サスカリトアリ。中點ヨリ外方ヘサス義ニ象ル。六方ヘサスヲムサシト云ヒ。八方ヘサスヲヤサスト云。又佐須ハタツト通ズ。下ヨリ上ヘ指スヲ立ト云。縦ノ語ハ立ヨリ出タリ。八雲立ヲヤツメサス。立竹ヲサスタケト云ヘリ。又縦横線ニ斜線ヲ加ヘテサスカリト云フ。其狀取ノ如ク襷ノ如シ。サズキタスキモサスカリハキリノ義ニテ一節二節ヲヒトキリフタキリト云。限字ヲキリカギリト訓ムモ塚ヲナス義ナリ。切ハ限ノ活語ナリ。草ニハカリカルト云ヒ。木ニハコリコルト云フ。横線ハ縦線ヲ斷テ段ヲナシサスカリノ圖ナル。鎗ニサスマタアリ。鍔ニカリマタアリ。其狀

兆形回毛

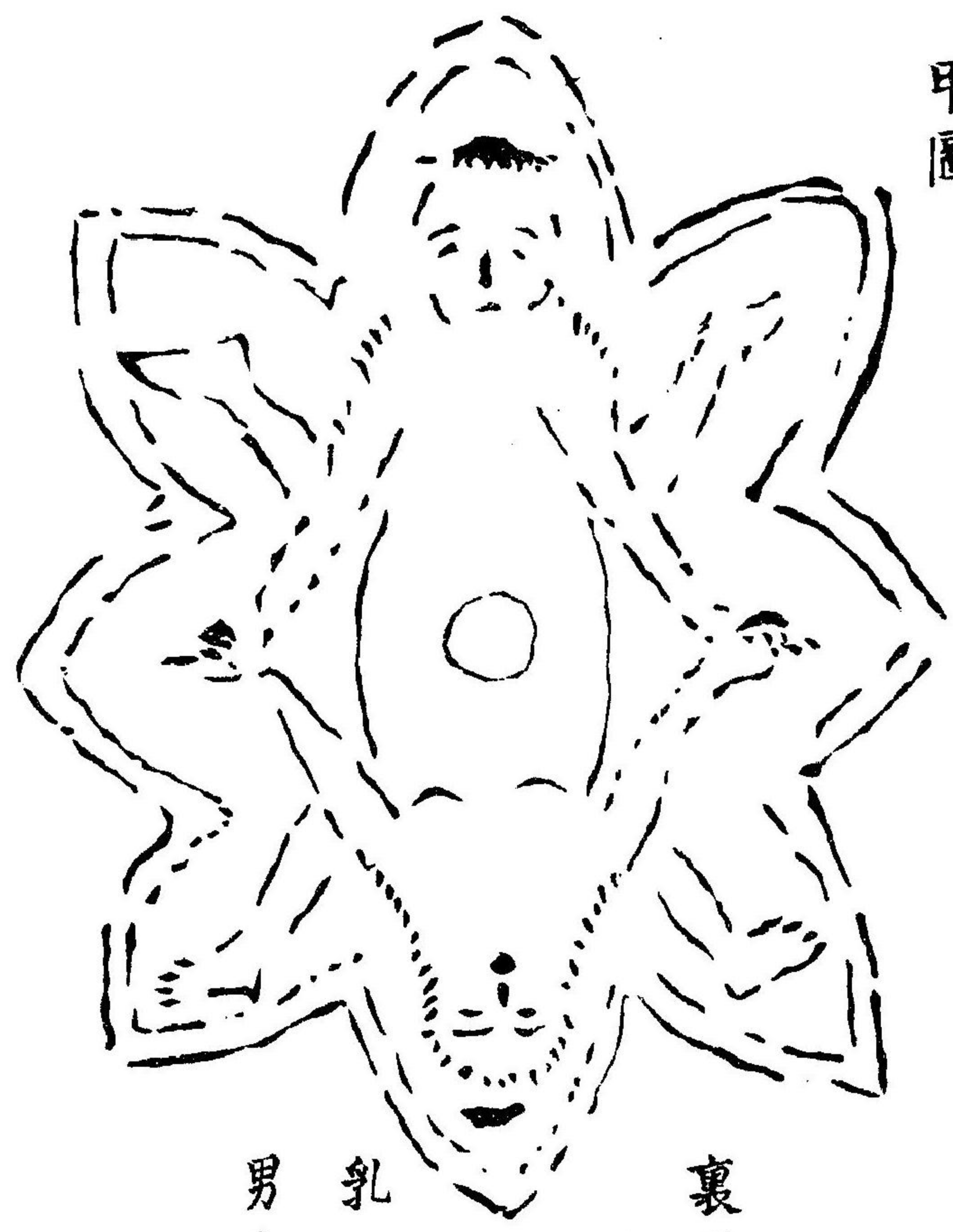
ノ歌アリ。ムサシハト兆ノ縁語ナルヲ以テトニ冠セシナラ
 ム。サスカリハ兆圖ナリ。マチガタノ語ハト書ニ見エタレド
 姓氏録ニ。允恭天皇ノ世ニ額ニ町形廻毛アル馬ヲ獻リテ。額
 田ノ姓ヲ賜リシトアリ。又天皇勅曰。此馬額如田町。ト兆圖ハ
 田字形ヨリ起レルモノナルヲ知ルベシ。此圖萬事ノ法トナ
 町形回毛カ
 ル。先ヅ形ヲ作ルヲヒナガタ
 クノ如クナ
 ト古ヒ。体ノ法ニ叶ヘルヲス
 ルベシ。
 ガタカタチト古ヒ。字書ニ古。
 以上曰型。以木曰模。以竹曰范。范法也。式也。ト有ルガ如シト方
 モ亦此圖ヲ以テ法ト云。サスカリ兆形ノ起原ノ理ヲ知ラム
 トセバ。左ノ圖ヲ熟覽スベシ。



○ト兆器 下野守都官ニ
 荒神社藏。銅製

兆形起源

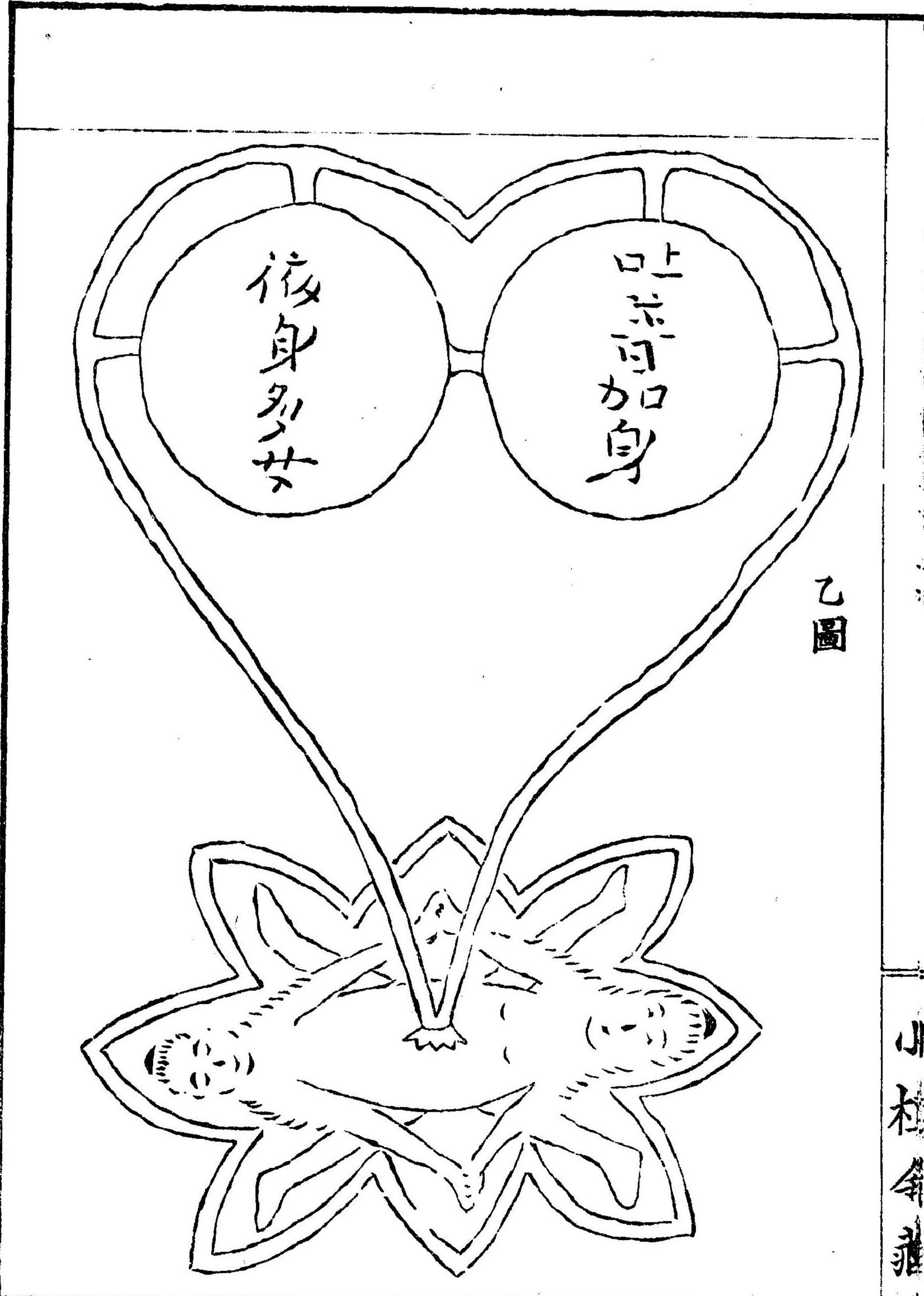
甲圖



裏面ニ左ノ
 四字アリ
 六四二五
 乳ノ有無ヲ以テ
 男女ヲ分ツベシ

此圖手足交テXXXX形ヲナス。之ニ縱橫線ヲ加フレハ
 圖トナル。

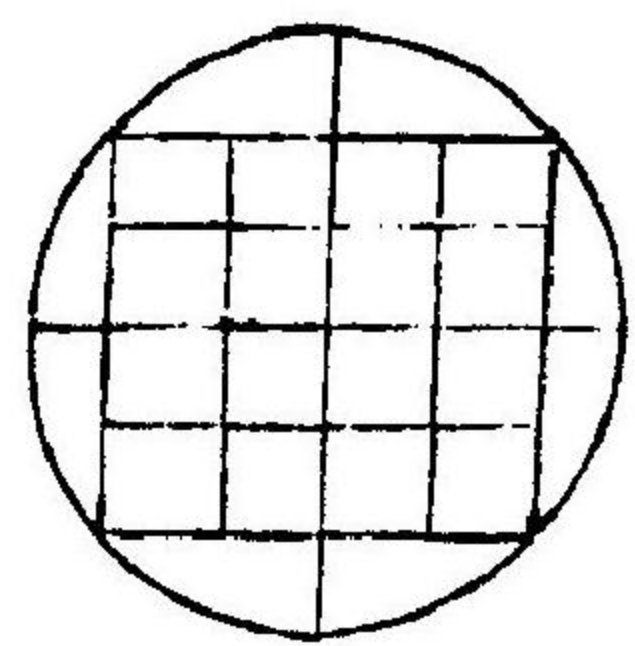
甲圖ヲ臺トシ其中ニ兆詞器ヲ建ル左ノ如シ。



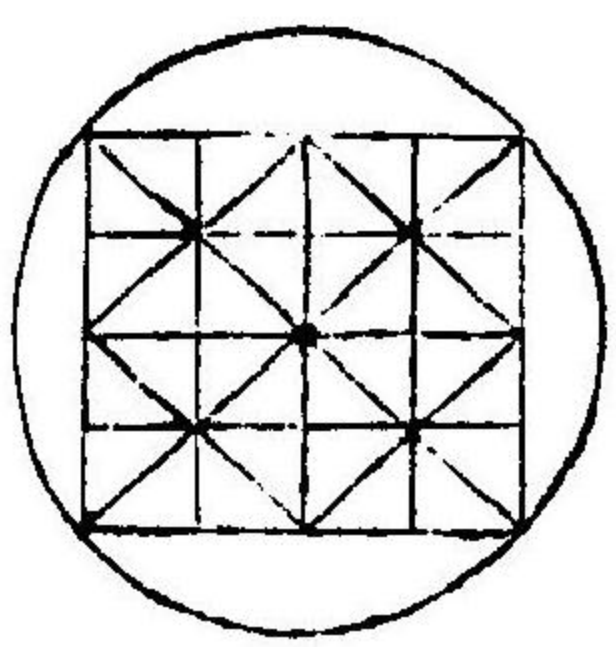
乙圖

古字ハ此真正兆圖ニテ悉ク之ヲ網羅セリ。然シテ字源ヲ分
テ七圖トナス。今之ヲ七字源ト名ク。

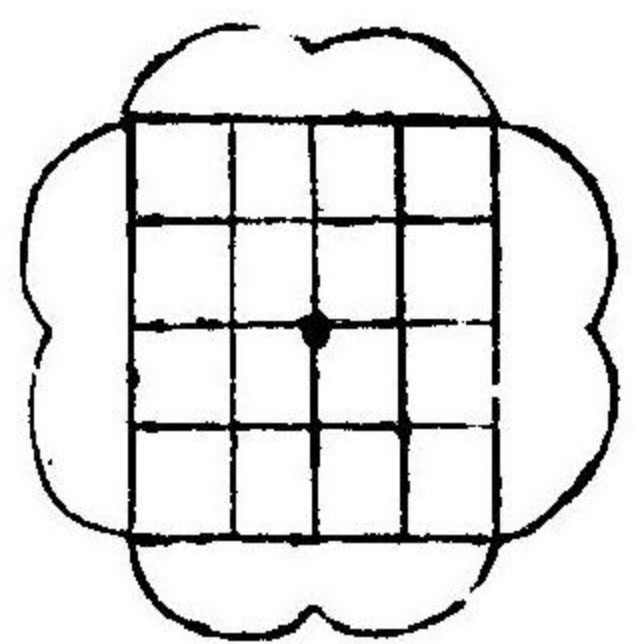
七字源



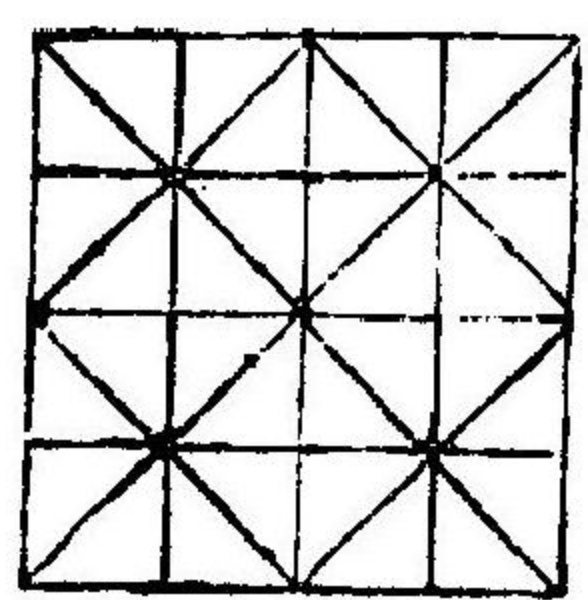
ツクシモシ



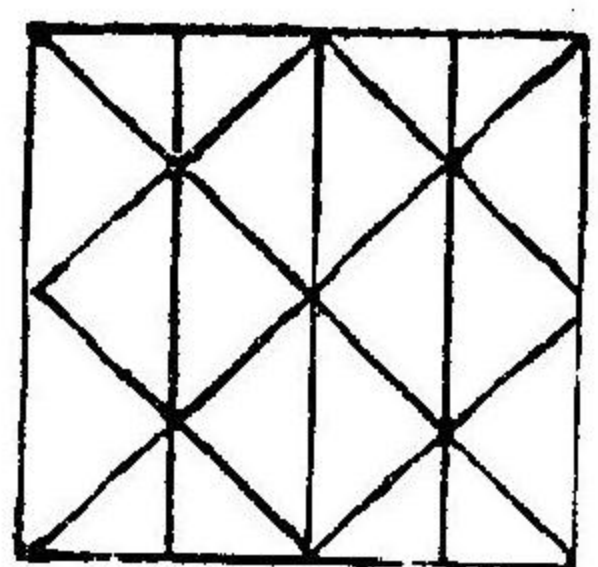
アヒルモシ
イヨモシ
アイノモシ



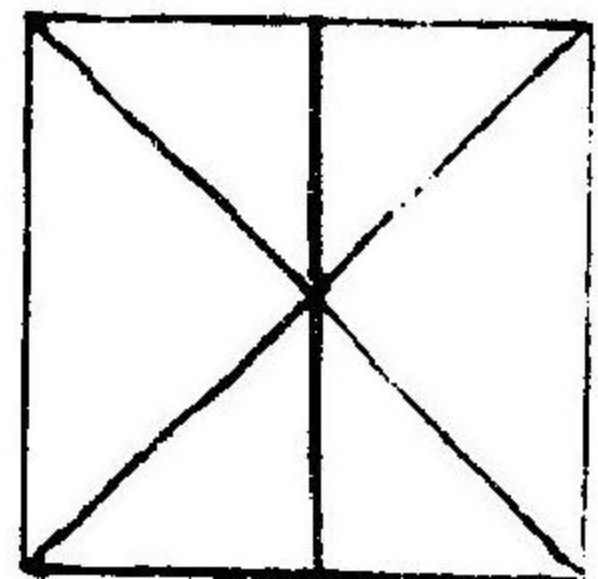
コレタリ
モシ



イムベモシ



タホコモシ
モリノモシ

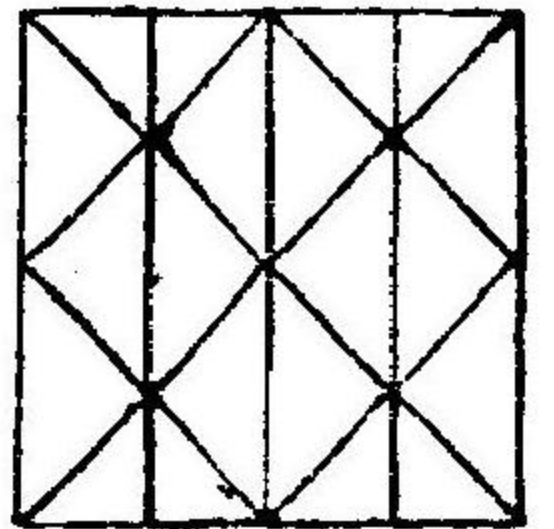


ト
ツシマ
モシ

古字其体多種ナリト雖。此七字原ニ出ザルナキハ追章ニ述
ル所ヲ見テ知ルベシ。

第三章六行成字

阿奈伊知字今改テ六行成字ト名ク。阿奈伊知字ハ傳附録鏤木神字考等ニ載ヤタリ。此字阿波國阿波神社ニモ傳ヘタリ。ト見エタルガ和訓栞ニ河内國枚岡神社。大和國忌部神社等ニテ瓦ニ彫リシ文字ヲ掘出シ、由テ載セタリ。是此アナイチ字ナルベシ。○阿奈伊知ハ和名抄ニ意錢和名世亦字知トアリ。今アナイチト云。兒戲是也。アナイチハ穴打ノ義ナリ。和漢三才圖會意錢ノ條ニ。近世有鍋嶋閉保六道等數品トアリ。鍋嶋閉保ハ如何ナル法ニヤ知ラズ。六道ハ八道行成ニ準ヒ六道ヲ走ル法ト知ラレタリ。六道即六行成公左ノ圖ノ如ナルベシ

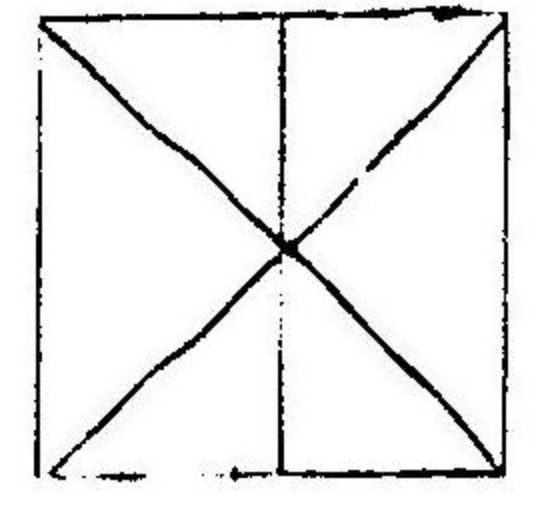


宇陀氏云。大和ニテハアナイチノ法左ノ如シ。

六行成圖

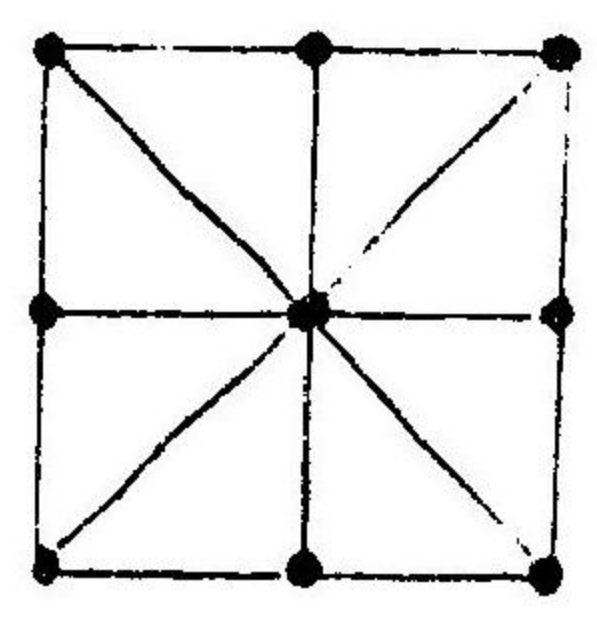
壁 垣

○穴



△ 兒童此所ニ立テ錢ヲ投ツナリ、

圖ノ如ク壁垣ノ前ニ穴ヲ穿チ。穴ノ前ニ六行成ノ圖ヲ畫キ。錢ノ穴ニ入ルヲ大勝トシ。錢ノ壁垣ニ觸レテ及テ穴前ノ圖ニ落ツレバ線ノ所々ニ由テ勝敗アリト云。○三才圖會ニ云。一種六行成ナルモノアリ。碁子黑白各三ツ九舍ヲ走ル。



九舍ハ如此ナレバ六行成ニ如此圖モアリト見エタリ。同士三ツ相連ルヲ勝トス。碁子黑白合セテ六ナレハ之ヲモ六行成ト云フナルベシ。

八道行成ヤサカリ品文ニ出品文ニ出。和名抄ニ。八道行成夜佐須トアリ。夜佐須ハ八道ヲ指ス義ナリ。俗ニ將碁ヲサスト云フサスニ同ジ。須ハ八道ヲ指ス義ナリ。ヤサスカリヲ洋語トスル説アリ取ラズ。今俗ニ十六ムサシト云。三才圖會ニ云。十六士卒一力士ヲ

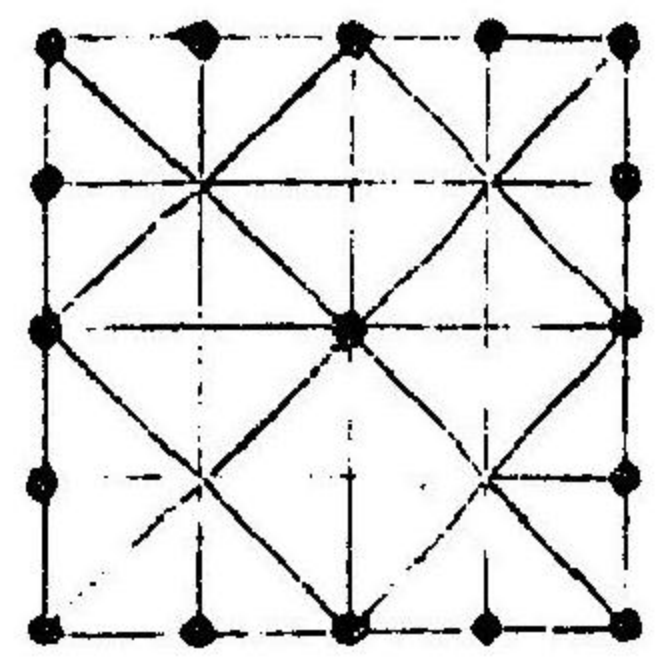
カ
リ
樗
蒲
ノ
名
ト
ナ
ル

中ニ圍テ之ヲ攻ム。カ士八道ヲ行テ二卒ヲ左右ニ披テ之ヲ屠ル士卒相聯テカ士ヲ逐フ。カ士行道ヲ失テ斃ル。賀利ハ樗

和漢三才

圖會八道

行成圖



或人云、武藏、多摩、都邊ニテハ兒童集テ地上ニ此ヤサスカリノ圖ヲ畫シ、始メ中央ニ一錢ヲ置キ、之レニ錢ヲ投テ、錢ノ重ナルヲ最勝トシ、種々ナル勝敗アリ、之ヲアナイチト云ト、

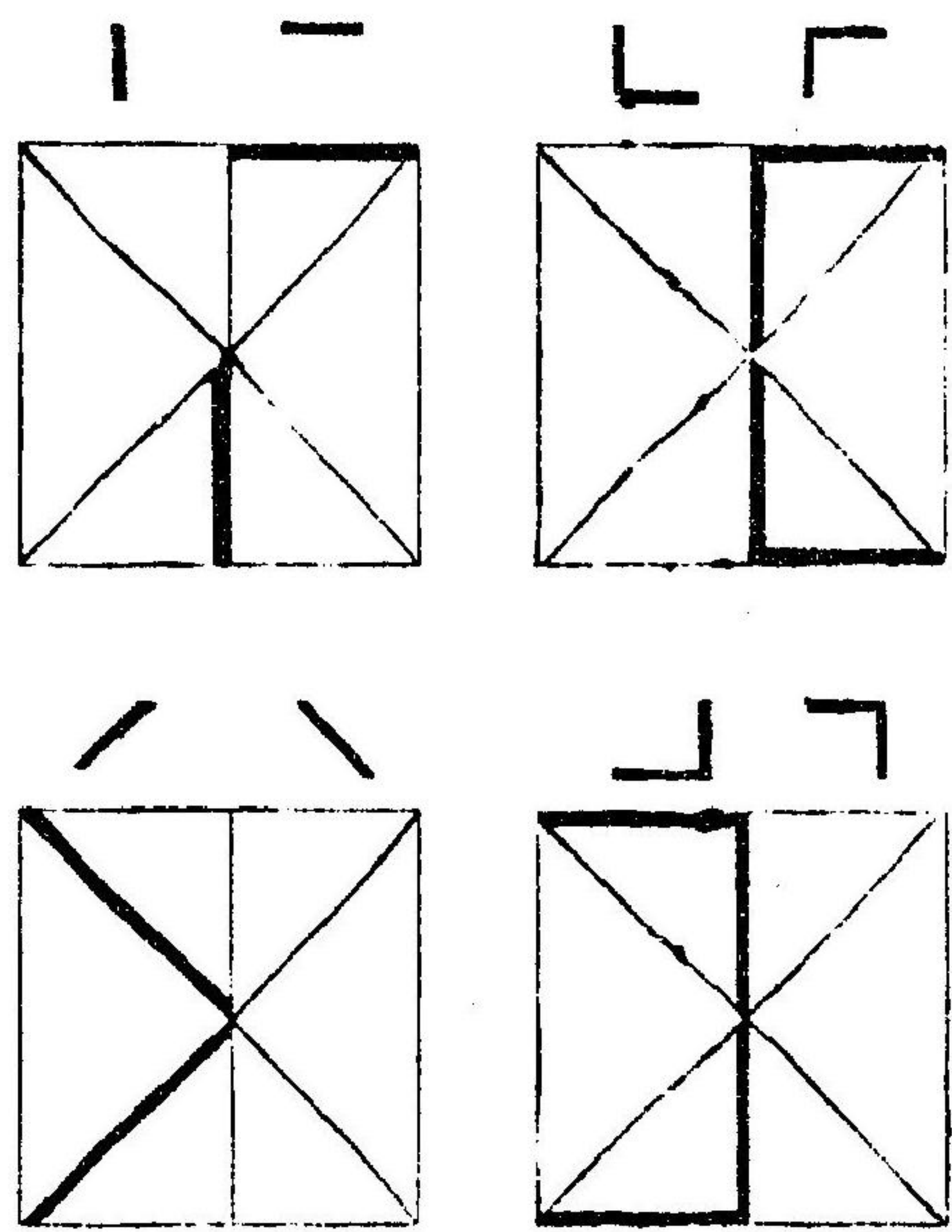
浦ナリ。和名抄ニ樗蒲和名賀利字知トアリ。俗ニチヨボイチト云ヘ

リ。以上論ズル所ヲ以テ夜佐須幸佐志ハ其源同物ニシテ阿奈伊知圖ハ六行成ヨリ出タルヲ知ルベシ。然シテ此戲ハ印度ニ始リ。千年以前我邦ニ傳ハリシモノナルガ。我龜トノ兆象ニ符合セルモノニシテ。和字ノ字源モ此圖ニ外ナラズ。故ニ我古字ヲ阿奈伊知トハ名ヅケシナルベシ。阿奈伊知字數体アリ。河内國ヨリ出タルモ其一種ナルベシ。是阿奈伊知

六
行
成
字
字
源
及
組
織

字ヲ六行成字ト名ヅケシ所以ナリ。

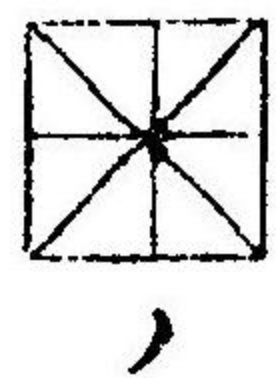
○字源及五十音圖



中點

鶴峰戊申ノ缺木文字考

ニアナイチ字ハ



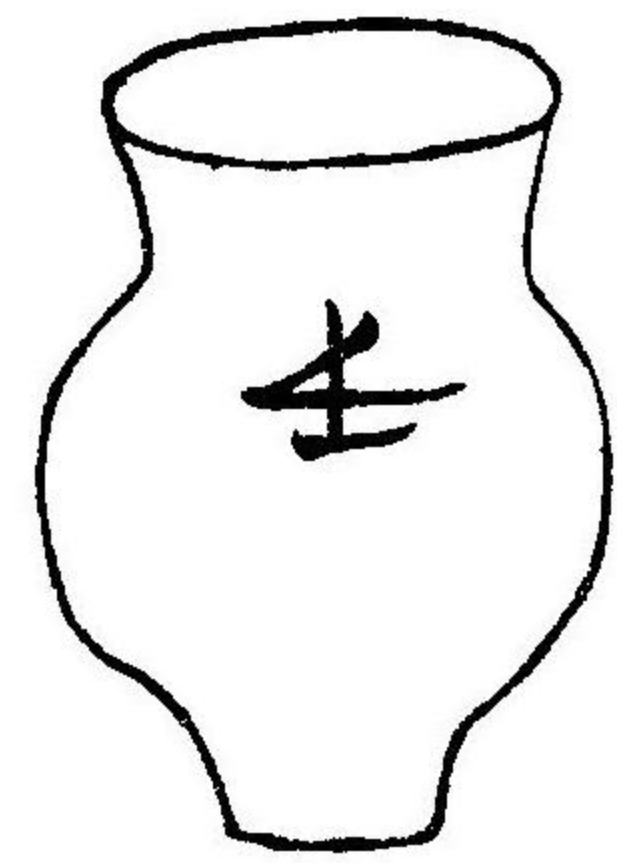
圖ヨリ出タリト。

上	左	右	右	左	中	下	中	下	父
一	二	三	四	五	六	七	八	九	母
十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九
二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九
三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九
四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九
五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九

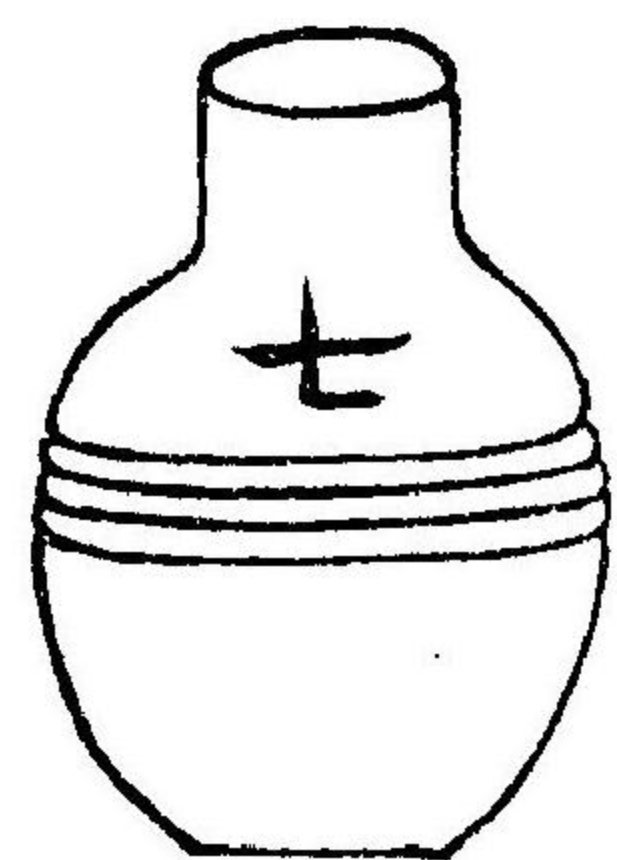
○日光二荒山神社所藏明治十年

○下野河内郡鶴田村

下野土器
字



柿沼廣身吉
田利平等山
頂ニ於テ見

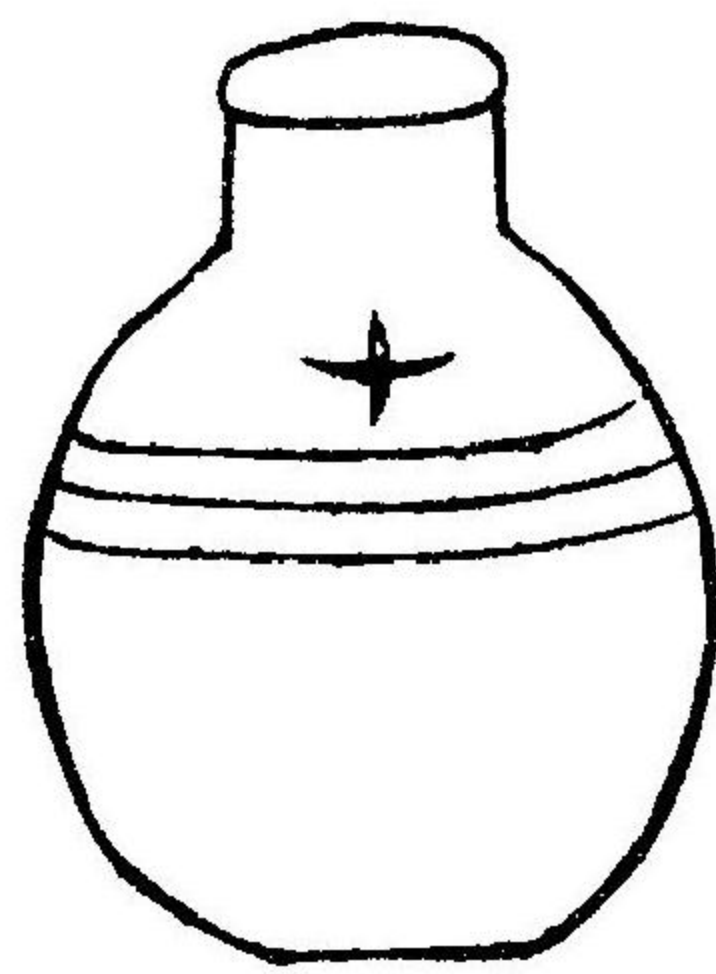


小松
惣次
所藏

出ス所ニテ七ハム上連合字ナリ。

七字

○小松惣次所贈直澄所藏



十字

七十。等漢土ノ數字ノ如クナレド然ラズ。二荒山鏡字。駿河地方祝部土器ノ字ヲ以テ徵スベシ。是等ノ字ハ皆六行成字也。

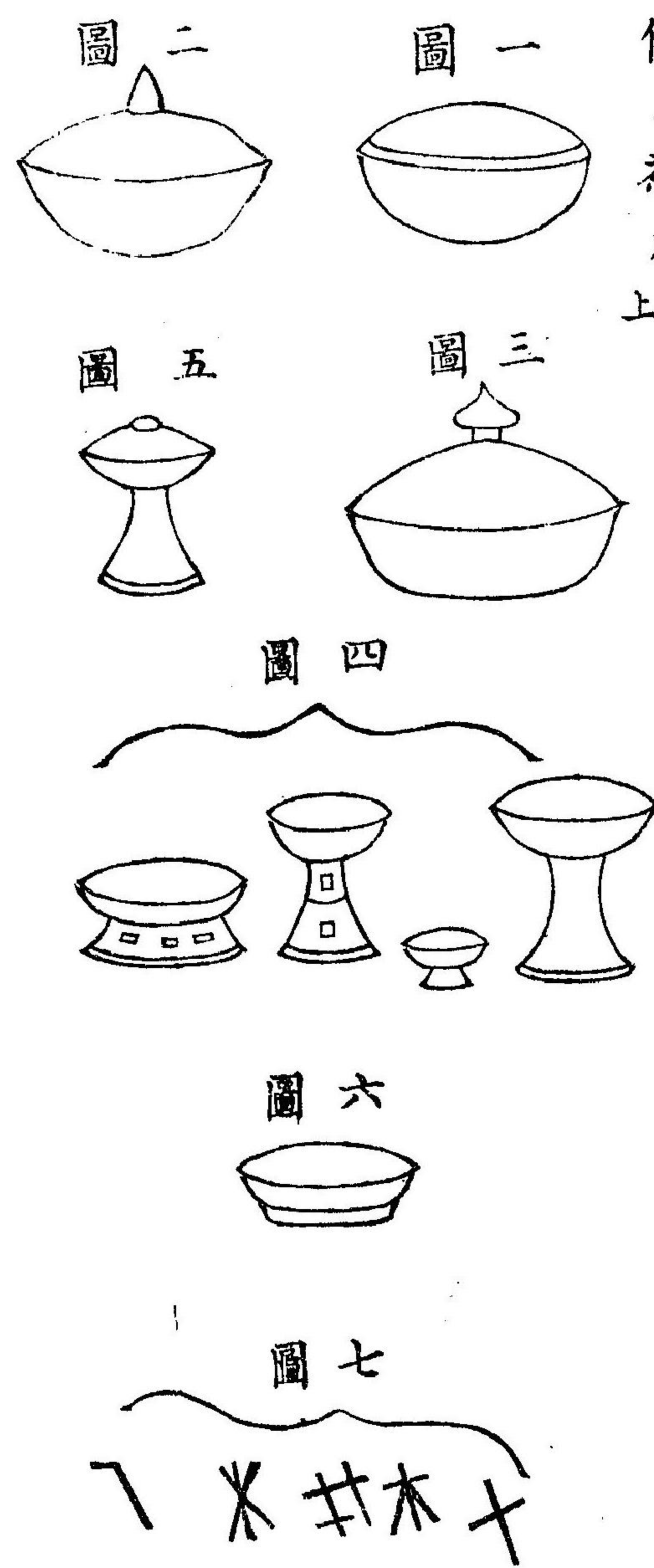
○駿河地方祝部土器圖說 東京人類學會報告第十七号

山中笑氏記ノ略曰。静岡近在ノ地ニハ朝鮮土器。即裏面 渦形アルモノ祝部土器。即渦形無キ土器ノ破片ハ澤山ニ見出サル。ガ。朝鮮土器ノ全形ノモノヲ掘出シタルハ誠ニ稀ニテ。是ハ元來製造ノ數ガ祝部土器ヨリ少キ故ト考ヘラル。夫耳ナラズ。朝鮮土器ハ大形ノモノ多ケレバ。掘出ス時意ナキ者ノ鋏先ニ當リヤスク。又ハ地中ニテ大石ニ壓レテ破レタルニ因ルト考ヘラル。

祝部土器ノ中ニテ。最數多ク掘出ルハ一圖ノ形ニテ。大サ蓋トモ高サ二寸程。徑三寸餘ノモノナリ。同様ナル大サニテ二圖ノ如キ蓋ニ鈕ノ付タルハ少ナシ。三圖ノ如キ高サ二寸。徑五寸餘ノモノモ多シ。

駿河地方
土器字

一圖ヨリ六圖マデノ土器ノ中ニ。一種密印^{カマシレ}トモ云ベキ印ノ蓋ニモ底ニモアルモアリ。松葉形井字形十字形ナドニテ我見シハ七圖ニ示ス。五ツノ印疵ニテ陶工ノ印カ。密ニ入ル、時焼ノ出来ヌ為カ。サテハ同形ノモノニテ。シルシナキモノアレバ飾カ。飾ナレバ見ユル所ニ付クベキニ。底裏ニ在ルハ何ノ為カ。上^以



密印

直澄案ニ。是レ我^カ古字ニシテ六行成字齋部字等ニ由テ十^ナ井^イ米^ホヘト訓ムベシ。伊羅保ハ土器ノ名ナリ。古イ^イラホ朝鮮イ^イラホ黄イ^イラホ御本イ^イラホ南蠻イ^イラホ玄悦イ^イラホ等アリ。委クハ別ニ云ベシ。梅軒陶器考等ニ由テ考フルニ

密印^{カマシレ}ニ種々ノ字アリ。備前尹部薄作ニ丁。備前ノカヤ壺ニ×。同茶入ニ丁三。諸焼モノニ七ノ字等アリ。伊賀形耳付建水密印ニ十。印度陶器筒水サシノ上ノ方ニホソキ筋アリ。胴ニ^ハ五ノ押ガタアルアリ。澁金氣藥肩衝^ハ七^ハ胴ニ圖ノ如ク^ハ籠目^ハアリ。如此陶器ノ字ハ我邦古來ノ法則ニ由レルガ如シ。印度陶器トアルハ猶朝鮮器ニハアラザルカ。五^ハハ諺文ナルベシ。陶器ヲ見サレバ判ジガタシ。呂宋陶器ニ密印

ナシ。密印アルハ我邦人呂宋ニ入テ陶器ヲ作りシトアレ
 バ。我邦人ノ作ナルベシト云。後世我陶工ノ密印ニ異体ノ
 字ヲ用ルハ。古來ノ慣習法ニ由ルモノカ。京焼ノ中ニ有來
 新兵衛密印ニ了。て三。備前密印ニ由ルモノ、如シ中田川光存ハ
 光字ヲ松葉形光字ヲ松葉形宗伯ハ○。茂右工門ハ十等ノ密印アリ。
 是レ古字ヨリ出タルコト明ケシ。然レ凡此世ノ人故事ヲ
 明ニシテ如此印ヲ用キシモノニ非ズ。唯習慣法ニ由ルモ
 ノナルベシ。後世家々ノ定紋ノ如キ。角力者俳優者ノ代々
 類似ノ名ヲ付ルガ如キ。酒商ノ杉丸ノ招牌ノ如キ。其理由
 ヲ知テ之ヲ行フ者ハ鮮シ。唯習慣ニ由ル者ナルガ如シ。
 備前尹部ハ齋部氏ニ由アルカ。陶器字ハ多ク齋部字ヲ用
 ウ。崇神紀ニ忌免ト書キテイムベイハヒベ兩訓アリ。イハ

小村金藏

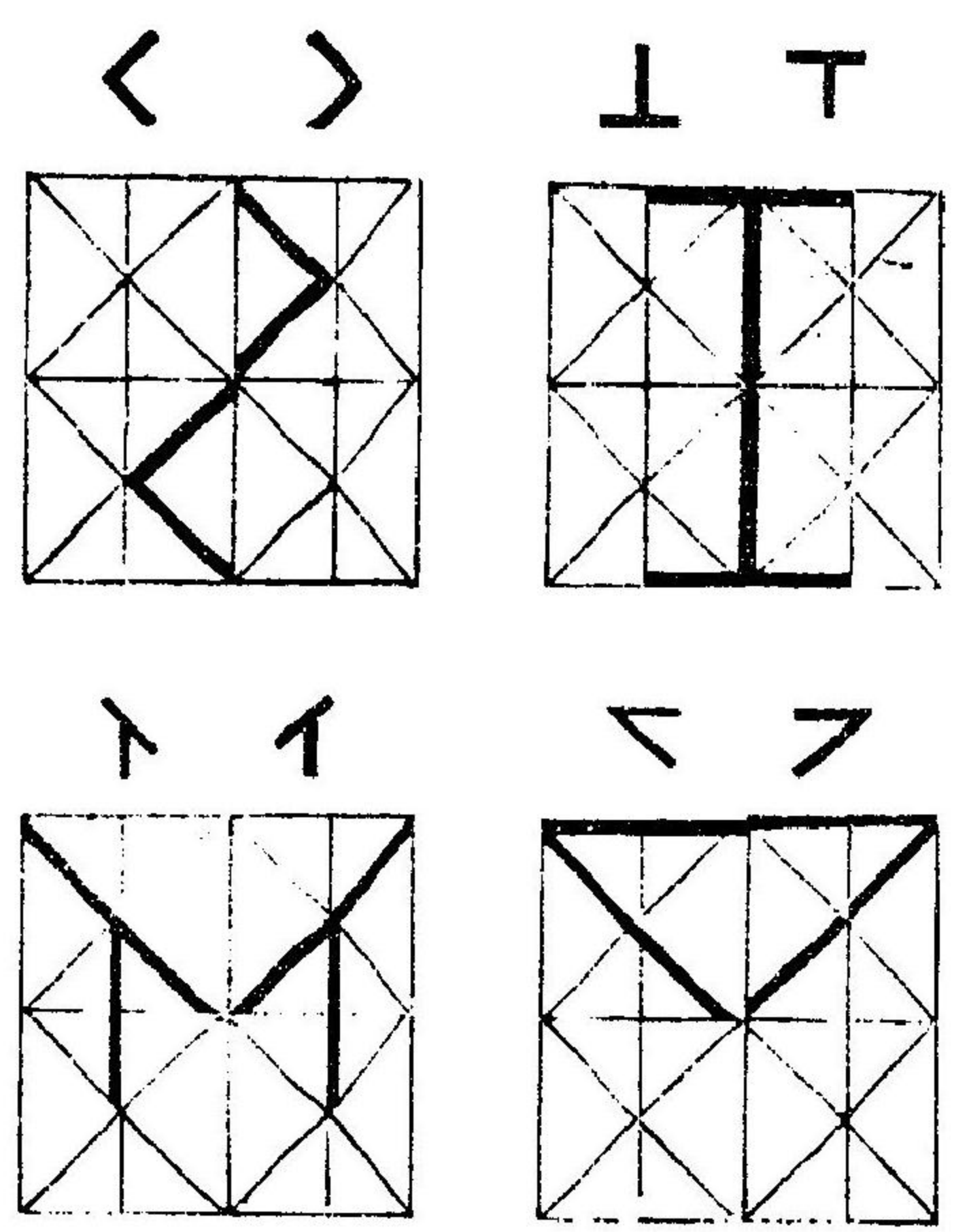
ヒハイマヒノ轉語ニテ猶イムト同語ナリ。

●第四章種子字

此字ハ傳附録ニ天種子命神代文字トノミアリト云。

○字源及五十音

種子字源及組織



ト	イ	マ	ヒ	フ	ル	レ	ノ	ミ	ア	リ	ト	云
ト	イ	マ	ヒ	フ	ル	レ	ノ	ミ	ア	リ	ト	云
ト	イ	マ	ヒ	フ	ル	レ	ノ	ミ	ア	リ	ト	云
ト	イ	マ	ヒ	フ	ル	レ	ノ	ミ	ア	リ	ト	云

。日本古代文字考上卷

早七

小真

●第六 阿比留字

日文四十七言

日文	日文	日文	日文	日文
シ	シ	シ	シ	シ
フ	フ	フ	フ	フ
ミ	ミ	ミ	ミ	ミ
ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ
イ	イ	イ	イ	イ
ム	ム	ム	ム	ム
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
コ	コ	コ	コ	コ
ト	ト	ト	ト	ト
モ	モ	モ	モ	モ
ホ	ホ	ホ	ホ	ホ
レ	レ	レ	レ	レ
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
サ	サ	サ	サ	サ
リ	リ	リ	リ	リ
フ	フ	フ	フ	フ
タ	タ	タ	タ	タ
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
テ	テ	テ	テ	テ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
マ	マ	マ	マ	マ
メ	メ	メ	メ	メ
カ	カ	カ	カ	カ
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
オ	オ	オ	オ	オ
エ	エ	エ	エ	エ
セ	セ	セ	セ	セ
エ	エ	エ	エ	エ

日文字母

ト ク
 一 オ
 一 イ
 一 エ
 一 ト
 一 ヨ
 一 コ
 九畫
 十畫ニ作ルベシ
 今〇字ヲ補ス

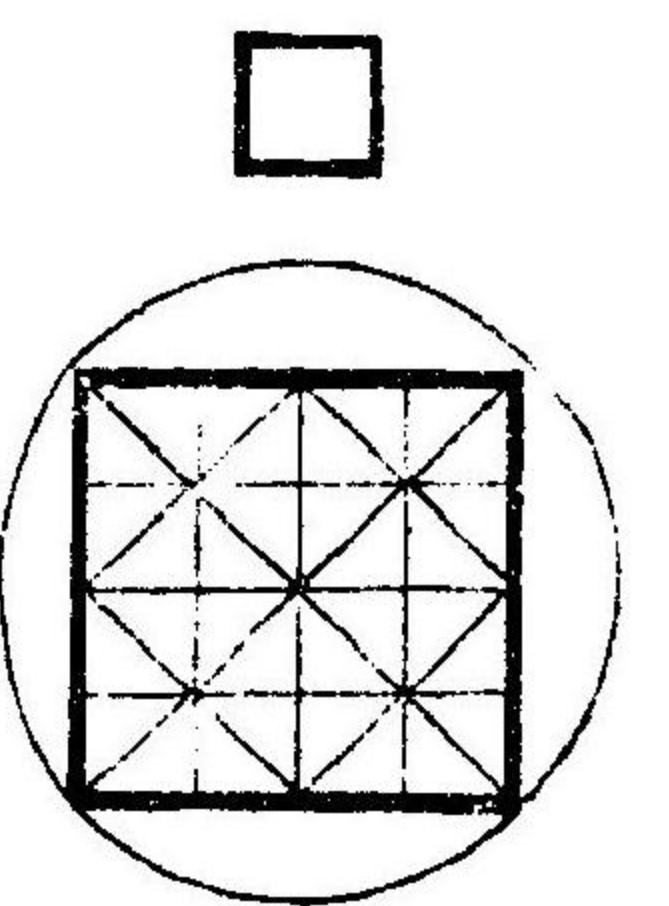
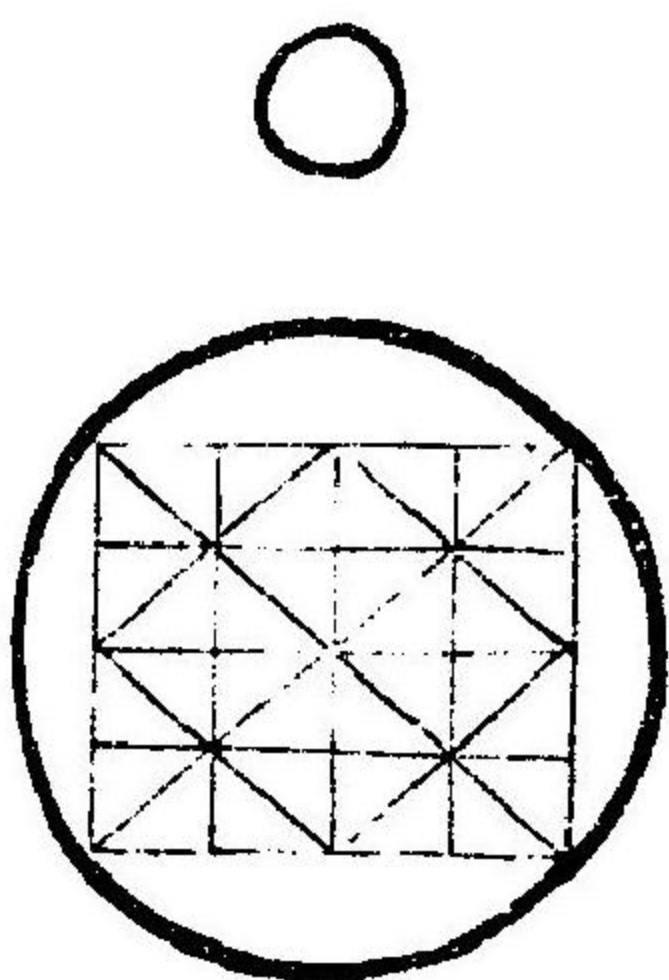
五畫

阿比留字
 字源及組

△
 △
 □
 □
 L
 L
 I
 I
 □
 □
 ○
 ○
 U
 U

右神代四十七音字者。天兒屋根命之真傳也。對馬國ト部
 阿比留氏内々傳之可秘ニ馬。○一本去。右日文四十七
 言者。日神勅天思兼命所作也。一本、マタ一本モ
 右神世行文。中古所謂肥人書也。同ジ與書ナリ。○一本去。

下總國人大中臣正幸傳源八重平。八重平傳之政文者也。
 政文ハ會津家臣大竹喜三郎ト云ヘリ。八重平ハ
 伊奈見左膳ト云シ人ニテ。明和安永ノ頃ノ人也。
 ○字源及五十音圖

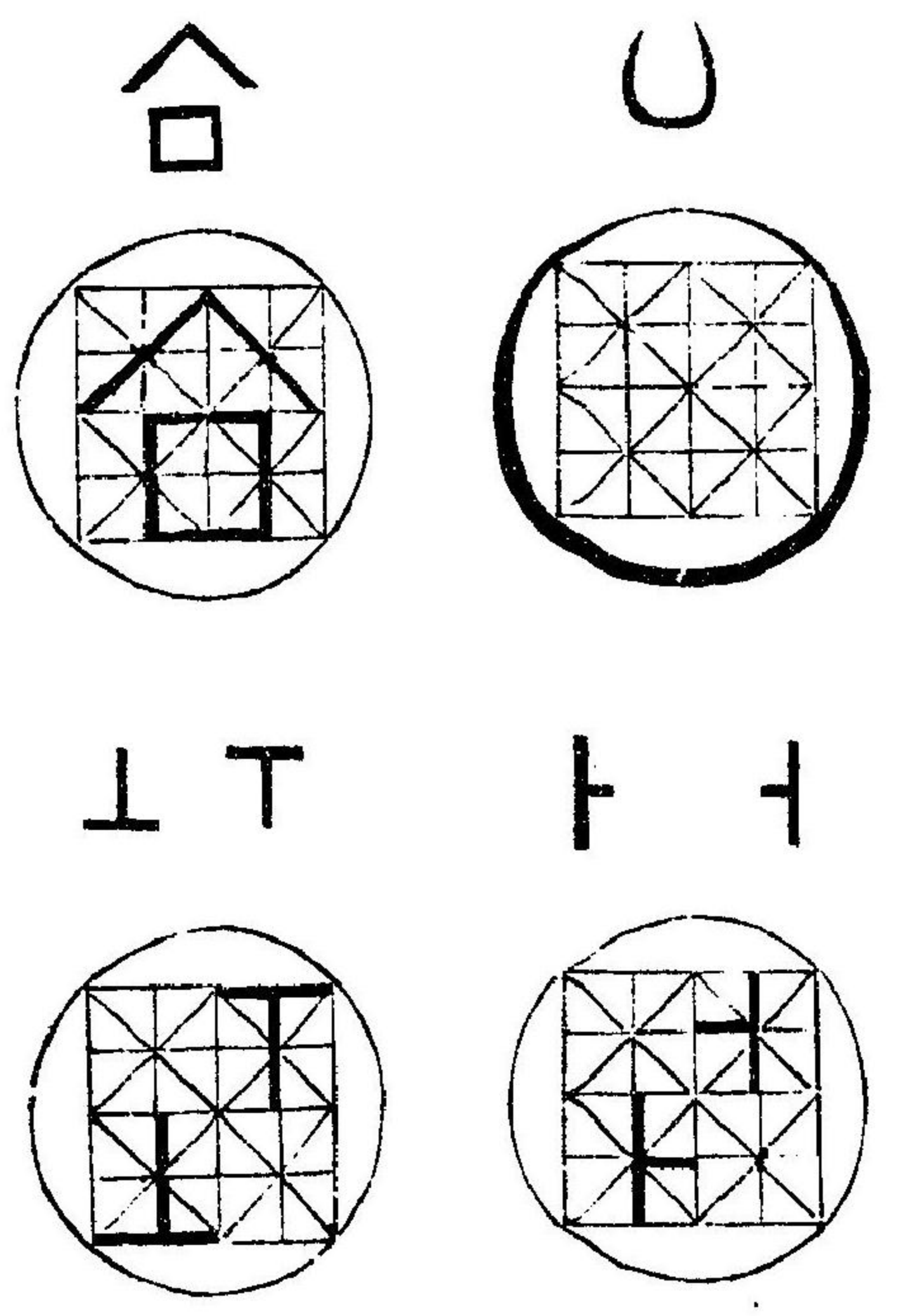


△	△	△	△
△	△	△	△
△	△	△	△
△	△	△	△

○日本古代文字考上卷

十九

真



○縦体阿比留字

此字前文ニ同ジ。
前文ハ横連合ニ
シテ此字ハ縦連

U	○	□	工	フ	又	コ
	イ	ロ	リ	リ	リ	リ
U	イ	ロ	リ	リ	リ	リ
	イ	ロ	リ	リ	リ	リ
	イ	ロ	リ	リ	リ	リ
ア	ア	マ	イ	フ	ナ	カ

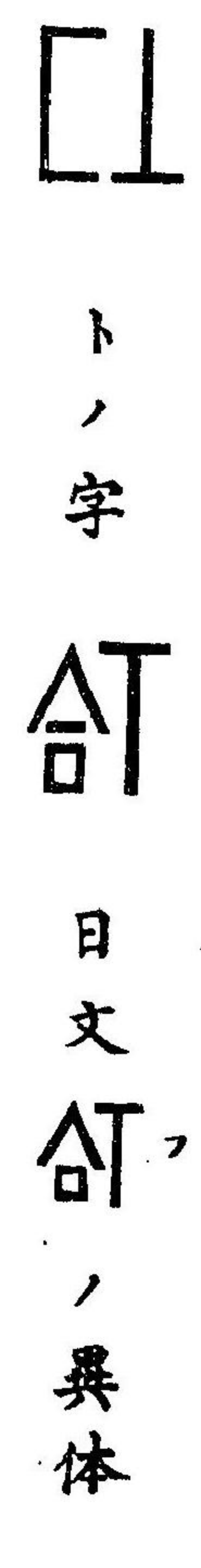
コ	□	合	ハ	U	父母
ク	ク	合	合		ト
コ	ク	合	合	U	ト
ク	ク	合	合		ト
ク	ク	合	合	U	ト
ク	ク	合	合	U	ト

合ナリ。字原モ前
文ニ同ジ。

○	□	工	フ	又
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

右神世字。天思兼命所撰云。對馬國ト部阿比留中務傳之。
○一本云。右日文者。日神勅思兼命所製也。筆法祕傳者。筆
意。把筆。運筆。全假離合。廣文。縮文。以上七條。ト部家口傳有
之。

神田孝平氏珍藏ノ石劔頭ニ左ノ二字ヲ彫刻セリ



下野下都賀郡赤麻村古塚古字

赤麻村古
碑字

下野國下都賀郡
赤麻村字北坪山
野井吉右衛門邸
地續平林中古塚
巨石三枚ヲ以テ
蓋トシ蓋ノ中ノ
石ハ塚ノ上ニ拔
出タリ何レモ五
尺計ナリ明浴十
八年ヲ距ル凡ソ
二百年計以前ニ
堀出シタル由刀
劔金環勾玉ノ類
數多ク藏セリト
云、明治十九年
四月
下野鹿沼人
林沼廣身記



小村金藏

白藤 啓

明治二十一年
二月下野
堅木驛海老
沼友喜ニ乞
ヒテ石摺ト
シ此ニ縮寫
セルナリ



四尺九寸

連合体
ト
ク
ツル
ト
遷所ナルベシ

○阿比留字草体

武藏國畔切神社銅鍔古字

○日本古代文字考 上卷

三十一

小真合藏

𠂔	𠂕	𠂖	𠂗
𠂘	𠂙	𠂚	𠂛
𠂜	𠂝	𠂞	𠂟
𠂠	𠂡	𠂢	𠂣
𠂤	𠂥	𠂦	𠂧

小
林
集
藏

𠂨	𠂩	𠂪	𠂫
𠂬	𠂭	𠂮	𠂯
𠂰	𠂱	𠂲	𠂳
𠂴	𠂵	𠂶	𠂷
𠂸	𠂹	𠂺	𠂻

日本古代文字考 上卷

三十二

八
真
字
藏

右武藏國多摩郡畔切神社銅鏤古字慶長八年夷_イ五_ウヨ
 リ掘出シ、所ナリ。以後神寶トスト古ヘリ。己レ若年
 ノ時此模寫ヲ得テ珍藏ス。今年二月實物ヲ見ム_ミヲ
 思ヒ立テ同所即チ五日市村ナル松原神社、祠官阿留
 多伎連ノ家ヲ訪ヘリ。然ルニ此銅鏤ハ天保元年十二
 月七日ノ火災ニ罹リ紛失セリト云フ。

小村金藏

右武藏國多摩郡畔切神社銅鏤古字慶長八年夷_イ五_ウヨ
 リ掘出シ、所ナリ。以後神寶トスト古ヘリ。己レ若年
 ノ時此模寫ヲ得テ珍藏ス。今年二月實物ヲ見ム_ミヲ
 思ヒ立テ同所即チ五日市村ナル松原神社、祠官阿留
 多伎連ノ家ヲ訪ヘリ。然ルニ此銅鏤ハ天保元年十二
 月七日ノ火災ニ罹リ紛失セリト云フ。

明治二十一年

落合直亮識

古字ノ世ニ傳ル者數種アリ。然レ凡傳寫ノ久キ訛誤甚多ク見ルベキ者ナシ。此書模寫ナリト雖古雅最モ愛スベシ。

○出雲字傳ニ載スル所

ム	シ
ナ	ウ
ヤ	ミ
フ	マ
コ	ヨ
エ	ユ
ト	イ
ク	フ

^リ 机	甲	^ウ 可	可	^タ 孔	口
^ハ 迄	へ	^オ 王	王	^ハ 白	白
^テ 龟	龟	^エ 川	川	^ク 子	子
^ニ 孔	口	^ニ 川	川	^ク 子	子
^マ 子	子	^サ 長	長	^カ 名	名

^ツ 子	子	^シ 子	子	^モ 子	子
^ツ 子	子	^キ 子	子	^チ 子	子
^ヌ 子	子	^ル 子	子	^ク 子	子
^ツ 子	子	^ユ 子	子	^ク 子	子
^フ 子	子	^キ 子	子	^ネ 子	子

右出雲國大社所傳古。以上ハ墨ニテ記シ以下武藏國人
 金井滌身麻呂傳政文者也。金井滌身麻呂何人ト云ヘ
 リ、千家君云、大社ニ古字ヲ傳ヘシ門祖父以來聞カズ、兩
 森精翁ト古者、經淵寺ニ讀書ノ師タリ、云ク同寺ニ古字
 ヲ傳フト古ト古ト出雲大社ノ古字ハ何レノ世ニ失タルカ
 出雲國大社所傳古。以上ハ墨ニテ記シ以下武藏國人
 金井滌身麻呂傳政文者也。金井滌身麻呂何人ト云ヘ
 リ、千家君云、大社ニ古字ヲ傳ヘシ門祖父以來聞カズ、兩
 森精翁ト古者、經淵寺ニ讀書ノ師タリ、云ク同寺ニ古字
 ヲ傳フト古ト古ト出雲大社ノ古字ハ何レノ世ニ失タルカ

右出雲國大社所傳古。以上ハ墨ニテ記シ以下武藏國人
 金井滌身麻呂傳政文者也。金井滌身麻呂何人ト云ヘ
 リ、千家君云、大社ニ古字ヲ傳ヘシ門祖父以來聞カズ、兩
 森精翁ト古者、經淵寺ニ讀書ノ師タリ、云ク同寺ニ古字
 ヲ傳フト古ト古ト出雲大社ノ古字ハ何レノ世ニ失タルカ

木器古字

神護慶雲ノ
 頃同村大谷
 山ニテ水銀
 ヲ掘リシ
 アリト云ヒ
 傳ヘタリ。

此器ハ丸
 木掘ナリ



水銀入
 木掘ナリ

○伊勢國多氣郡丹生村神宮寺藏
 詳ナラズ、享保頃ノ學者新井君美出雲、大社ニ竹簡ニ書
 ケル文字アリトイヘレバ此頃マデハアリシニヤ、此文
 ノ以テ日文ノ草体ハ阿比留字
 ノ真体ヨリ出タルヲ知ルベシ、

○古券印影 梅園奇賞所載、大和國東大寺所藏、古券印影八埋齋發香二由八

拓殖鄉長解 申常地賣買墾田立券事

神田漆段 上限東紀寺田 限西石亭大万呂田 南京、敢朝臣親万呂田 限北物亭廣万呂田 下

拓殖郷戸主敢臣安万呂之賣墾田者

舟價錢捌貫 天平勝寶三年歲次辛卯年始常地作料 一年貢米四斛

右墾田買得處元興寺三輪衆

以前墾田賣買人依法式立券者如件仍

具録状申送以解

天平勝寶元年十月廿一日



證人



壬生少掾



同姓

石市石村

申代万呂

筆取 壬生淨足

稅長 石亭果安麻呂

一本

桃尾印

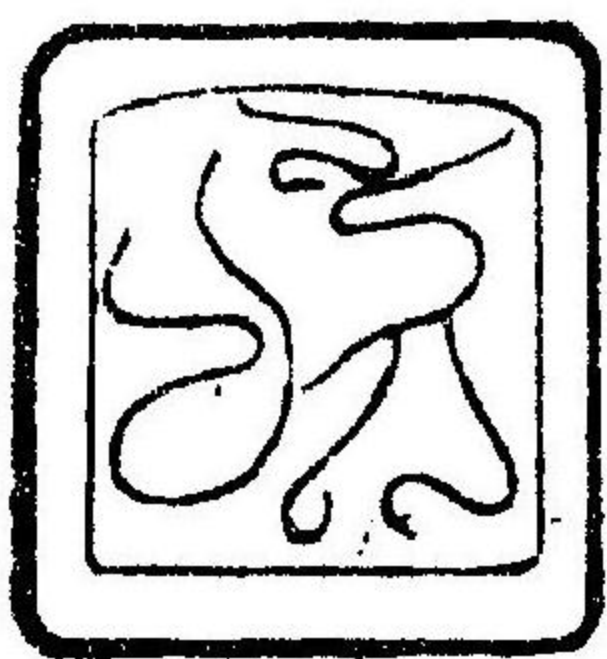


印章

ルモ
ルモ
037

漢字ノ印ヲ用ルル事ヲ持統天皇ノ頃ニ始ルト雖古字印ヲ悉ク廢シタルモノニハ非ルベシ天平勝寶ハ持統天皇ノ世ニ後ル

○筑後國高良神社所藏銅印鈕銀魚



印章

ル
ヲ
セ
シ
ル

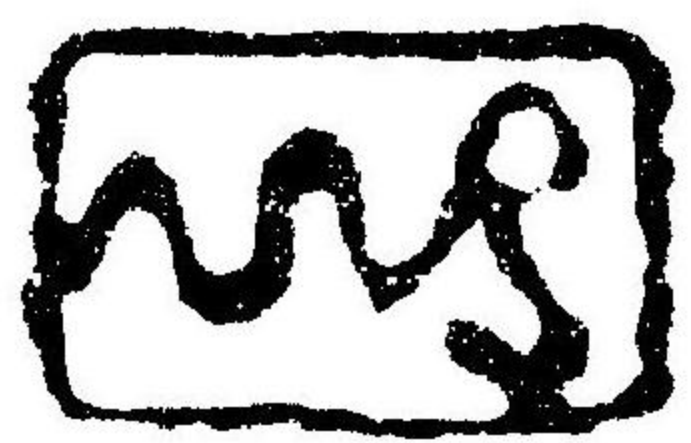
義詳ナラズ神名ナルベシ

高良社印

植字ナリ彫刻セシモノアラス

○大和國宇陀郡春日井村人宇陀太郎所藏銅印鈕巖上猿

宇陀氏印



印章

ミ
ヲ
シ

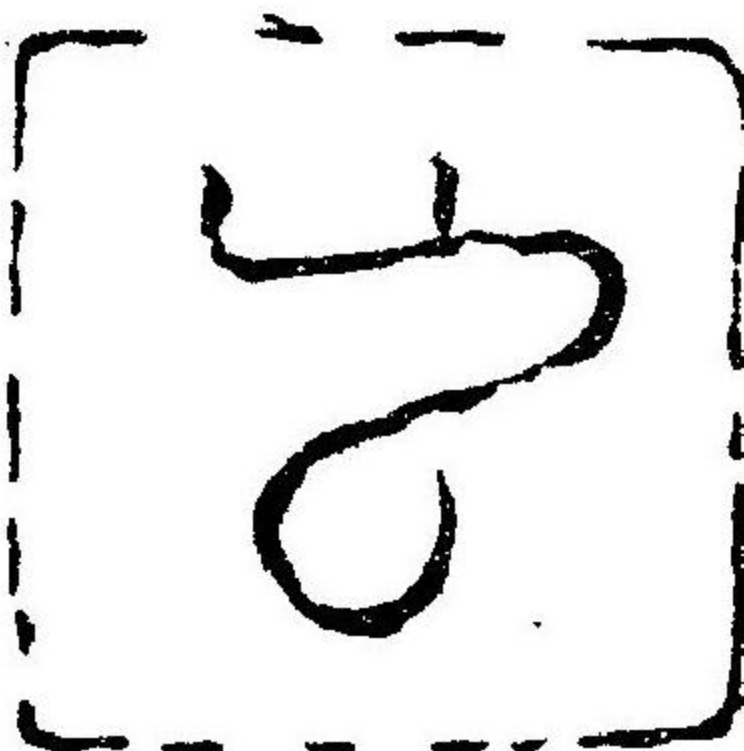
○豊前小倉人渡邊修齋氏所藏銅印



印章

ヲ
シ

○肥後熊本小山多乎里所藏銅印



印章

ヲ
シ

持統紀六年九月神祇官奏上神寶書四卷鑰九箇木印一箇トアリ。參考スベシ。伊勢神官ノ印ハ天平中初造ニシテ長徳ノ改造ニ係ル。漢字印ヲ用シハ持統天皇ノ頃ヲ始トスベシ。

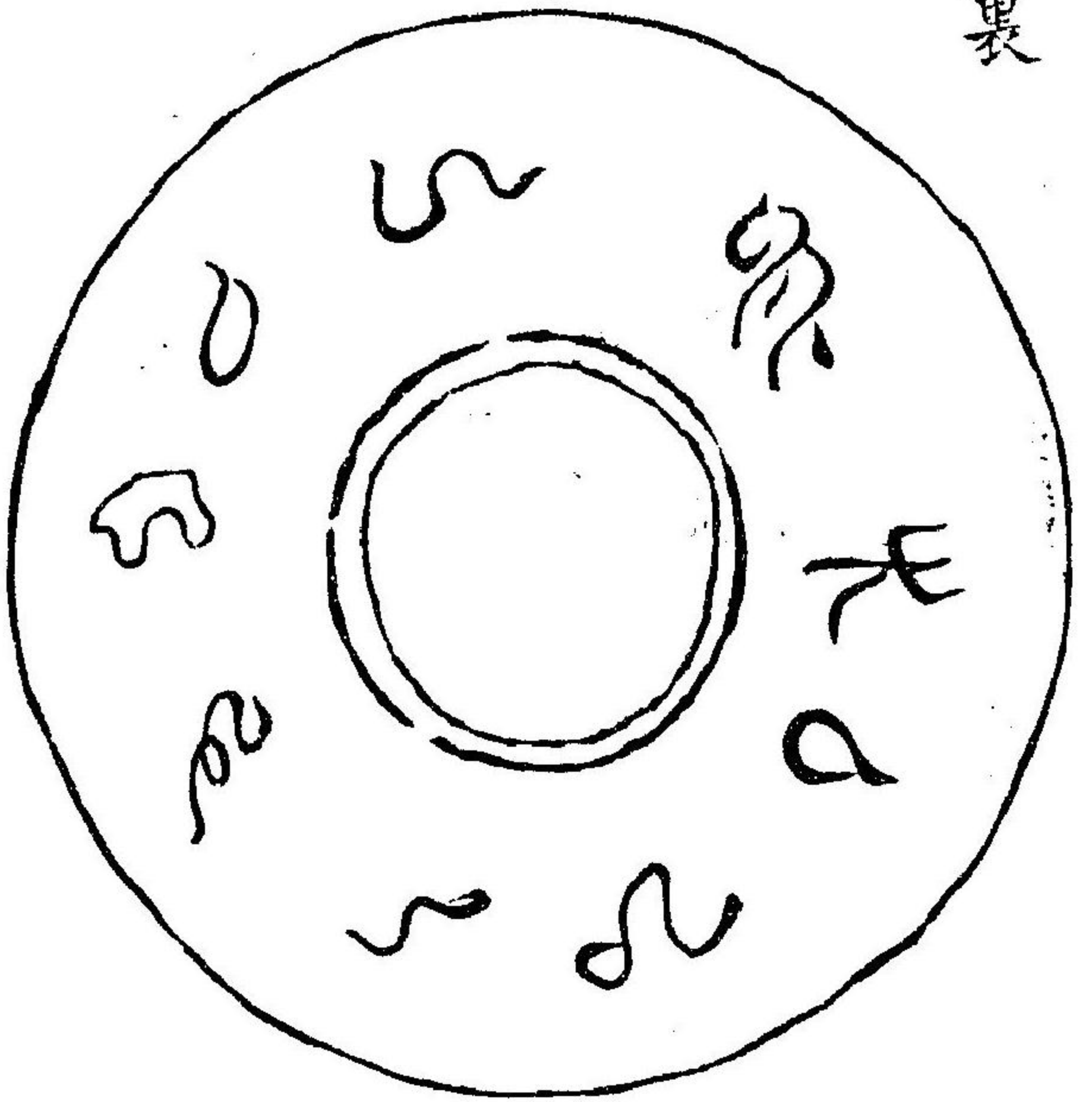
小山氏印

渡邊氏印

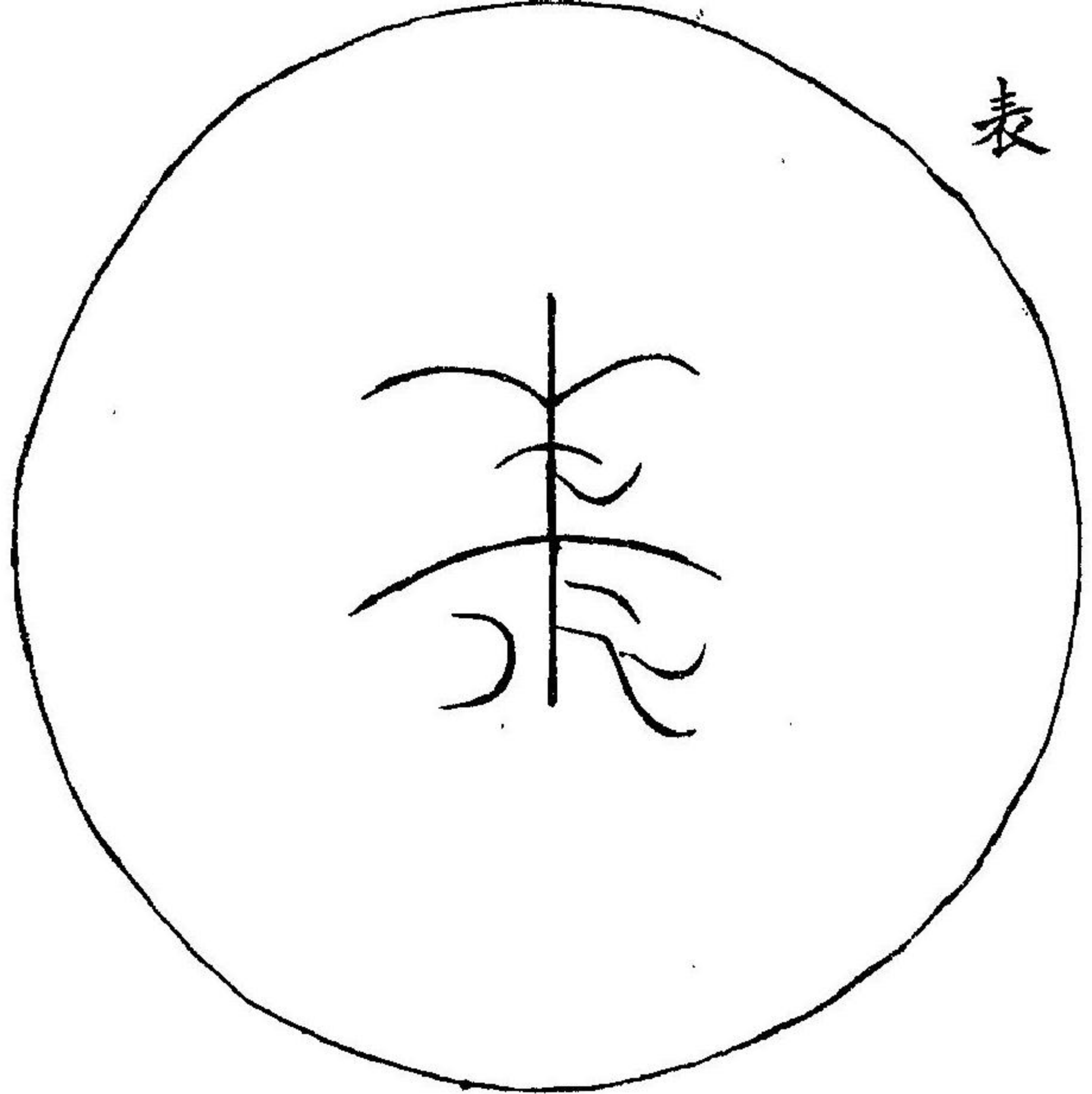
○肥後大津町伊勢屋所藏土器字

土坏古字

裏



表

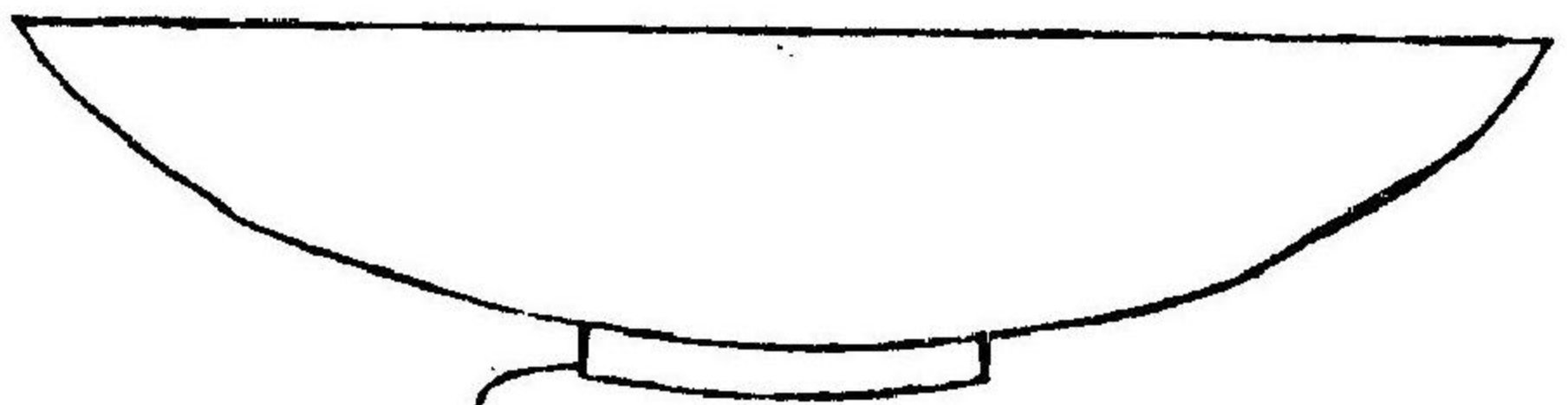


〇モ 〇モ
 ムヒ ムヒ
 ムヒ ムヒ
 ムヒ ムヒ
 ムヒ ムヒ
 坑酒 ムヒサケ
 坑結 ムヒコ
 〇モ 〇モ
 ムヒ ムヒ
 ムヒ ムヒ
 ムヒ ムヒ
 ムヒ ムヒ

素

日文傳附録云
アノ

側面形



徑三寸三分
 深五分
 色薄靛
 形聊存レリ
 字凸彫

雄略紀二十七年
 春三月詔土師連
 等使進應盛朝夕
 御膳清器トアレ
 此時代ヨリ漸
 精工ノ土器アリ

○日本古代文字考上卷

三十八

眞

大津町伊勢屋某ノ先

祖某加藤清正ニ從テ

小西ト佐山ニ對陣セ

シトキ陣中水ニ乏シ。

某山腹ヲ穿テ水ヲ求

メント人時ニ神ノ根

ノ間ニ此土器ヲ得タ

リ。其時長田某老翁見

テ神字ナラムト云。今

傳ヘテ家ニ秘藏ス

明治十五年肥後國

帆足正久記。

○越後中頸城郡宮内村。字社山鎮座。式内。斐太神社神体ノ内。

青石 陰文

石器古字



横ヨリ見ル
ヤナサカ
ナサカ
カ
神名ナルベシ

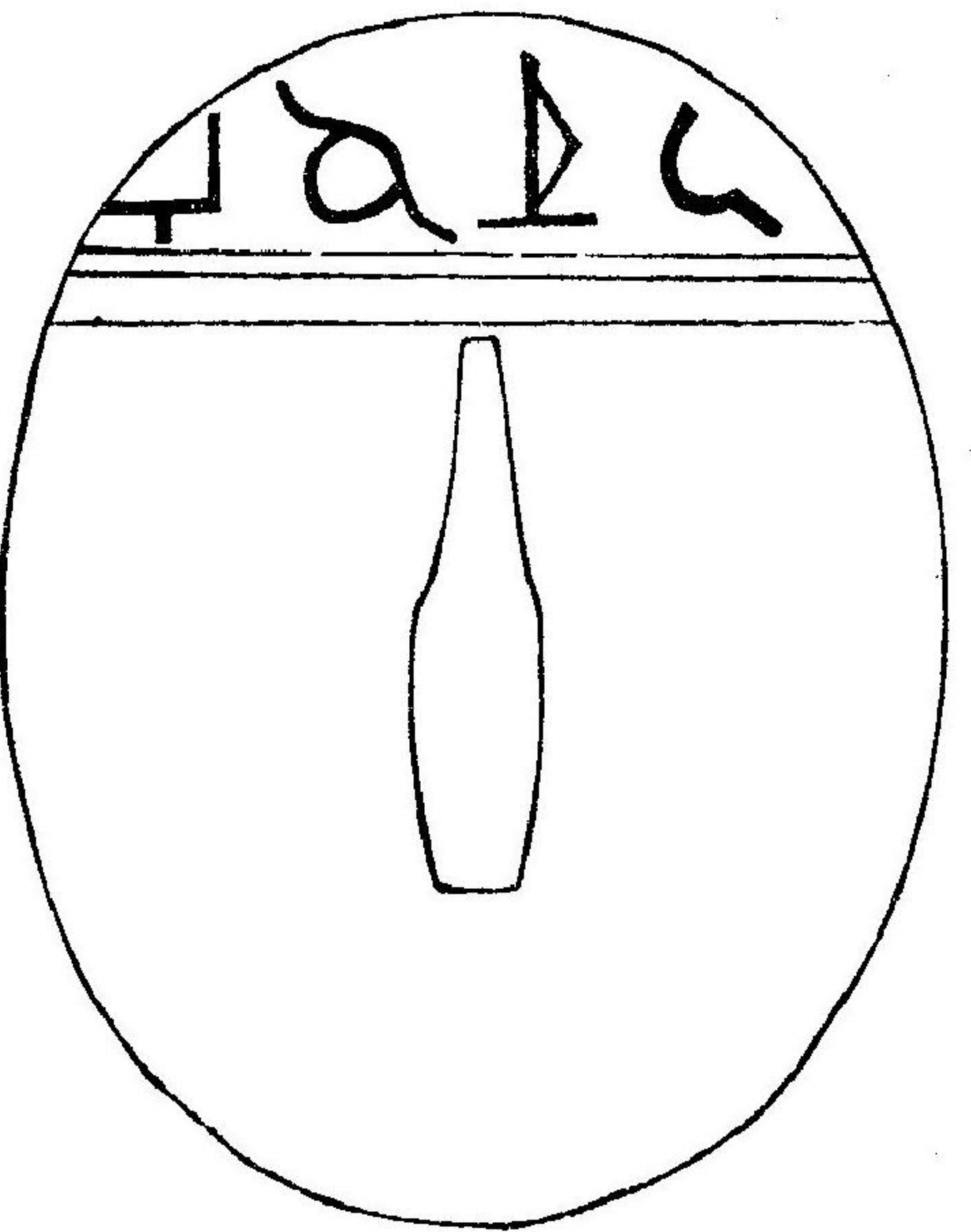
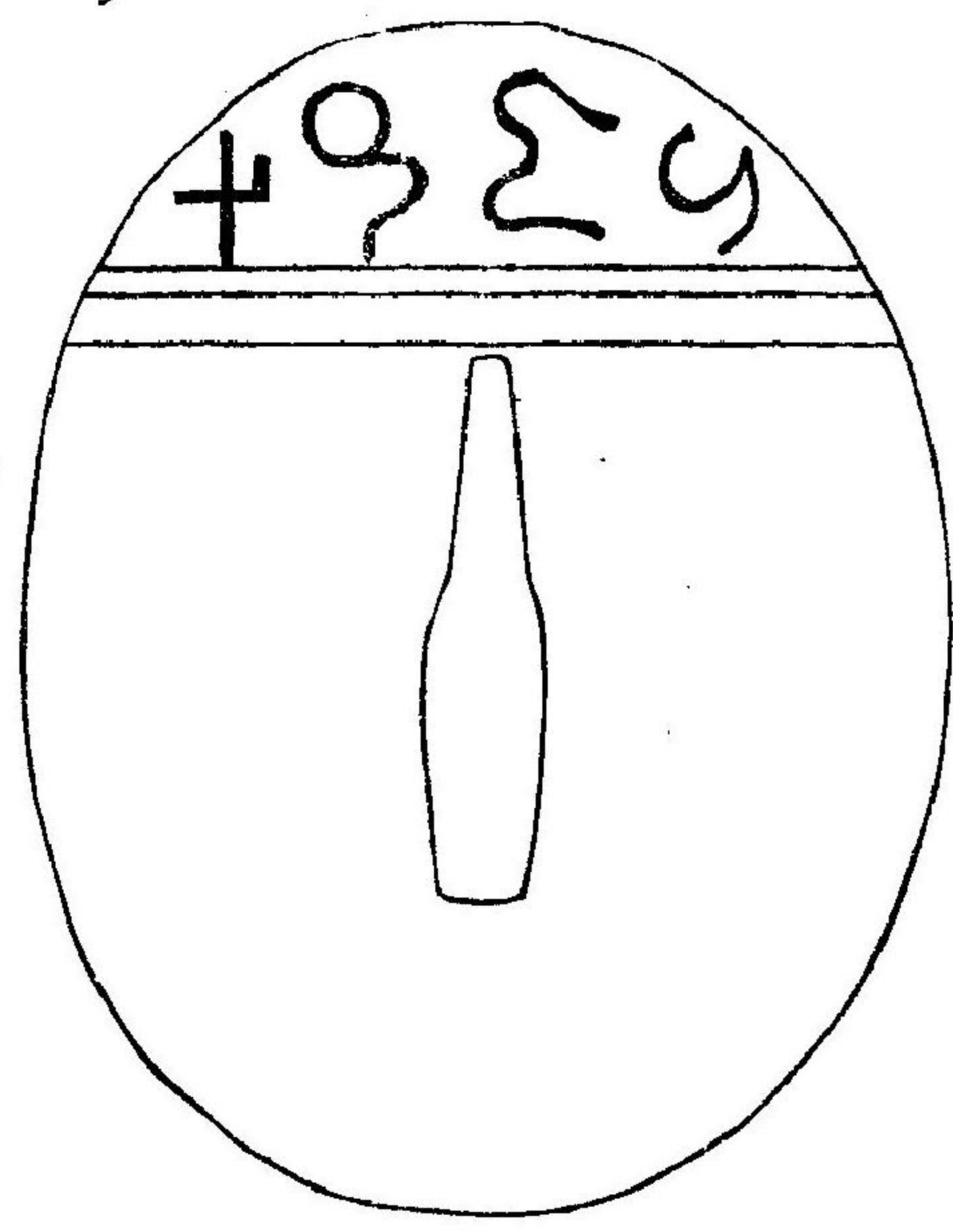
大如圖中央ニ穴アリ

明治十九年六月神官倉科吉信ト共ニ寫ス

塚田管彦

鐵鍔古字

○武藏國多摩郡挽田村館林彌吉所藏鐵鍔古字。是元來鍔ニ非ルヲ何人カ改造セシモノナルベシト云。明治廿一年二月阿留多伎氏ノ本ヲ以テ之ヲ寫ス。落合直亮



シクマフノ
如レ此ヨムベキカサレバハハ六行成字ニ
シテ、其他ハ守恒字也、守恒字ノ余ニ載ベシ

○阿波字 陸前本吉郡、加美郡及信濃伊奈郡等同字体アリ。阿波國大官ニ傳フル所ナリ、今阿波字ト名ク、

○日本古代文字考上卷

二十九

真

スベクモアラズ。形圖ノ如ク丈四尺幅廣キ所一尺六寸四方
角ナキ自然石ナリ。三十年バカリ前土中ヨリ掘出スト去フ。
明治二十一年一月祠官伊東太仲石摺ニシテ之ヲ贈ル希代
ノ古字ナリ。



丈四尺

本 其 一 二 八

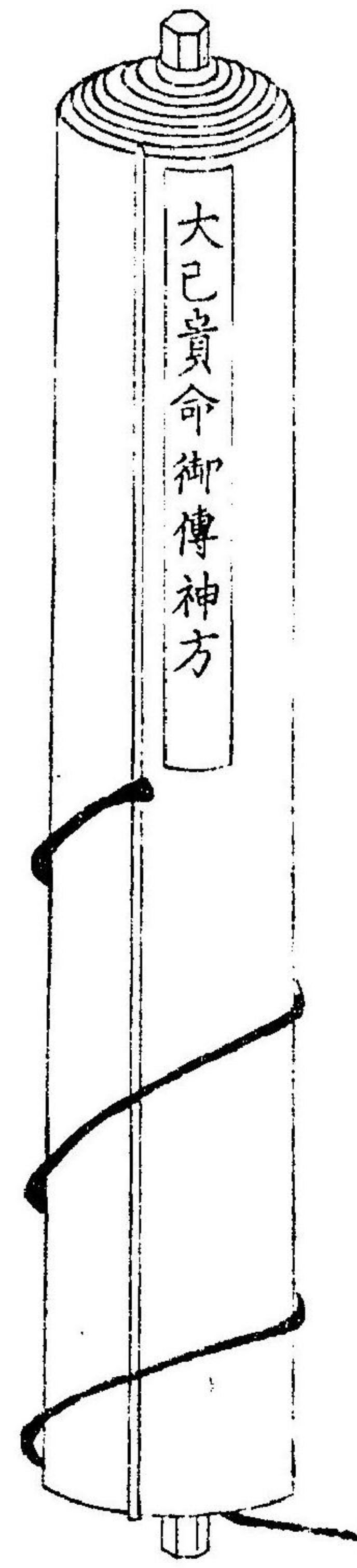
此五字ノ外年號姓名等一字モナシ。明治二十年八月

斗斗加一詠

落合直亮檢之

傳附録ニ阿波大宮神主光長ガ傳授スル中臣被詞ヲ伊勢
龜山ノ岩田惇徳ト云シ者天明七年五月ニ仙臺本吉郡祭
田村玉井宮内へ贈リシ由ノ奥書アルモノ見エタリ。然レ
バ龜碑モ天明以後ノモノカ。常世長胤去阿波國大宮ニ傳
奥國ニ傳ヘシナリ。寛延二年ニ記セル松山探齋ノ奥羽旅
行記ニ此字ヲ載セタリト、今按ズルニ若シ此說ノ如クナ
レバ大宮神主光長陸奥國ニ傳ハリシ古字ヲ以テ中臣被
詞ヲ記シ、若田惇徳再ビ玉井宮内へ贈リシモノナル
ベシ、然レドモ大宮ニモ古來種々ナル古
字ヲ傳ヘシ、神名書ヲ見テ知ルベシ、

○下野國宇都宮中里千族家藏卷軸古字



字体

元^エヤ^ヤキ^キ
 六^アカ^カリ^リ木^ク多^タ
 四^ヤシ^シセ^セ也^ヤ
 六^アカ^カリ^リ木^ク多^タ
 四^ヤシ^シセ^セ也^ヤ

如此樂法二十九條ヲ記ス。今之ヲ略ス字体ハ阿波字ニ類ス。

奥書

陸奥國加美郡平柳色菊地意水家珍秘藏而所世々傳來也

維昔寛政未歲秋八月傳授寫畢

衣關煩庵

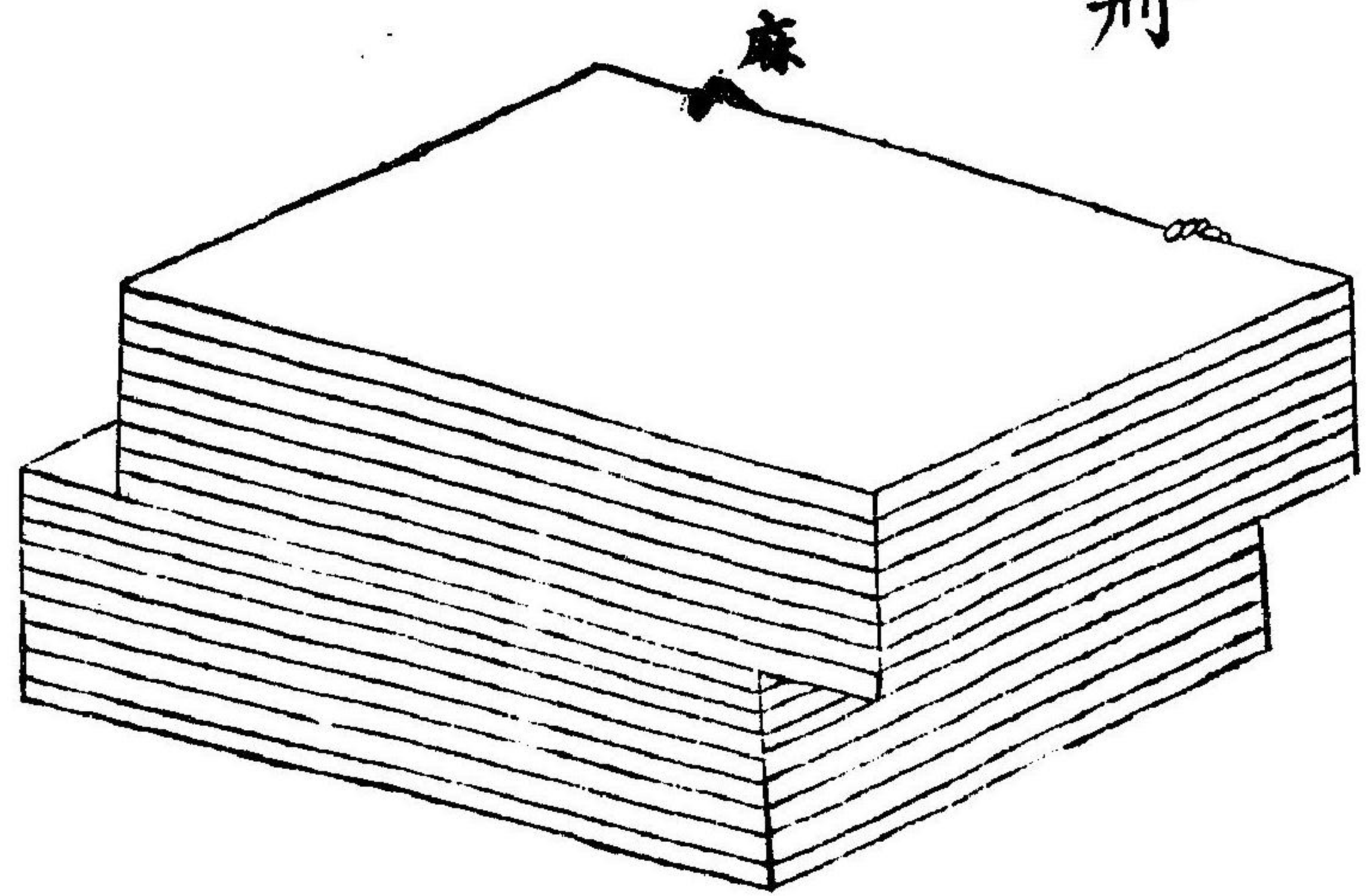
源貫五

○信濃國伊奈郡赤須村^{カクシノ村}美女^{メウメ}森神社古字。阿比留草体字及阿波字等ヲ以テ記セリ。

此文字ハ倭建命東夷征伐ヨリ歸途此地ニ立寄ラセ賜ヒシ事跡ヨリ天曆頃マデノ^ヲ記セリ。明治二年我兄直亮伊奈縣大參事タリシ時己モ彼所ニ遊ビテアリシガ同縣主記青嶋貞賢五嶋廣高等ト彼社ニ到リテ神官小町谷氏ヲ責メテ古字ヲ出サシム。直澄之ガ訓解ヲ加ヘムト甚苦メリ。然レドモ漸意ヲ解釋スルヲ得タリ。是ヨリ美女神字世ニ現レタリ。假字ノ違ヘル或ハ文ノ拙キ所ナドアルヨリ種々ノ説モアレド我別ニ考アリ。

桐板古字

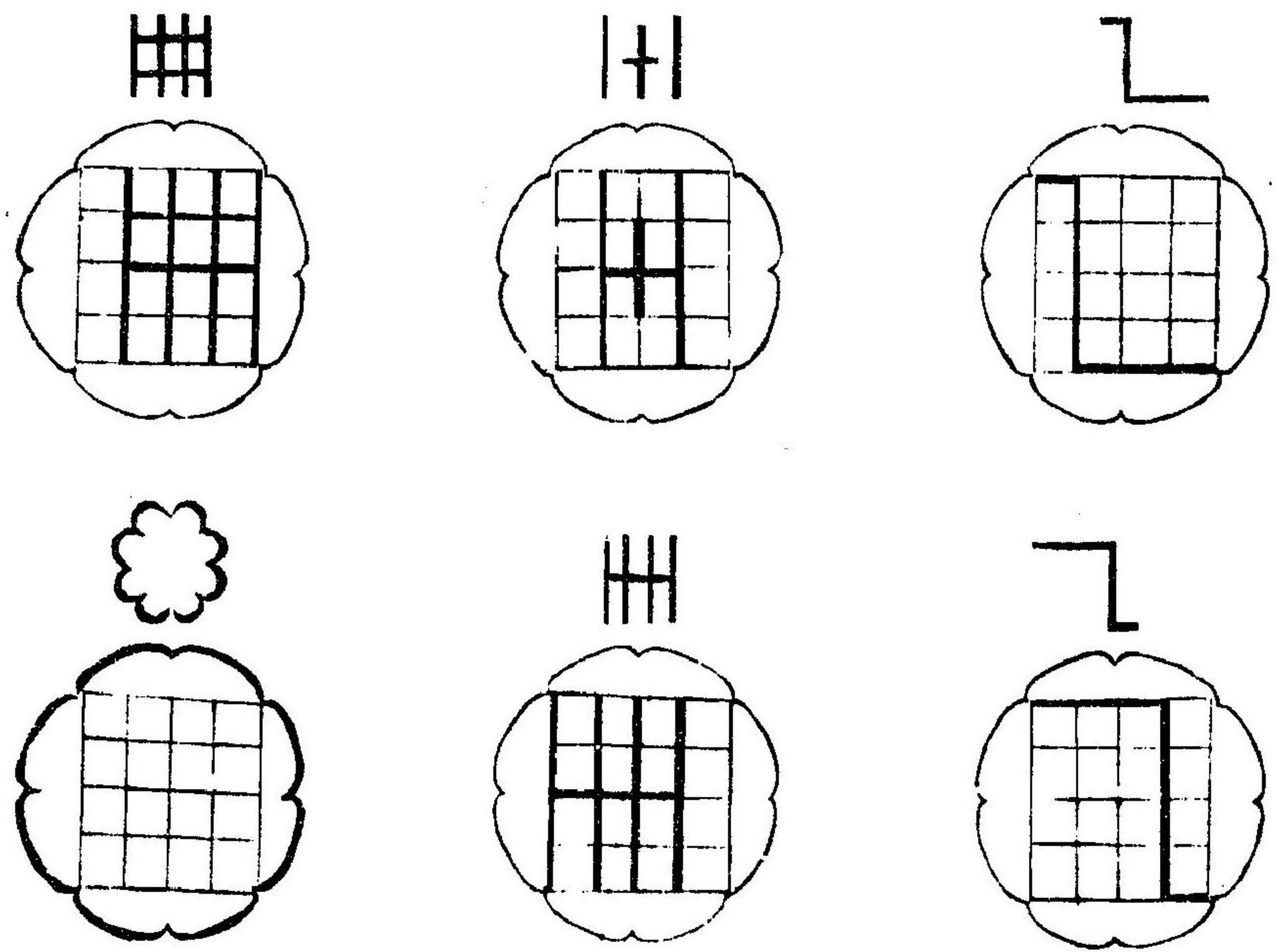
桐板二冊



百年バカリ
以前本書焼
失シテ今ハ
新調ノ板ナ
リ。是ノミ遺
憾ニ堪ヘガ
ルナリ。

●第七章 惟足字
吉川惟足ノ傳フル
字源及五十音

惟足字
源及五十
音



畫六	畫五	畫四	畫三	畫二	畫四	畫三	畫二	畫一	
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	父 母
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	一
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎

此字体傳附録ニ載スル所甚紛亂セリ今訂正ヲ加フ。說此處ニ盡シ難シ。此字第一段一_カ川_サ等ヲ以テ父トシ一_ア以母トシ阿段_カ下_サ等ヲ合生シ。再ビ_カ下_サ等ノ段ヲ父トシ阿行_イ下_カ等_エヲ母トシ三十六子字ヲ合生セリ。

○越中國礪波郡井瀉町八幡社所藏石棒ノ銘

東京人類學會第八號明治十九年十月報告神谷由道ノ記越中國礪波郡井瀉町八幡社所藏其先ハ同郡五箇山ト云ヘル山村ノ小社ニアリシモノナリト云。我友人西京ナル關口老雲氏ノ北越ニ遊歷ノ際親シク寫シ取ル所ナリ。凸字ニ刻シタル三字アリ。凹字ニ刻シタル三字アリ。直澄云。エアケマフスト訓ムベシ。柄奉申ノ義ニテ柄ハ石劍ヲ指スナリ。マフスノ三字惟足字ナリ。申ノ假名違ノ一ハ別ニ論アリ意トスル

石劍古字

ナカレ。

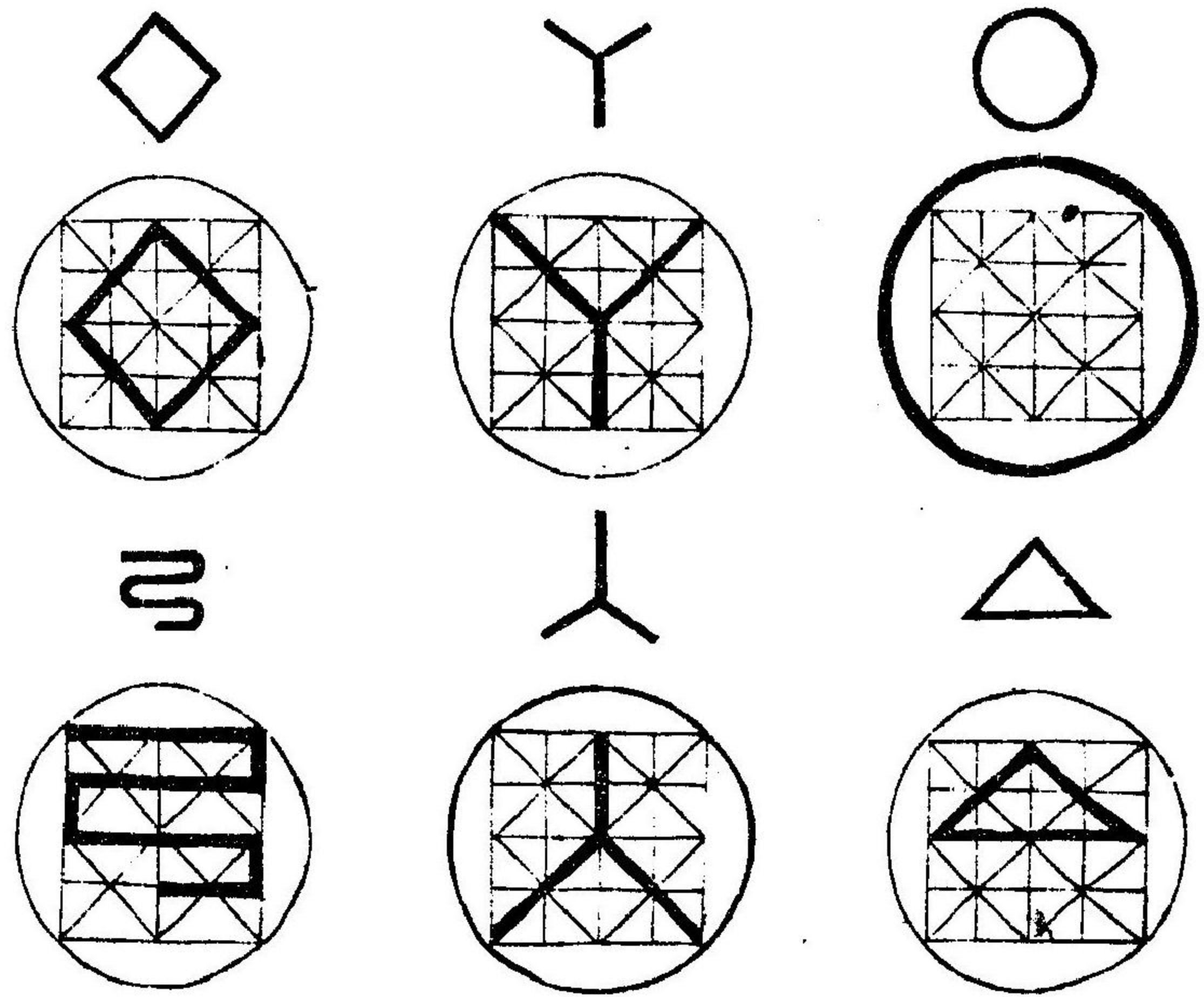


一尺二寸餘

●第八章伊豫字
字源及五十音

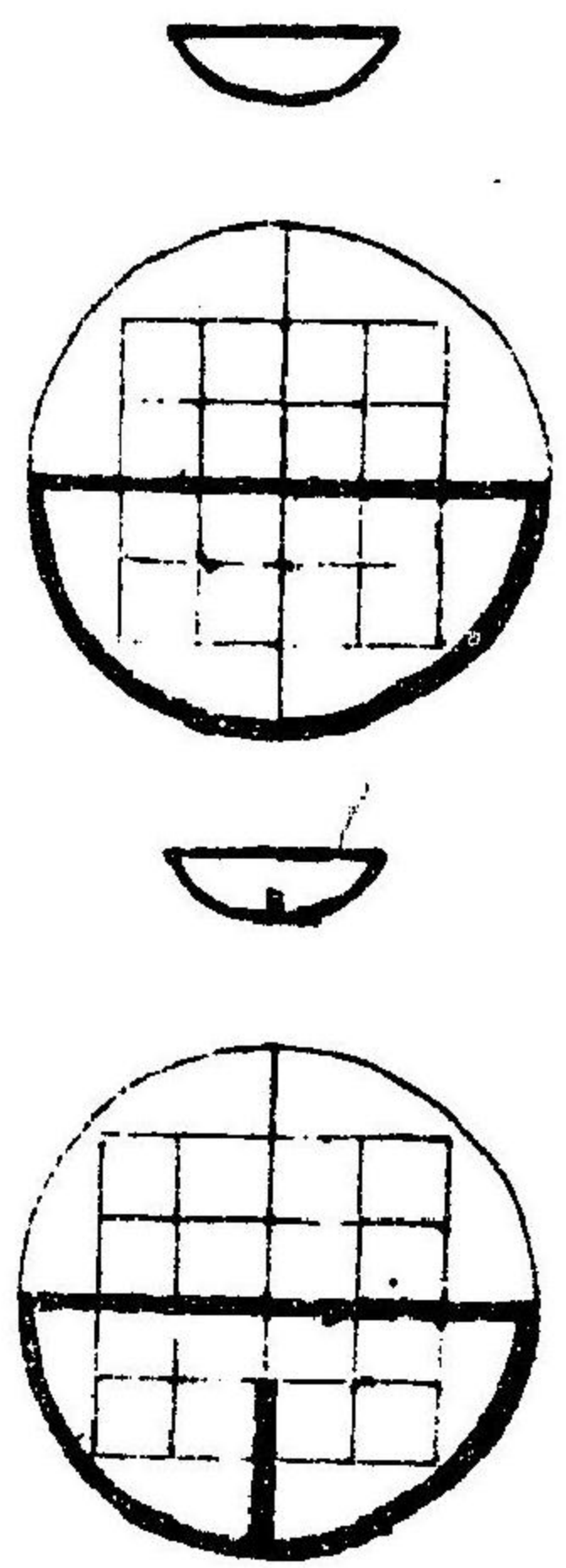
伊豫城下八幡神主某ノ
傳フル所伊豫字ト名ク

伊豫字
源及五十
音圖



◇	人	上	工	ノ	十	丫	一	丨	・	父 母
◇	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	㊮	○
■	内	丹	丹	丹	丹	丹	丹	丹	丹	□
㊰	火	△	△	△	△	△	△	△	△	△
■	吏	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹
◇	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㊿	㊿	㊿	□

筑紫字
源及五十
音圖

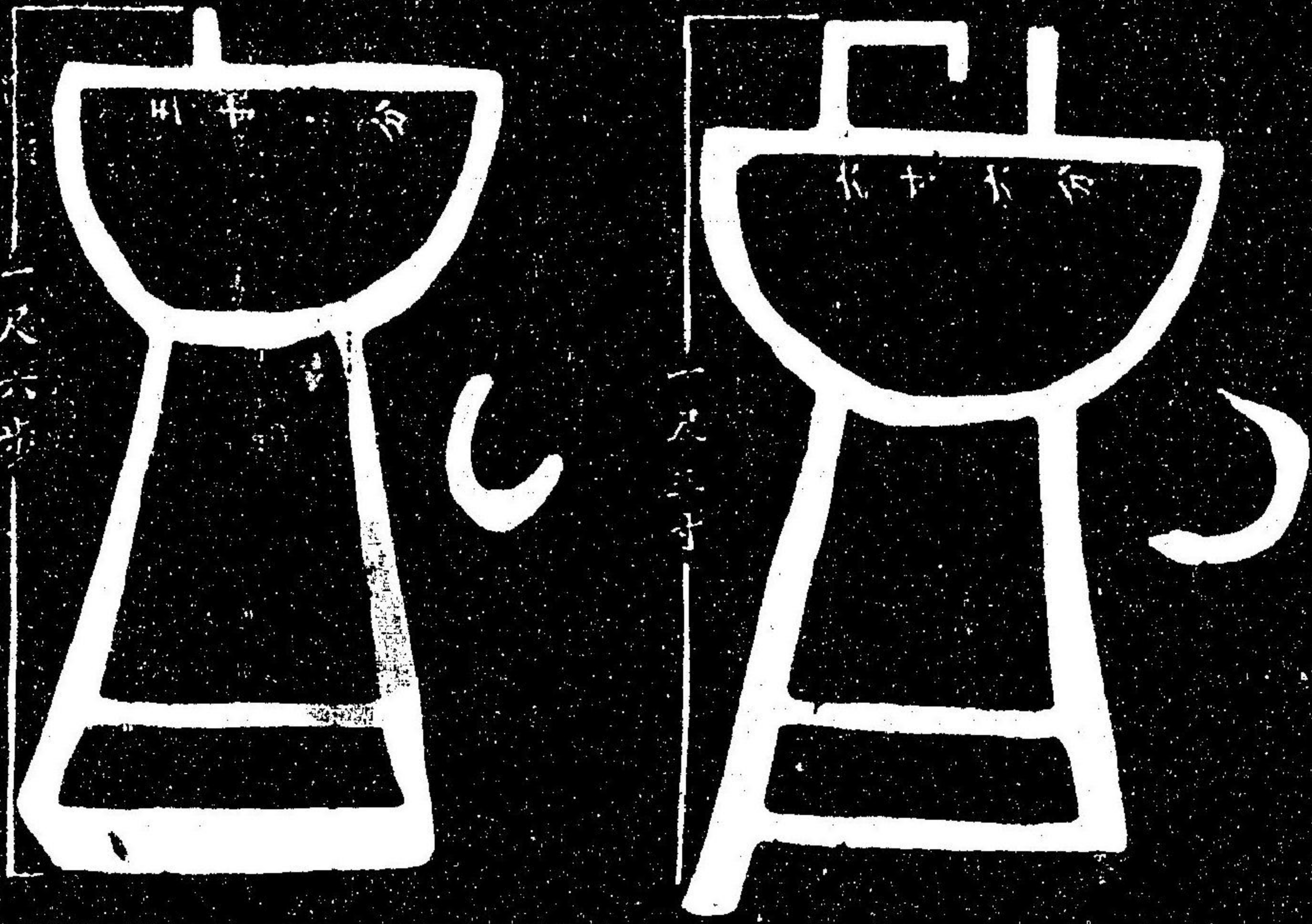


●第九章筑紫字
字源及五十音

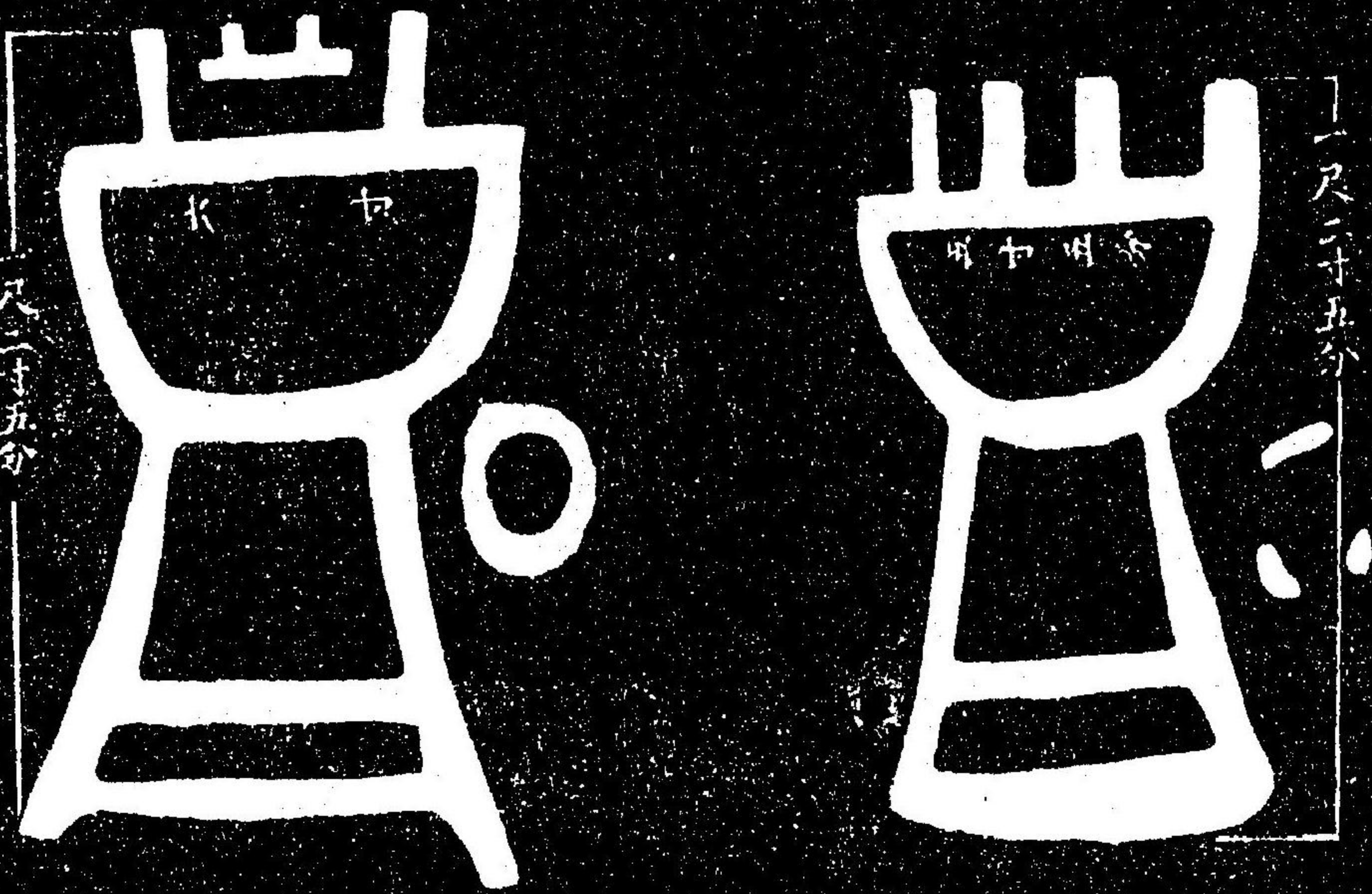
丹後國熊野郡鹿野村ノ舊家ニ傳フル所ノ神事記此字ヲ
以テ記セリ。但シ雅俗ヲ混ジタル文体ナレハ上古ノモノ
ニ非ルハ論ナシ。飾リモナケレバ偽物トモ見エズ。此神事
記ニ㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹
△ハ正体ナリ。㊺㊻㊼㊽㊾㊿ニ用タリ。日本紀秀真傳ト云フ書
此字ノ以テ記セリ。

㊦	㊧	㊨	㊩	父 母
㊪	㊫	㊬	㊭	㊮
㊯	㊰	㊱	㊲	㊳
㊴	㊵	㊶	㊷	㊸
㊹	㊺	㊻	㊼	㊽

キツノ一枚



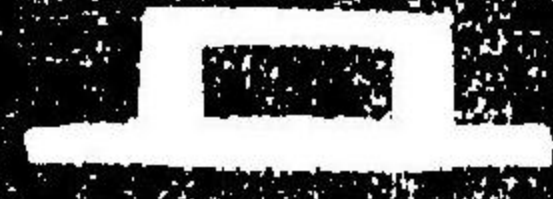
キツノ一枚二



日本古代文字考 上卷

三十一

小槇舎藏



此所一字磨滅

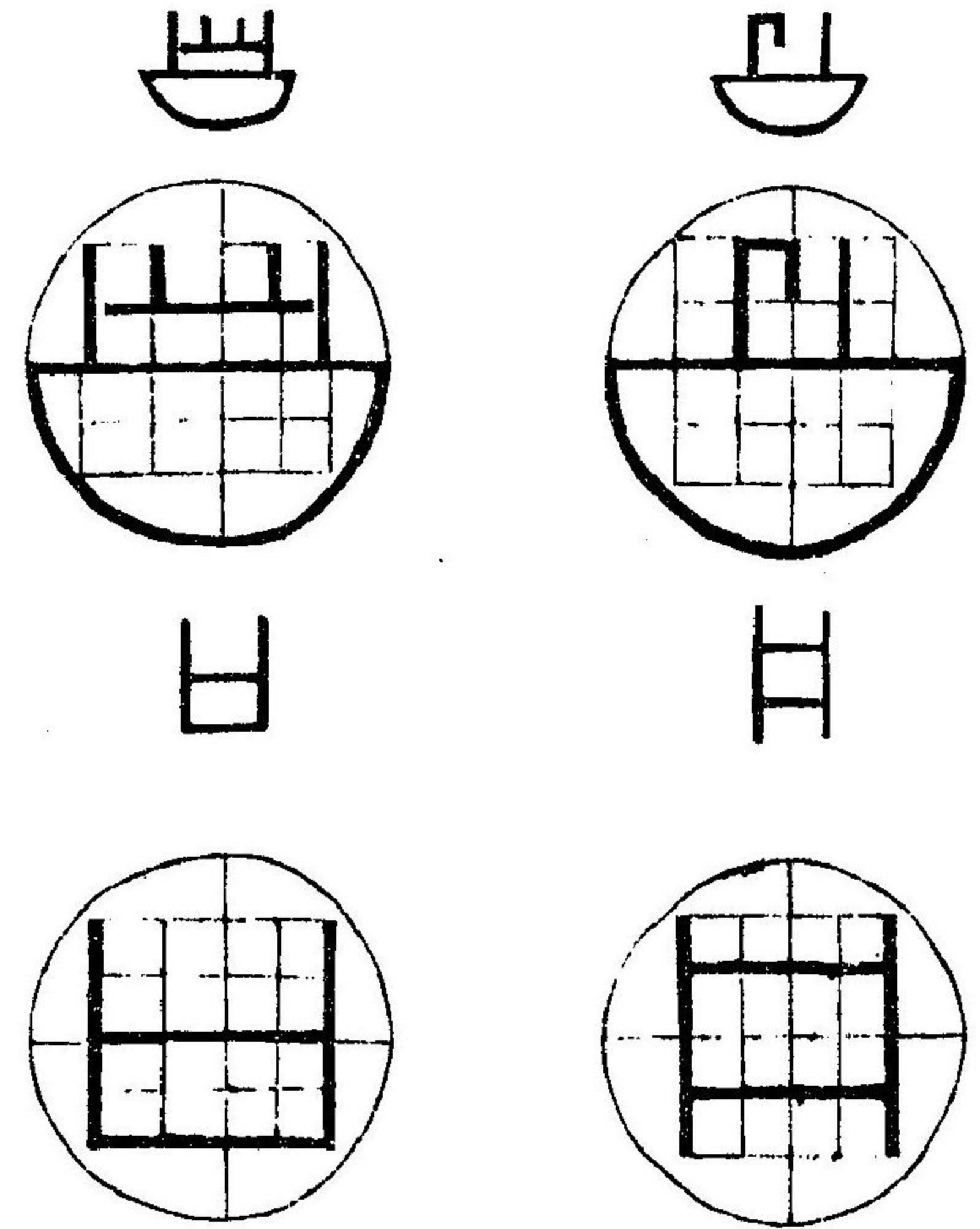
此所二字磨滅

一枚

筑後國生葉郡上宮田村定字重

石窟中ノ文字

二枚



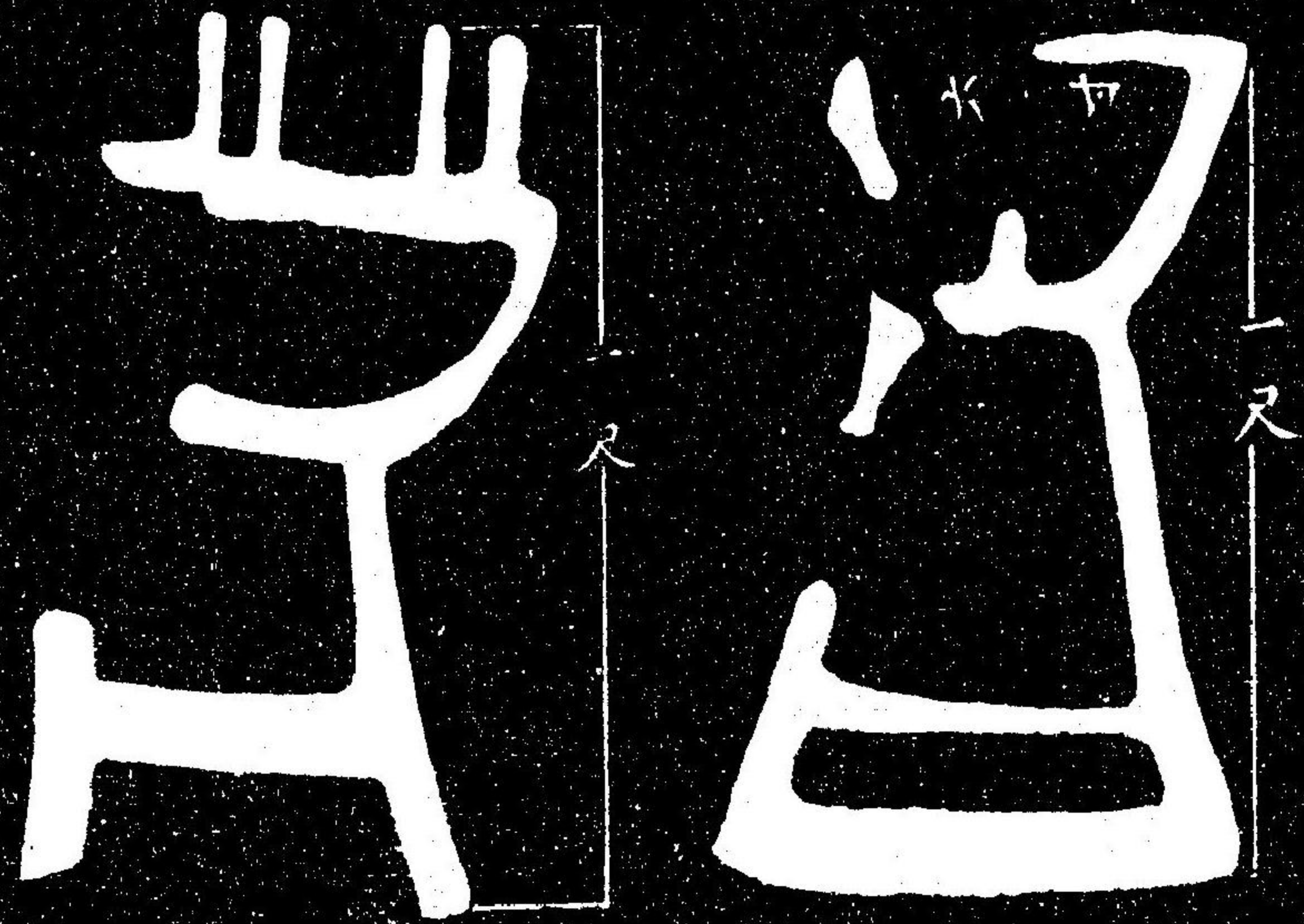
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎

小槇舎藏

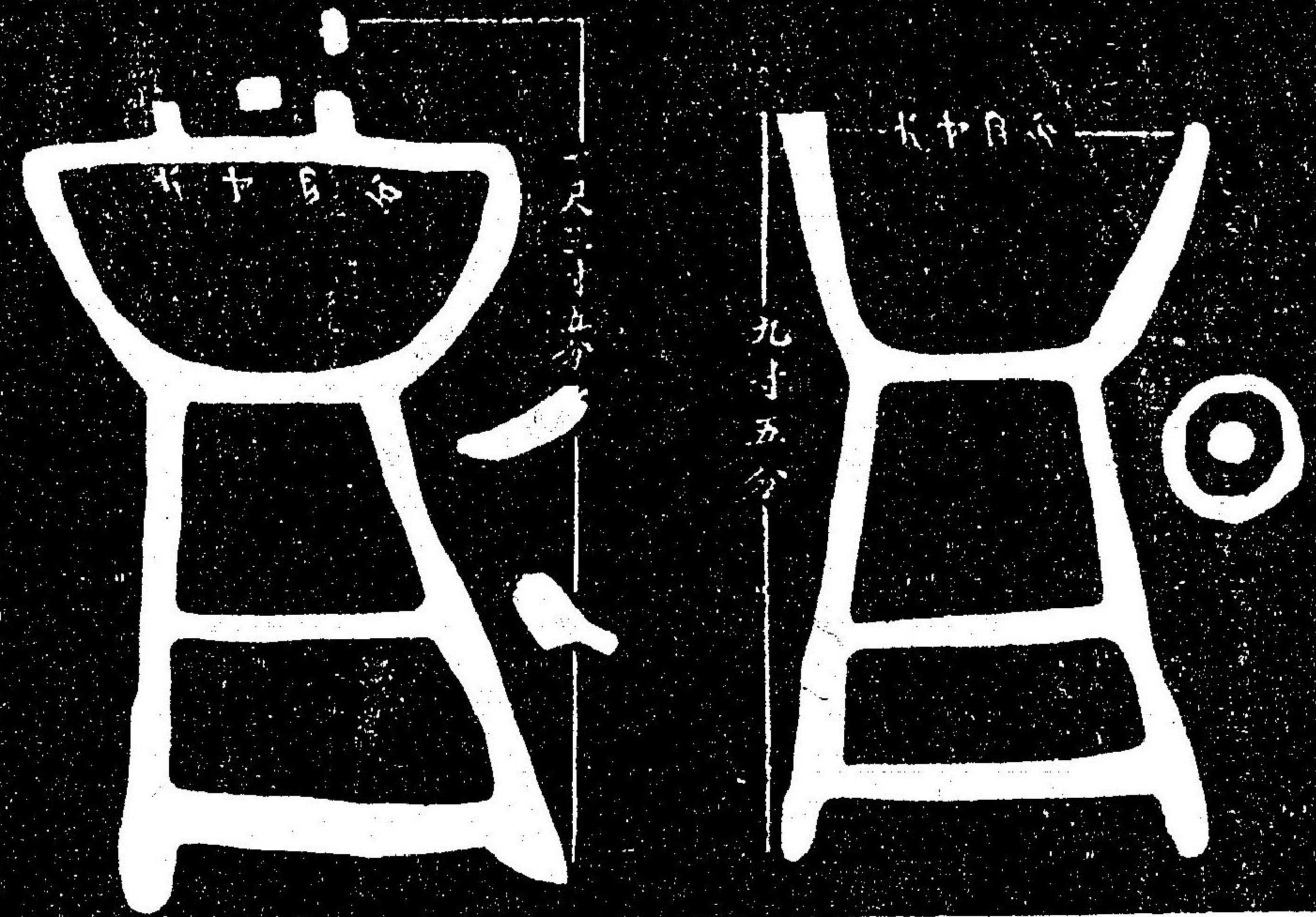
キツツノ枚一



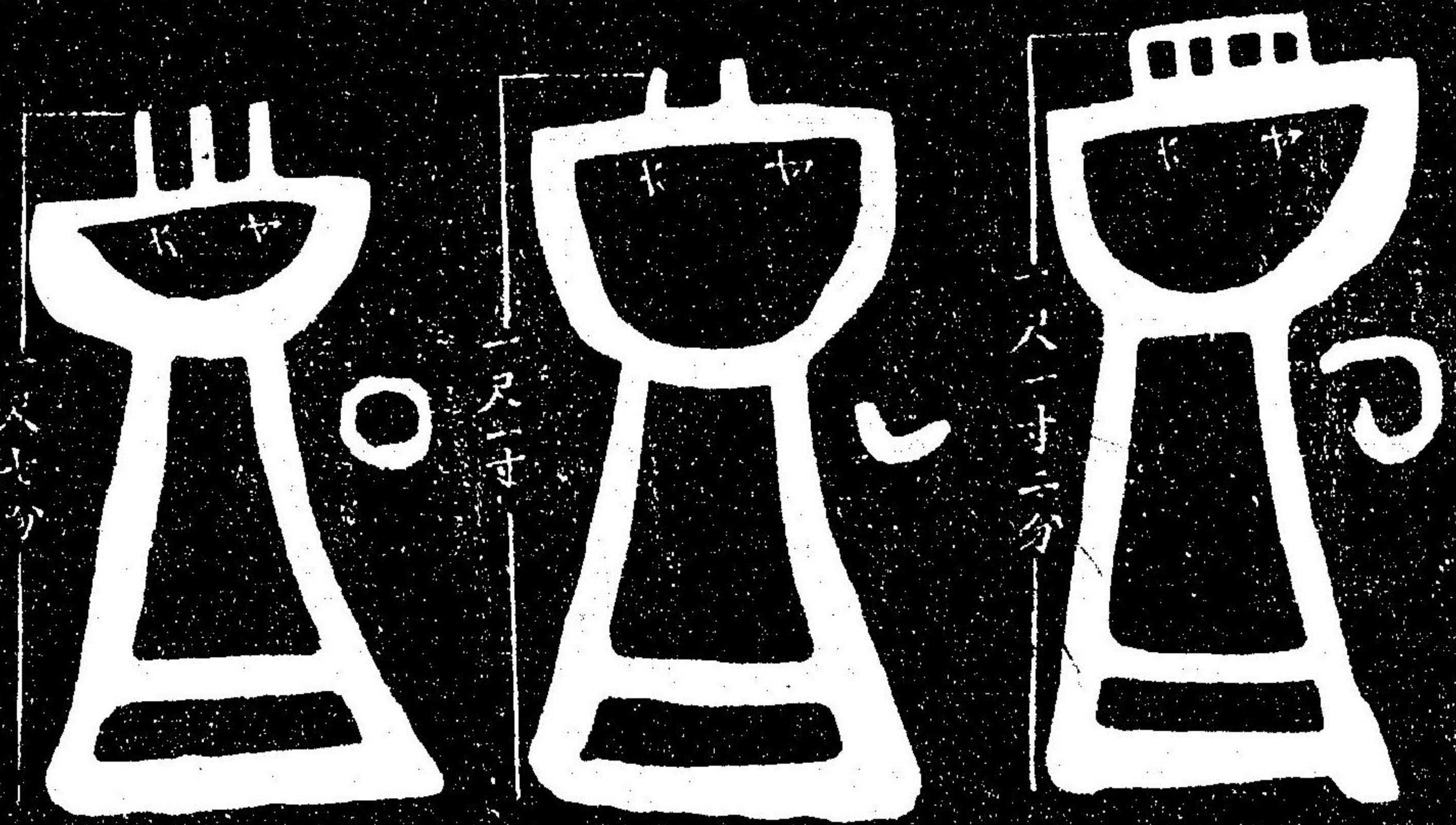
キツツノ枚二



キツツノ枚一



キツツノ枚二

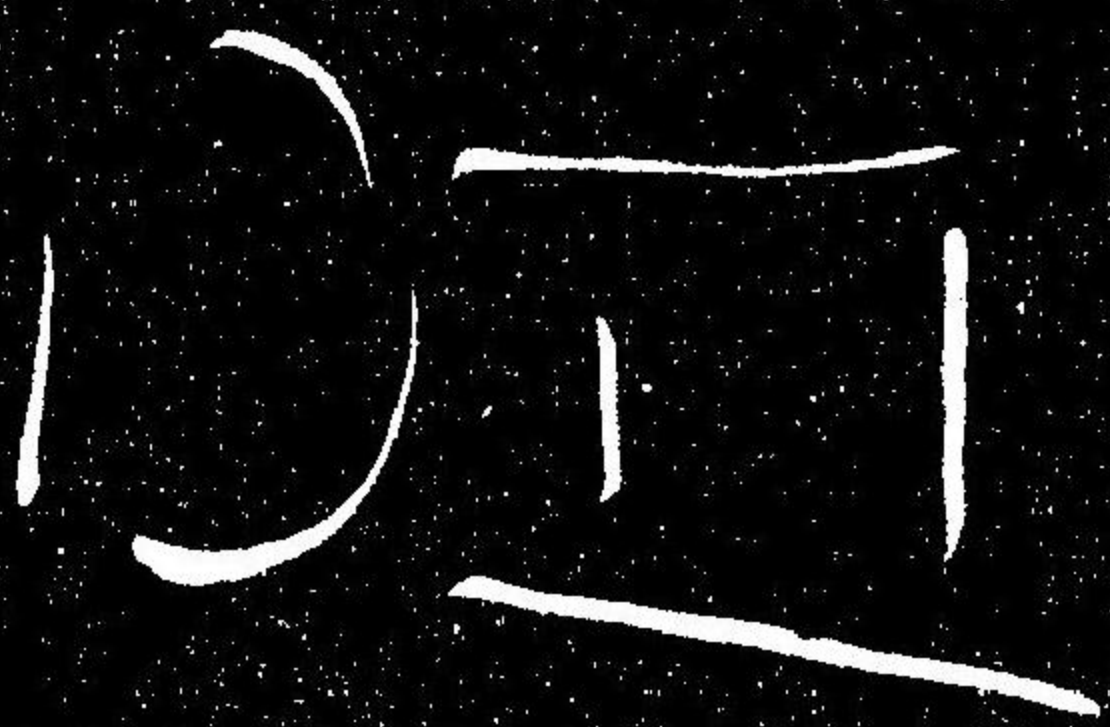


四枚

一尺一寸五分



不分明



一尺一寸四分



右同



一尺一寸二分



右同



不分明

此處上下三字許不分明



三枚

一尺一寸二分



南之下

西面

中門之柱

同北西

一尺一寸



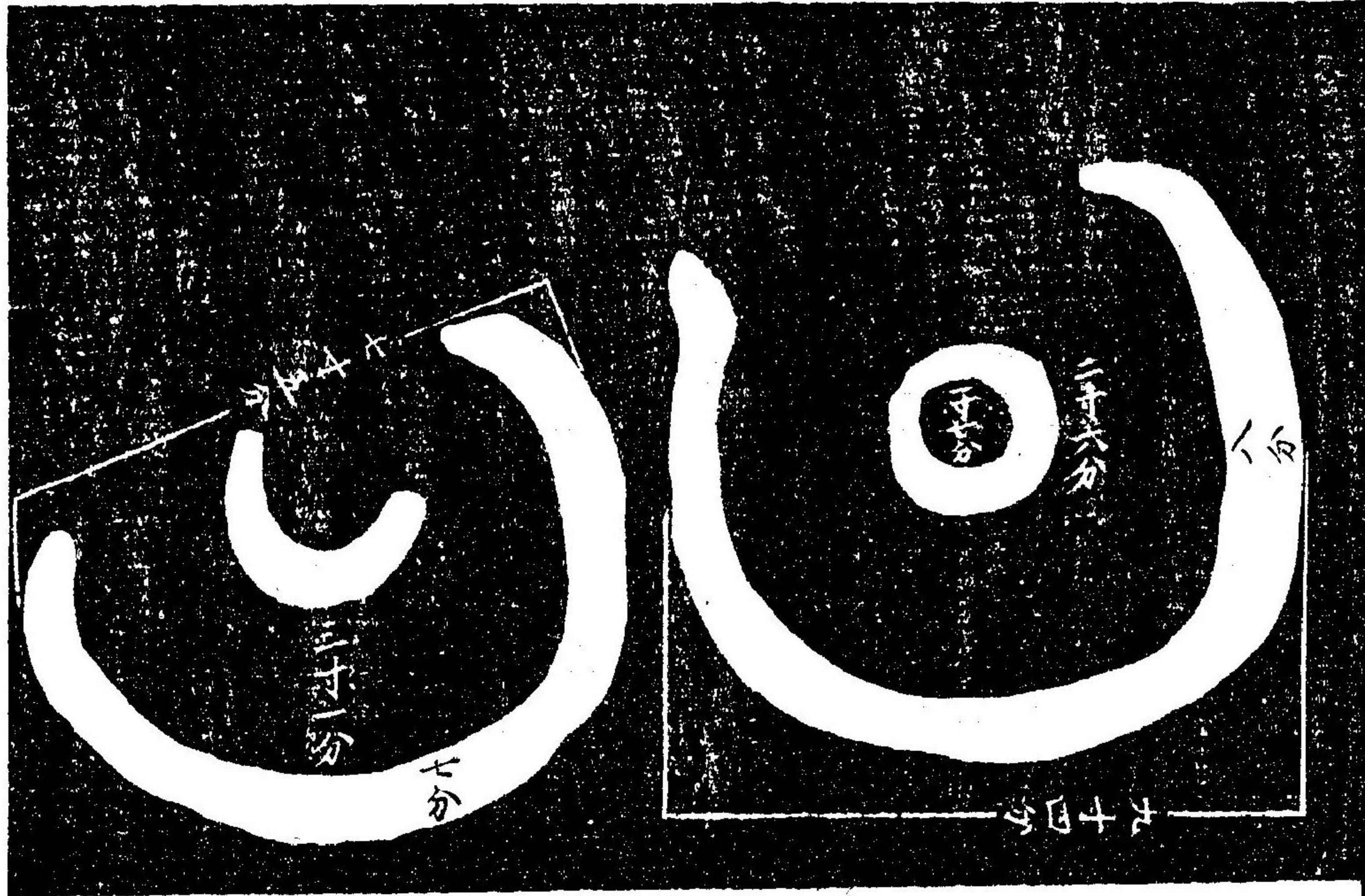
此柱西面六字許不分明

一尺一寸二分



二寸二分 三寸五分

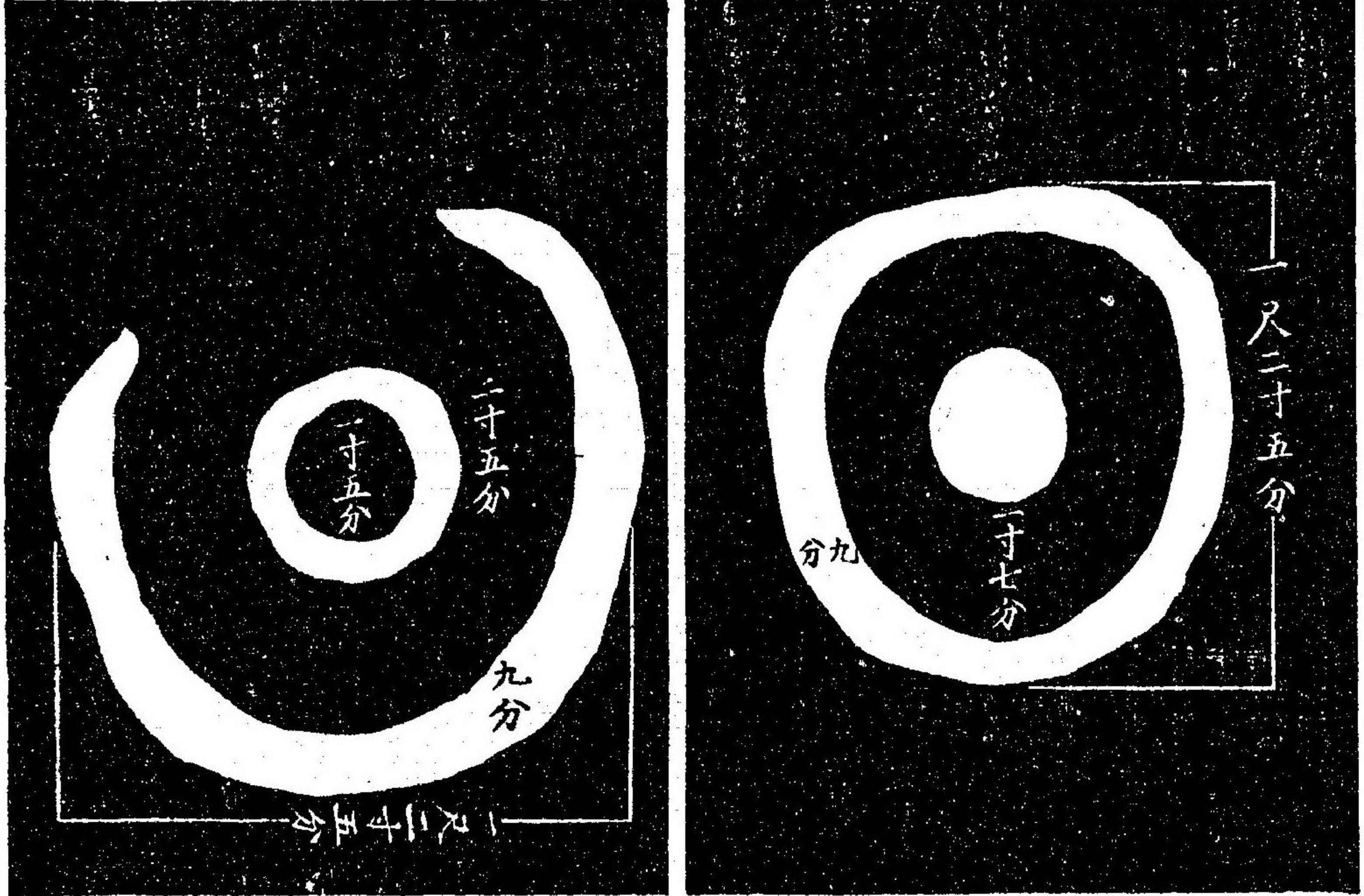
キツノ枚七



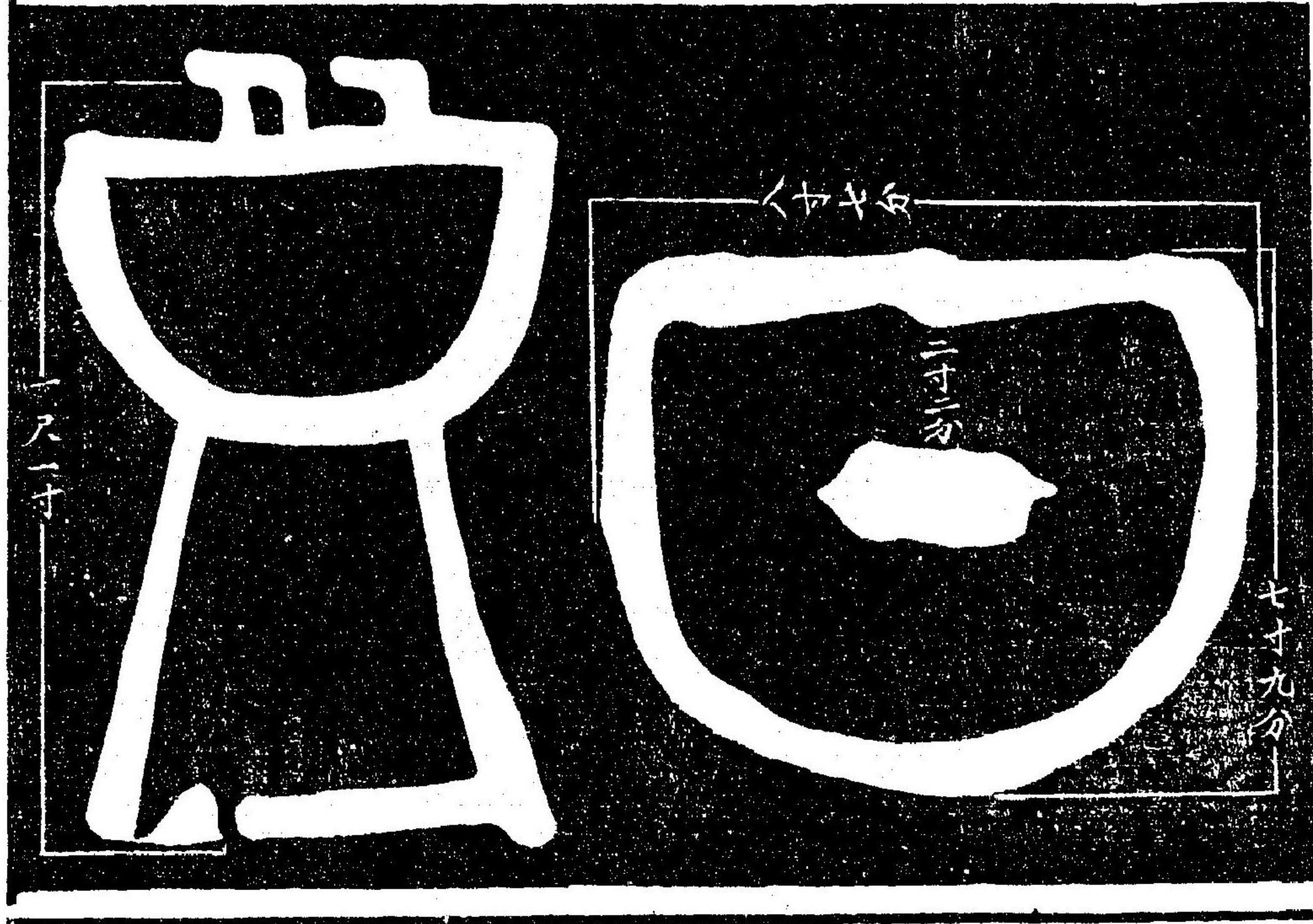
文政八年三月五日
 久留米藩士
 村上量敏
 早川一照
 石竈中ニ摸寫ス
 紙數七枚

枚七

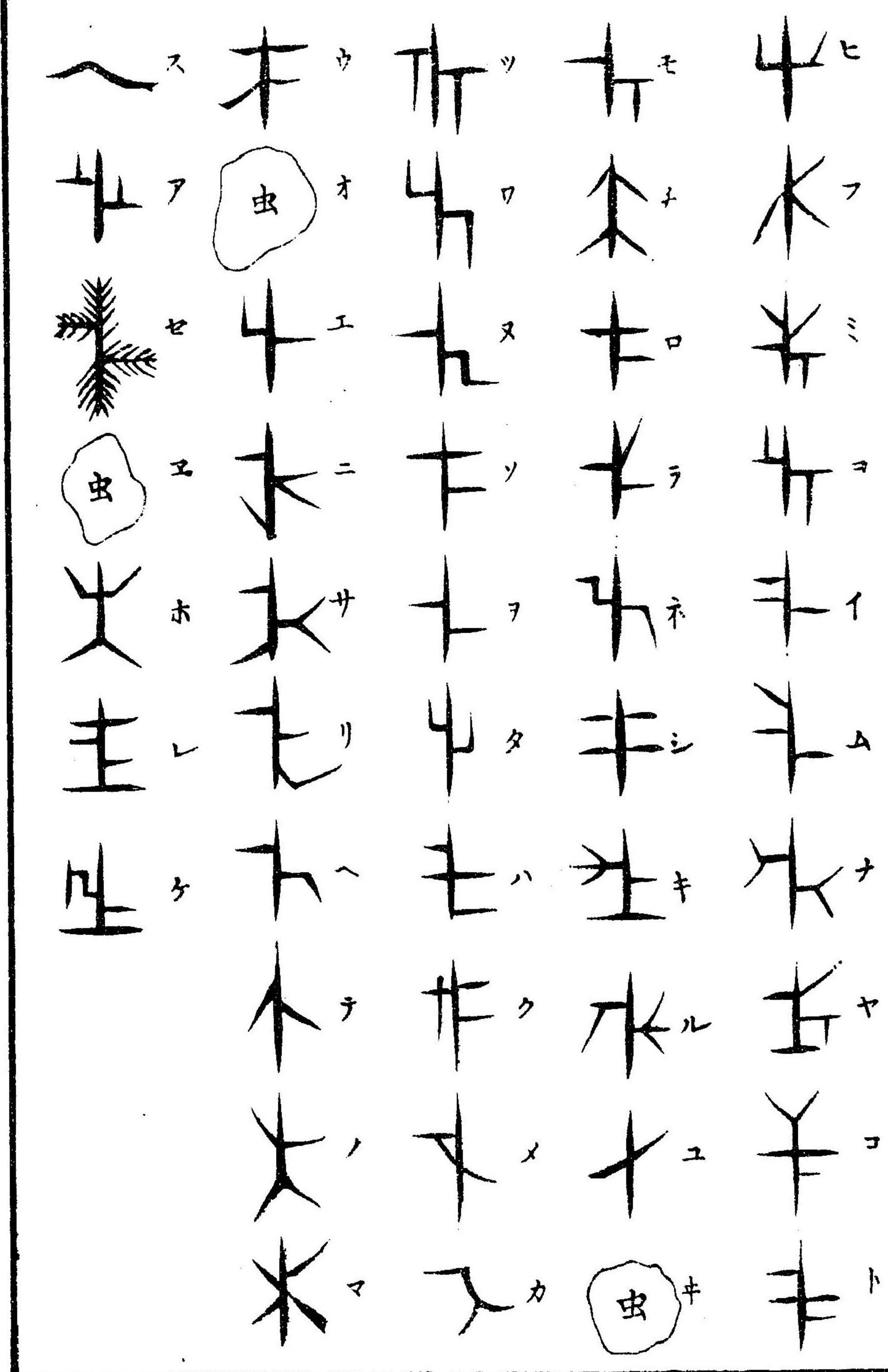
枚五



枚六



●第十章對馬字





小村金藏

此文字ハ日文傳附録ニト食之兆文也トアルガ如シ。

ト兆  此圖ヲ以テ字原トス

此兆文ヲ鹿骨龜甲等ニ彫リテ火モテソノ兆文ヲ焼ク時
 拆割ル、ヲト食トハ古フナリ。

ト食  

ト食大凡如此其拆狀ニ因テ吉凶ヲトフナリ。漢土ニ傳フ
 ル所ノ龜トモ元同種ノモノト見エテト兆ヨリ出タル文
 字漢土ニモアリ。即我ト兆ノ文字ト凡ソ同体ノモノナリ。
 ト小補韻會ニ說文ト灼剥龜也。象炙龜之形。一曰象龜兆之縱
 橫也。又曰作ト徐鍇曰兆有如此者トアリ。トヲ龜兆之縱橫ノ
 文ニ象ルト古ハト此ノ如キ兆文ヨリ出タル由ナリ。又ト
 ニ作レルモノアルハト食ノ文ヨリ出タルヨシナリ。

篆字景曰。𠄎𠄎𠄎注曰。同兆象灼龜拆形。又兆𠄎𠄎𠄎等二
作レリ。説文去。灼龜拆也トアリ。

此他ハ古𠄎等モト兆ヨリ出タル文字ニシテ即龜書ナルベ
シ。如此漢土ニモト兆ヨリ出タル文字アリテ此文ハ上ニト
食之兆文也。トアルガ如ク兆文ヨリ出タル文字ナルト疑フ
ベキニアラズ。

ト部家ノ説ニ龜トラスレバ其拆形文字ノ体ナリト去新井
氏去。吉田家ニハ龜兆ノ拆文ヲ文字トス。字体ハ古木ノ枝ノ
如シトアル是ナリ。

●第十一章齋部字

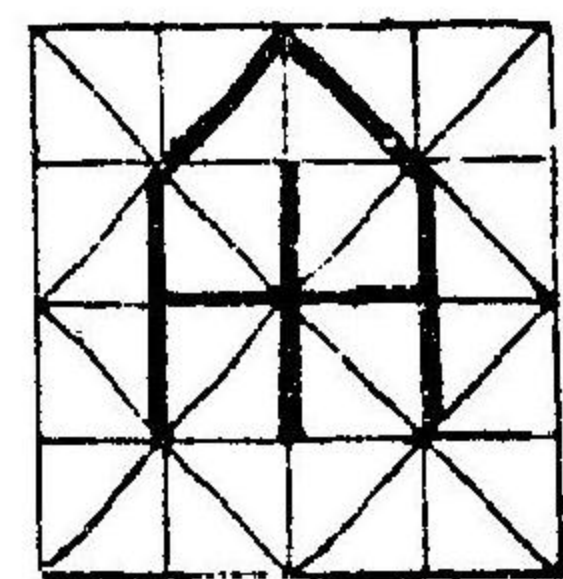
傳附録ニ右齋部橘兩家之極秘トフルニ由テ齋部字ト名
ツク。

𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ス	ユ	ヲ	キ	コ	ヒ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ア	ニ	タ	ル	ト	マ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
セ	サ	ハ	ユ	モ	ミ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
エ	リ	ク	キ	チ	ヨ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ホ	ハ	メ	ツ	ロ	イ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
レ	テ	カ	ワ	ラ	ム
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ケ	ノ	ウ	ヌ	ネ	ナ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
マ	オ	ソ	シ	ヤ	チ

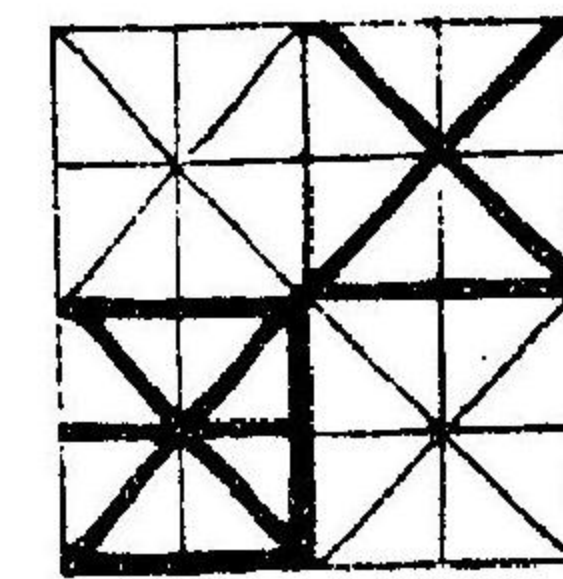
此文傳附録十一神代四十七言。神代象字傳。神躰勸請御正印
論語訓天地男女ノ字等皆同字ナリ。今訂正ヲ加フ。傳附録第
一文神代四十七言ハ見ノ下ニ且ヲ脱シ終字ニ𠄎ヲ増加セ
リ。故ニ𠄎ヲ略キ且ヲ補ヘバ第二文ト合ヘリ。

源齋部字

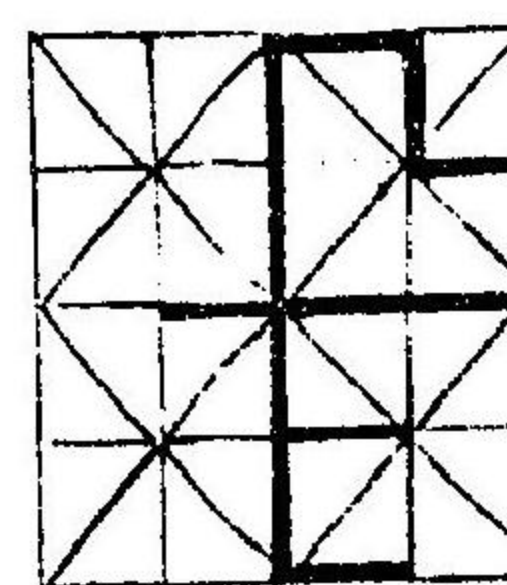
𠄎



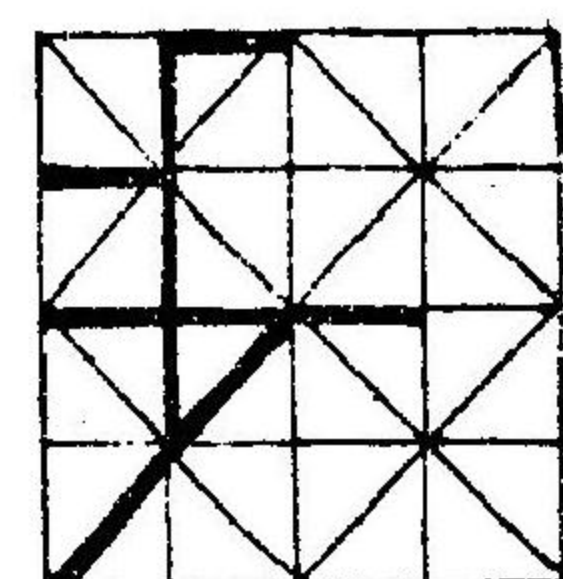
𠄎



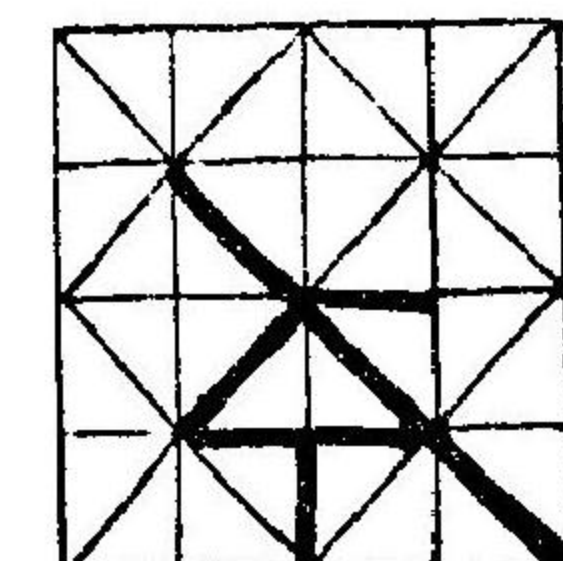
𠄎



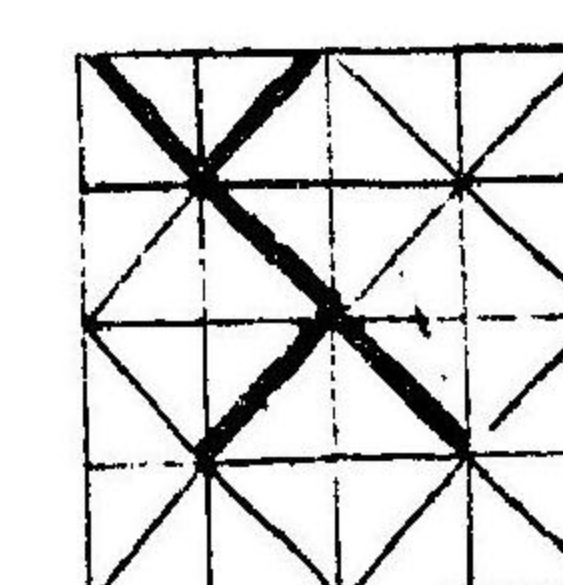
𠄎



𠄎



𠄎



○伊勢國山田神宮教會所藏鏡裏面之字
明治十二年頃某ノ奉納スル所

鏡背古字

𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎

𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎

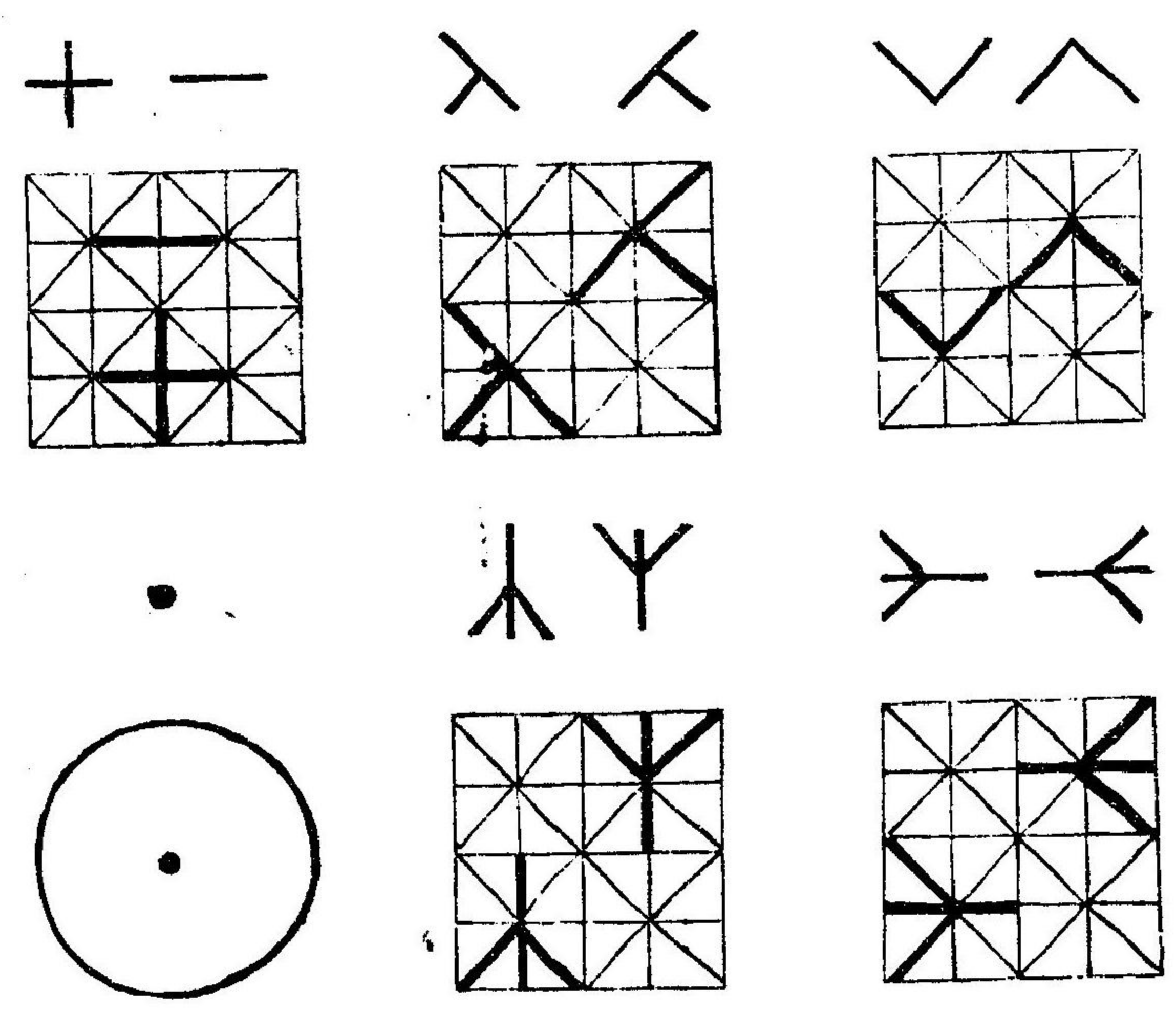
ヤラヤ
二米二
ツツ
又日
用主
日并
日并

カクノ如ク訓ムベキカ。コトモチロノ語ハ日文ノ詞ナリ。ヤ
ラヤハ俗ニヤレヤレナド古語ニテ歎賞ノ意カ。ツツモハツ
ツメヨノ意カ。字体聊カ異ナルモノ有レド此字体ニハ甚異
字多ケレバ少シヅ、体ヲ替ヘテ書ケルモノナルベシ。直亮
鏡ハサマデ古キモノトハ覺エザレドトニ
カク字体奇ナリ、古鏡ノ模造ナラムト云リ、

●第十二章 夷奴字アイ 夷吳音アイ、
奴吳音ヌ、

字源及五十音

夷奴字
源及五十
音



ノ	ナ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	母
ノ	ナ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	母
ノ	ナ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	母
ノ	ナ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	母
ノ	ナ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	ル	レ	リ	母

此字五十字ヲ以テ組織セルモノ、如シ。五十字外ノ如ク
見ユルハ大凡連合ナリ。

○ノノノ四字連合

ノノノ三字連合

ノノノノ四字連合

連合字カクノ如シ。餘ハ之ニ準ヘ。此他草体ト見ユルモノ
アリ。

ノハノノ草体ノノハノノ連合字ノ草体

草体カクノ如シ。餘ハ之ニ準ヘ。

三代實錄元慶五年三月庚戌投陸奥蝦夷譯語外從八位下物部斯波連永野從五位下トアレバ陸奥及ビ蝦夷ハ言語通ゼザリシナリ。況ヤ漢字ノ不通ナルハ論ナシ。然レモ戰争ヲ試ミ數々本邦ヲ犯スガ如キ智謀ナキモノニアラズ。今ノ土人ノ如ク至愚ナルモノニアラズ。知謀アルモノトスレバ必文字ノ通用モアルベキ理ナリ。今遺存セル字ハ字母アリ字原アリ我古字ニ異ナラズ。唯惜ムラクハ讀法ヲ傳ヘズ。意ヲ解スルニ由ナシ。

此字体傳附録ニ載スル所ノ出雲書嶋石窟中ノ字ナリト云ニ類似セリ。全ク同字モアリ。然ルニ千家君去書嶋ト云嶋ハ出雲ニハナシ。日御崎ノ近傍ニ經嶋ト云フ嶋アレモ石窟中ニ文字アルヲ聞カズト。直澄云書嶋字ノ數字ハ全

ク南部曆ノ數字ト同体ノモノナル上ニ全体夷奴字ト類似スルヲ以テ見レバ陸奥アタリニ傳ヘタルモノニハ非ルカ。猶能ク夷奴字書嶋字等ノ出所ヲ探ルベキナリ。出所判然セザレバ書嶋字ハ此所ニ載セズ。

書嶋字ノ外ユ夷奴字ニ類似ノモノハ傳附録ニ神代十千トテ載セタル字全ク同字也。古代ニ十千十二支等ノ有ルベクモアラホバ是モ後世ノ人十千ト思ヒテ附會セシモノナルベシ。

神代十千

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

北海道異体文字 東京人類學會 雜誌十八號 坪平正五郎氏記曰此文字アル古器物ハ粗キ織物ニテ製リタル帶太刀下ゲ六角柱ノ石

片小壺木節木皮日本紙獸皮等ナリ。筆ヲ以テ畫キ刀ヲ以テ刻ミ棒ニテ印セルモアリ。帶狀及ビ日本紙ニハ朱字ナリ獸皮石片ニハ金字ナリ。昨年九月六日ノ陸奥新聞ニ。榎本驛遞大臣。蝦夷千年以上ノモノト鑑定セラレシト去。

雜誌ニ 莊司平吉氏云。此度ハ天然石ニ刻セル確實ナルモノヲ報ゼントス。此字石六個。甲一圖ヨリ三圖マデ棒太アイノアヒトル乙一圖ヨリ三圖マデ同地ノアイノテングスノ所藏ニ係ル。今莊司氏ノ所有ニ係ル。丙一圖ヨリ二圖ニ至ルハ元ト岩内ニ住ムアイノノ所有ニ係レリ。木皮ニ刻メルモノハ古平郡余別村アイノフクスケノ所藏。木節ニ刻メル七字ハ余市郡川村アイノトミンヌスノ出ス所ナリ。板文字モ同家ニ傳レリ。六角石片字ハ同地ノ土中ヨリ出ヅ。太古ハ純然タ

ル文通人種ノ居住セシナラム。現今ノアイノハ文字ヲ知ルモノナシ。質朴昏愚ニシテ古事ヲ辨ズルヲ能ハズ。古器物ヲ所有セル所以ヲ問ヘバ寶物ナリ代々譲リ受ケテ秘藏セリト云フノ外ナシ。附言乙一圖裏面ニ在ル横線歐文ニ要スル所ノモノ、如シ。然レモアイノ器物中ニシヨキネキ棒トテ鋒ニ釘アルモノ戰具トス能ク似タリ。

甲三圖

寸法曲尺

厚三分五釐

長斜二寸二分
中一寸五分
中心厚五分釐



厚二分

石質ハ雷斧ニ似テ青色ニ淡黒色ヲ帶ビ光澤アリ。裏面ハ無字ナリ。

甲一圖表面

石質ハ雷

斧石ニ

同ジ顔

ルシテ

澤光

リテ

色シ

シテ

處ニ

々々

泡ニ

如ノ

キ粒

露ル

斜厚一寸

露ル

石質ハ雷
斧石ニ
同ジ顔
ルシテ
澤光
リテ
色シ
シテ
處ニ
々々
泡ニ
如ノ
キ粒
露ル

最厚

甲一圖裏面

一寸八分

如表裏ハ

ナリ

ヤ知ル

ハ

ガ

ド

文

字

太

表面

假

ス

定

ト

ラ

キ

石質ハ雷
斧石ニ
同ジ顔
ルシテ
澤光
リテ
色シ
シテ
處ニ
々々
泡ニ
如ノ
キ粒
露ル

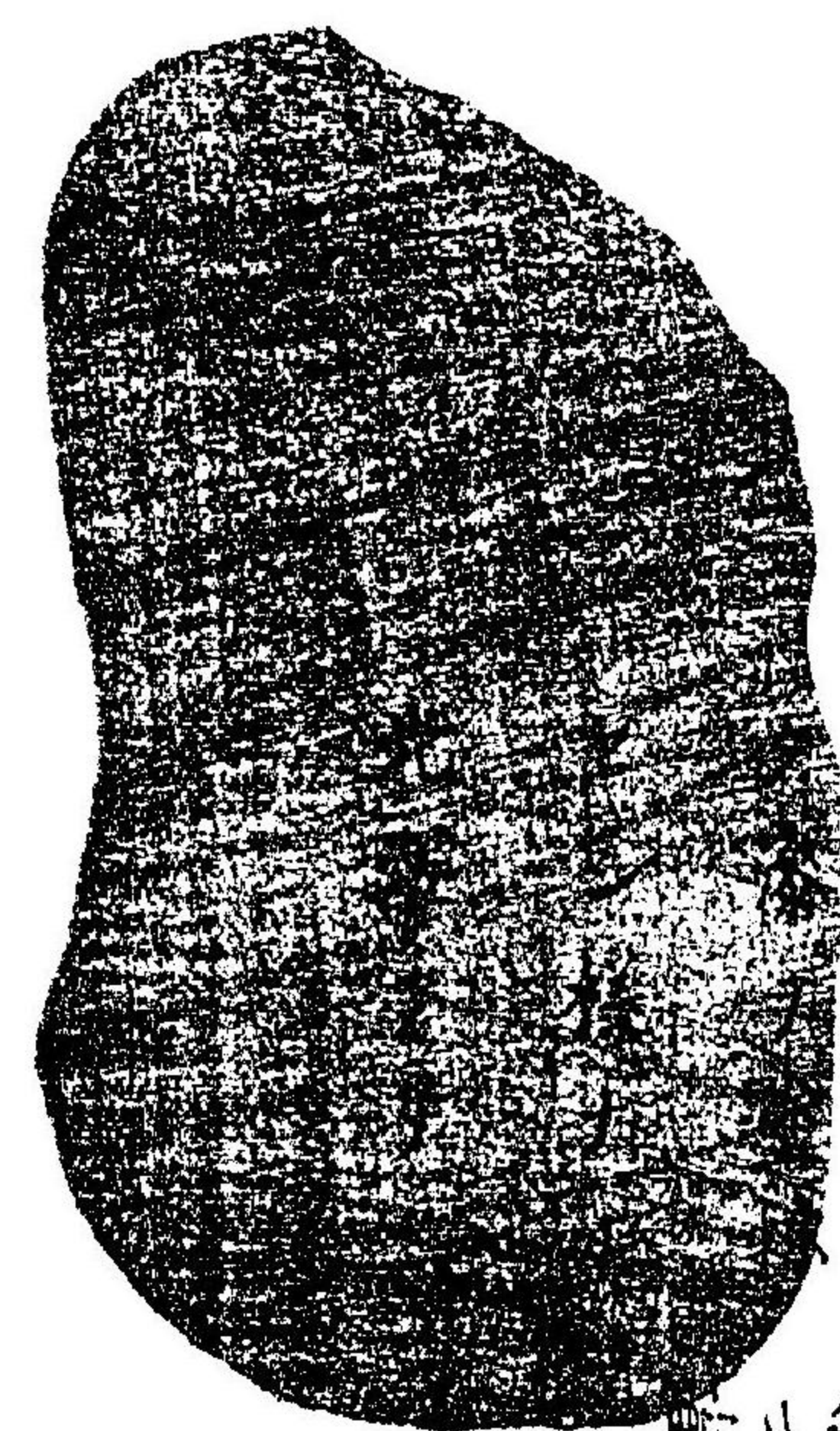
甲二圖

表面

長三寸一分五厘巾一寸七分

甲二圖

裏面



石質ハ真黒
色ニシテ磨
キタルが如

最厚六分

厚一分

乙二圖 表
 長三寸五分
 幅二寸四分強
 線厚三分
 中厚一寸
 石薄黒字亦裏無字



乙一圖 裏
 長三寸
 六分
 幅中六
 ニテ二
 寸一分
 石黒ク
 字赤シ



乙三圖 表
 長三寸五分
 幅二寸五分
 厚八分

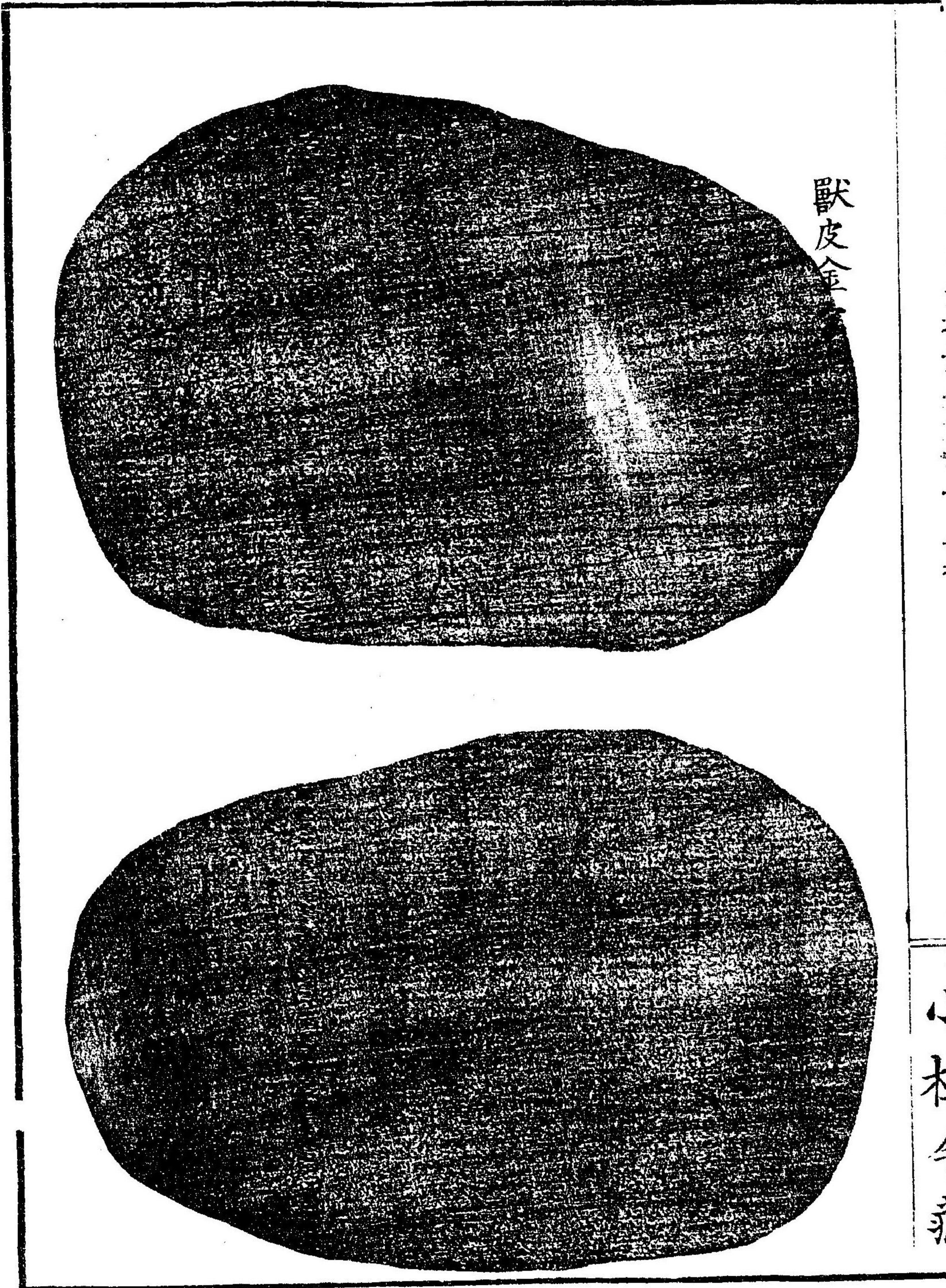


丙二圖 石片
 斜長三寸
 最厚一寸
 砂目多キ粗石ニシテ
 俗ニ子持ト云ハレ
 様ニシテ



丙一圖 表
 長三寸九分、幅九分九厘
 中心厚八分 四字金字
 石片

丙二圖ハ
 丙一圖ヲ
 載ス可キ
 臺ナリ



獸皮金

小杜金

Handwritten characters in the top section of the right page, including symbols like 'ノ', 'ハ', and 'ク'.

A grid of handwritten characters in the middle section of the right page, arranged in three rows and ten columns.

Handwritten characters in the section below the grid on the right page.

Handwritten characters at the bottom of the right page, possibly a signature or date.

是ハ蝦夷太刀
釣ニ朱以テ記
セル字ナリ

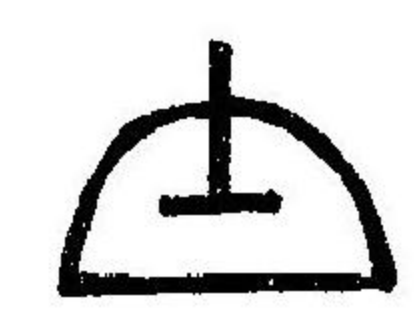
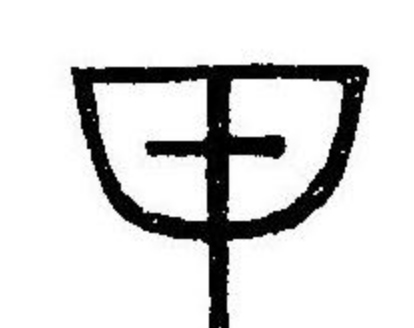
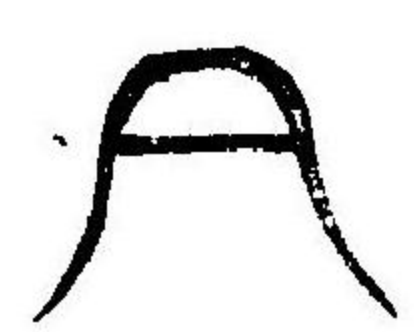
Handwritten characters in the top section of the left page.

Handwritten characters in the middle section of the left page, including the characters '重', '保', '貴', '崇', '天', '利'.

Handwritten characters in the section below the middle section on the left page.

Handwritten characters at the bottom of the left page.

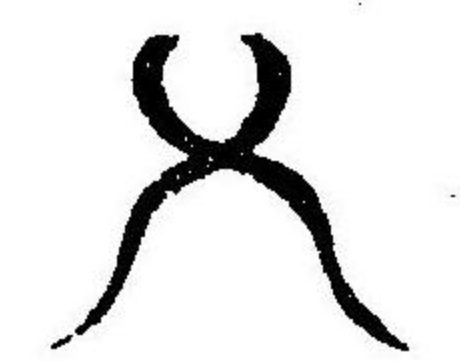
學藝志林三十二柳田幾作ノ牧考ニ所載ノ牧馬ノ燒印ノ章ニ糠部ノ印章ヲ載セ又舊幕府所用ノ小金佐倉蘆高等ノ印ヲ載セタリ。畫モアリ。漢字モアリ。其中ニ



古今要覽所引糠部馬印ノ縮圖



笠



琴柱



蕨手



安字

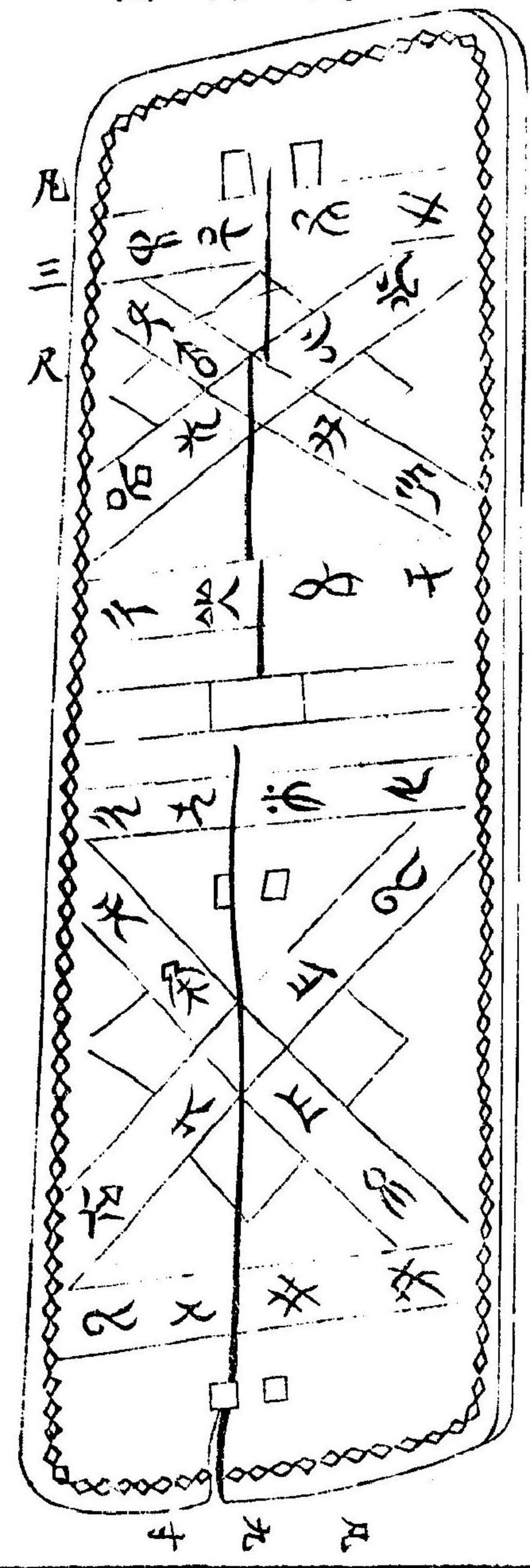


山形

舊幕府所用佐倉小金峯岡等ノ印

此等ハ我古字ナルモ量リガタシ。蝦夷字中ニ類似ノモノアリ。琴柱安字等ノ如キハ形ノ似タルヨリ名ケシモノカ。ハノ山形ノ如キハ商家ノ常ニ用ル徽章ナリ。ニモ作ル。之ヲ見バ誰モ山形ト呼ブベシ。山ノ象形字ト古モ可ナリ。

蝦夷楯圖



○數量文字

○阿奈伊知數字

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
百
千
万
億

○日本古代文字考上卷附錄

四

小槇舎落

○守恆數字

○ 一
□ 二
/ 三
\ 四
一 五
/ 六
X 七
/ 八
/ 九
| 十

▽ 百
△ 千
ノ 万

○齋部數字

乙 一
三 二
三 三
三 四
X 五
三 六
米 七
米 八
米 九
X 十

○南部曆數字

| 一
|| 二
||| 三
||| 四
○ 五
○ 六
○ 七
⊕ 八
⊕ 九
⊕ 十
⊕ 十一

⊕

此數字ヲ以テ月ヲ數フルナリ。

一 一
二 二
三 三
三 四
三 五
三 六
三 七
三 八
三 九
⊕ 十

⊕ 十一

此數字ヲ以テ日ヲ數フルナリ。又近來

□ 一
□ 二
□ 三
□ 四
□ 五
□ 六
□ 七
□ 八
□ 九
□ 十
□ 十一

○田券數字 成形圖說ニ云、田賦集ニ一段ヲ
十二分ケテ此數字ヲ載ルト、

一 一
|| 二
||| 三
||| 四
一 五
下 六
π 七
π 八
π 九

○安寺持方數字

□ 金一分
□ 金二朱
十 一貫文
一 百文
| 十文
• 一文

○日本古代文字考上卷附録

○五了

、真 今 火

□ □ 十 二 三 ……

如此書ケバ金一分二朱ト一貫二百三十七文ナリ。

